

第2節 縄文時代の遺構

1 集石

集石は、A区で計31基検出した。検出層位は、縄文土器の包含層である暗茶褐色ローム質粘土層の上面（集石32は、暗茶褐色ローム質粘土層の下面）であり、地表からは、比較的浅い所であるため、後世の耕作等による擾乱を受け、完全な形では検出し得なかったと考えるが、一応、現況の検出状態で、一つのまとまりと考えられるもの毎に番号を付けた。しかし、その中にもいくつかの集石が重なっていると考えられるものもある。

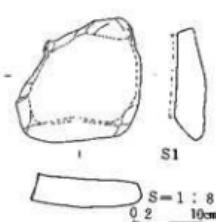
集石に使用されている石は、ほとんどが大山火山岩類に属するもので、遺跡付近に分布がみられる。

集石01（挿図1・2、図版3・30）

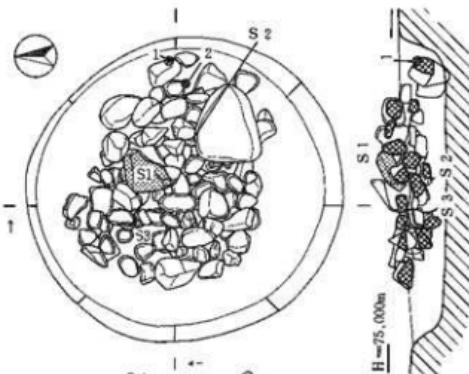
位置 6Dグリッドの南側中央付近に位置する。

形態 円形の土坑（1.13m×1.08m - 0.17m）の中央に、掌大の石（約100個）を重ねた状態で配置している。

遺物 石の上面で砥石S1、下面で磨石S2、砥石S3を検出した他、焼石を1個検出している。無文土器Po 1・2、押型文土器〔情M〕1片、無文土器3片を検出した。



挿図2 集石01遺物図



集石02（挿図3、図版3・4）

位置 6Dグリッドの南側に位置する。

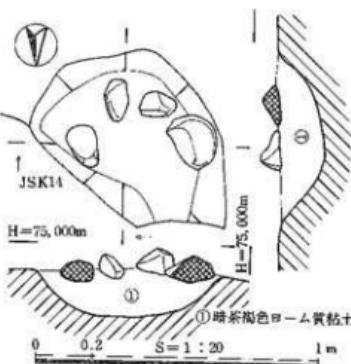
形態 椅円形（ $\times 0.51m - 0.18m$ ）と推定される土坑内に、石が4個、半円形に置かれているが、上部の石は取り去られたものと推測される。

特筆事項 JSK14を切る形で作られている。

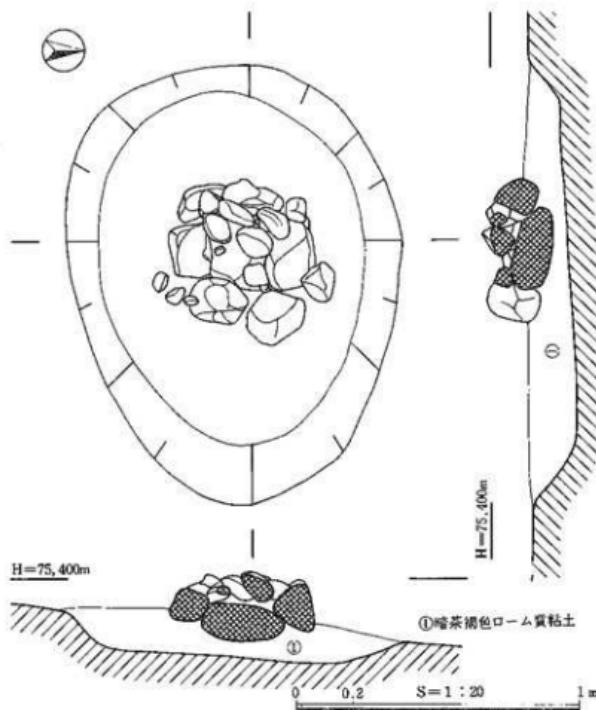
遺物 検出しなかった。

集石03（挿図4、図版4）

位 置 6Bグリッドの南西側に位置する。
 形 性 石は平面格円形（1.57m×1.2m—
 0.17m）の土坑のほぼ中央部に配置さ
 れている。30cm前後の平らな石を中心
 に置き、その周囲に20cm前後の比較的
 大きな石6個を立てた形で配置する、
 いわゆる花弁状を呈する。その中に10
 cm程の拳大の石が12個置かれている。
 焼痕は認められなかった。
 遺 物 検出しなかった。



挿図3 集石02遺構図



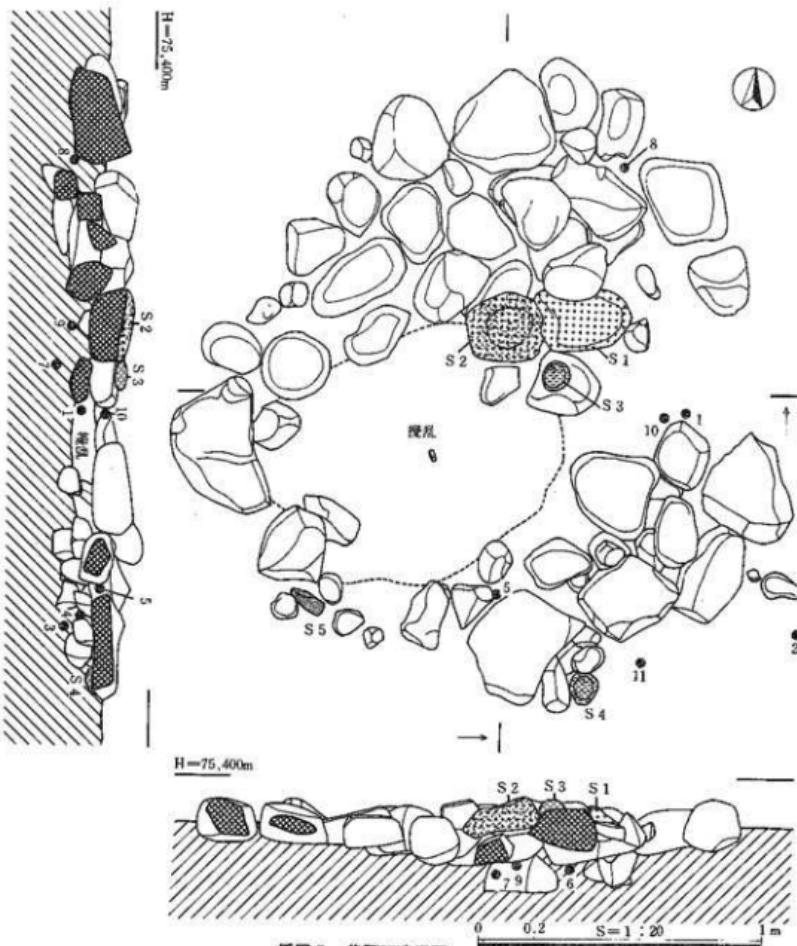
挿図4 集石03遺構図

集石05 (挿図 5・6・7、図版 5・30・31)

位 置 6Fグリッドの西側に位置する。

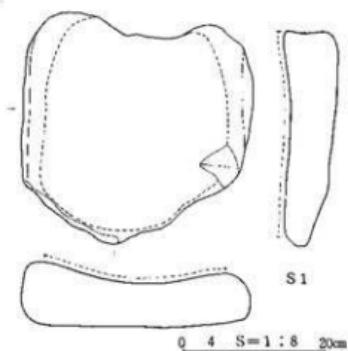
形 態 中央部は擾乱により壊されているため石は残っていないが、もとの形は平たい石の面を揃えて、ほぼ円形に配していたものと考えられる。残存径は約2.3mを測る。石は約70個を数える。

遺 物 中央部付近で、石皿S1・2を検出しているが、S2は火を受けている。この他磨石S3・4、敲石S5、押型文土器〔楕円〕Po1~3、〔菱形〕Po4、撲糸文土器〔縦位〕Po5~7、無文土器Po8~11、他に、押型文土器〔楕円〕2片、無文土器

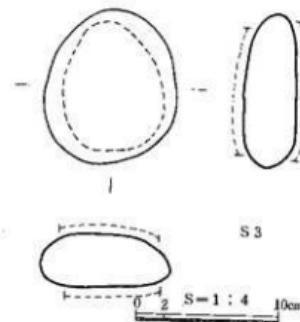


挿図5 集石05遺構図

7片、無文尖底1片を検出した。



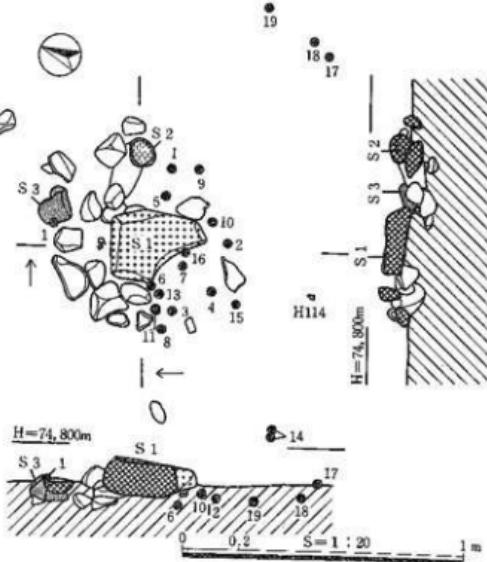
挿図6 集石05遺物図1



挿図7 集石05遺物図2

集石06（挿図8、図版5）

- 位 置 4 G グリッドの北側に位置する。
- 形 態 南側は石がまばらであり、もとの形をとどめていないと考えられる。残存している石は径約0.8mのほぼ円形状に広がっている。中心に大きな石皿S1を置き、周囲に小さな石約20個を配する形となるが、東西の断面を観察すると、小さな石を配した後、石皿を上に置いたよう見受けられる。
- 遺 物 石皿S1、磨石S
2、敲石S3、他に
敲石1個、剝片（ジ
ヤスバー）H114、押
型文土器〔楕円〕
Po 1～5〔菱形〕
Po 6、撚糸文土器
〔縦位〕Po 7、〔網
目状〕Po 8、無文
土器Po 9～13の他、
押型文土器〔楕円〕
1片、無文土器3片
不明土器Po 14～19
を検出した。



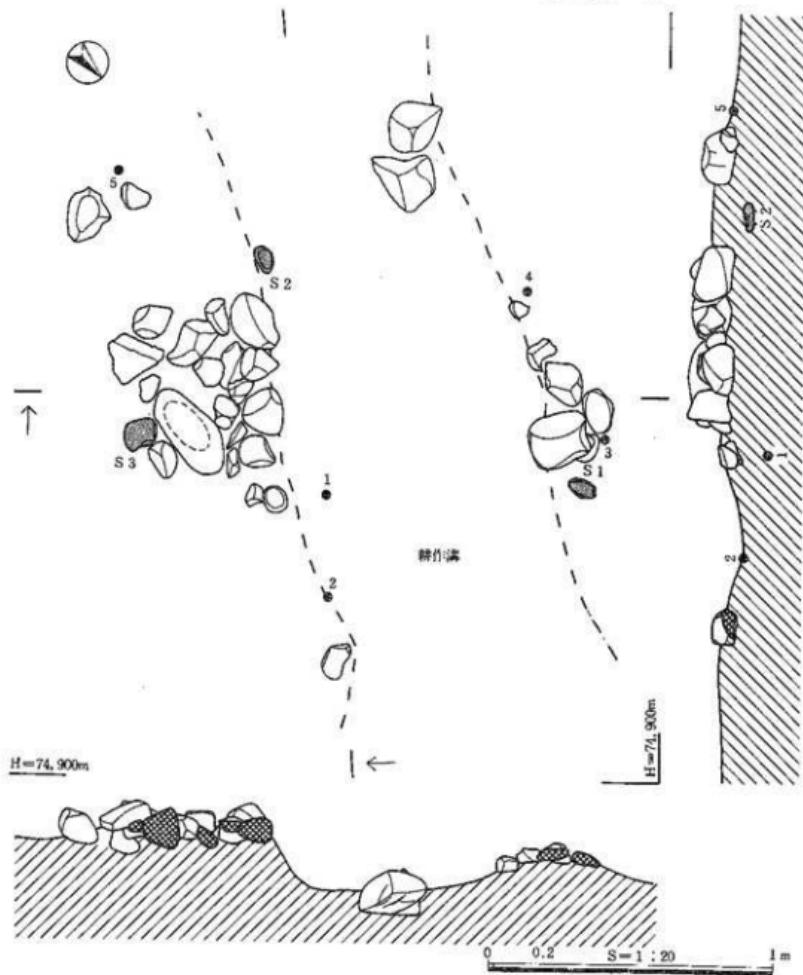
挿図8 集石06遺構図

集石07 (挿図9、図版6)

位 置 4 G グリッドの南側に位置する。

形 態 集石中央部は、耕作溝によって破壊されているが、石は楕円形 ($2.0m \times 1.0m$ 程度) に配されていたものと推測される。石は23個を数える。

遺 物 敵石 S 1・2・3、押型文土器〔楕円〕 Po 1・2・3、無文土器 Po 4・5 の他、押型文土器〔楕円〕 1片、縄文土器 1片、無文土器 14片を検出した。

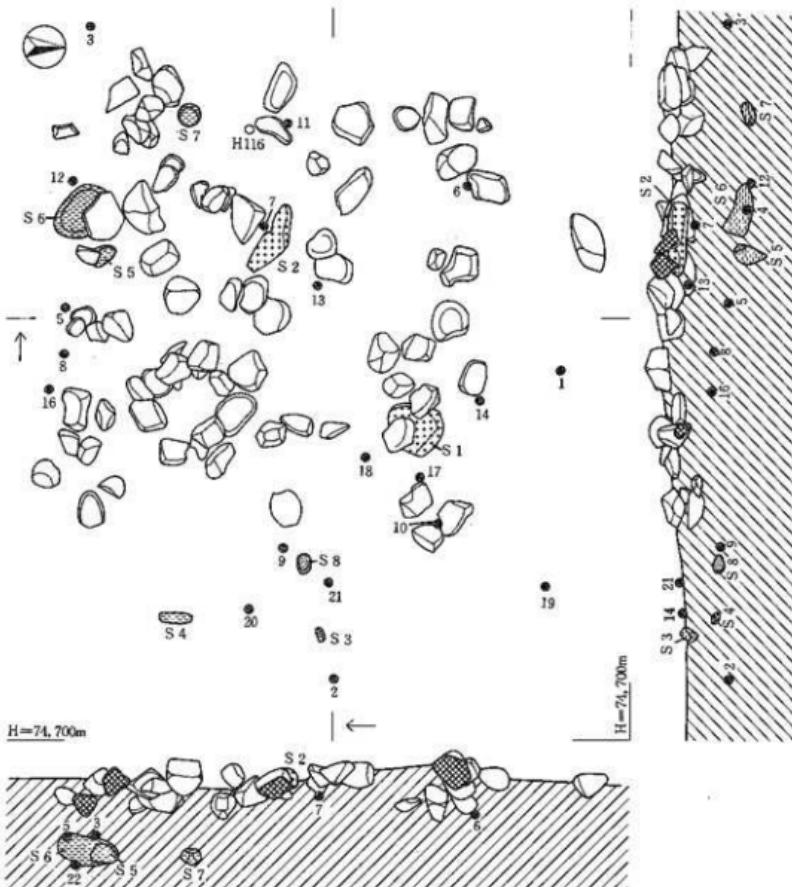
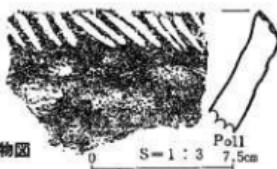


挿図9 集石07遺構図

集石08（挿図10・11、図版6）

位置 5Eグリッドの中央北端に位置する。
 形態 掌大の石がほぼ円形（2.5m程度）の広がりを持って配されている。石は85個を数える。土坑は検出されなかった。
 遺物 石皿S1・2、磨石S3～7、敲石S8、
 他に磨石1個、サヌカイト製ビエス1点H
 116、横形剣片2片を検出した。また、押梨文

挿図10 集石08遺物図

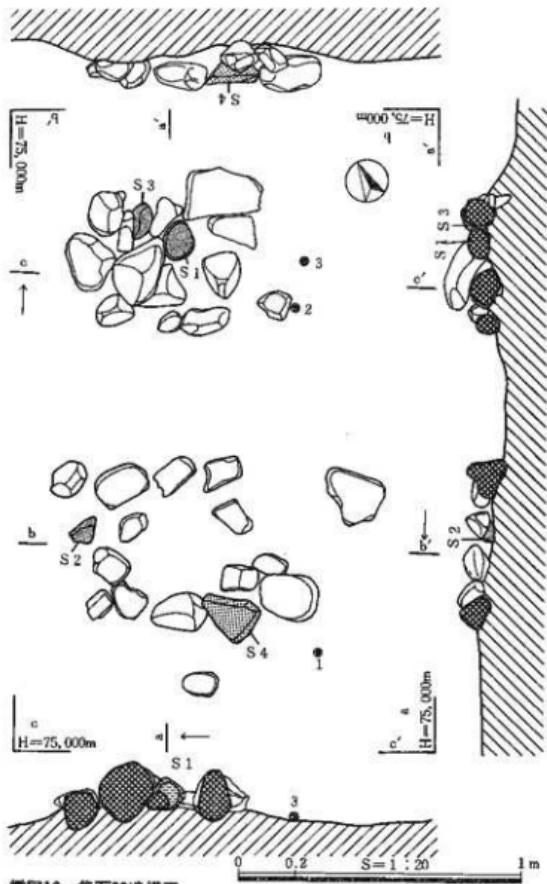


挿図11 集石08遺構図

土器〔楕円〕Po 1～9 〔菱形〕Po 2、撚糸文土器〔縦位〕Po 9～10、縄文土器Po11、沈線文土器Po12、無文土器Po13～19・20（2片）の他、押型文土器〔楕円〕3片、〔菱形〕1片、撚糸文土器〔縦位〕1片、沈線文土器1片、無文土器7片、無文尖底2片、不明土器Po21・22を検出した。

集石09（挿図12、図版6）

- 位置** 5Eグリッドの南西端に位置する。
- 形態** 撥乱等により、石の残存状況はよくないが、楕円形（2.0m×1.0m程度）に配されていたものと思われる。石は37個を数えた。
- 遺物** 敵石S1～3、砥石S4、押型文土器〔楕円〕Po 1、無文土器Po 2・3の他、押型文土器〔楕円〕2片、無文土器10片、黒曜石剥片1片を検出した。



挿図12 集石09遺構図

集石10 (挿図13・24、図版6・30)

位 置 6Fグリッドの中央付

近に位置する。

形 態 梱円形 ($1.45m \times 1.04m - 0.36m$) を呈する土

坑内にある集石である。

土坑は南側が一段低くな

っており、この部分に石

が配されている。石は36

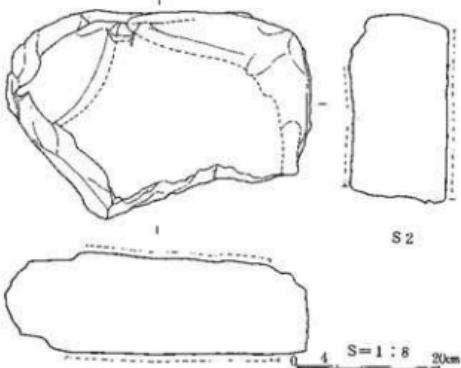
個を数える。

遺 物 集石の上部で石皿S1

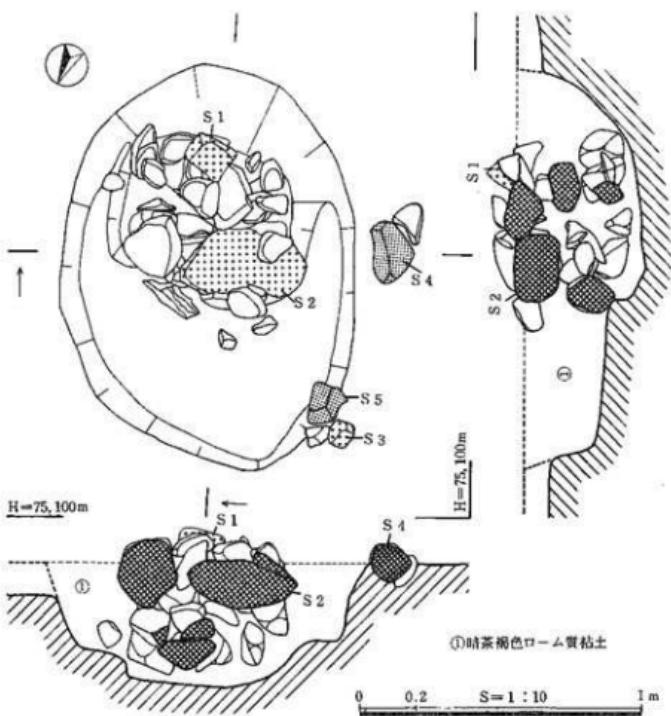
・2、土坑周囲より石皿

S3、砥石S4・5の他、

無文土器3片を検出した。



挿図13 集石10遺物図



挿図14 集石10遺構図

集石11 (挿図15、図版7)

- 位 置** 6 E グリッドの中央西寄りに位置する。
- 形 態** 檜出面が、黄褐色砂質ローム層だったため、石の残存状態は悪かった。東側で JS-K-36を切り、西側は擾乱を受けている。他の集石では見られない、特殊な橢円形のドーナツ型掘り方 ($2.75m \times 2.05m - 0.13m$) を持つ集石である。石は11個を数えた。
- 遺 物** 敲石 S 1、撚糸文土器〔縦位〕 Po 1、無文土器 Po 2 ~ 5 を検出した。

集石12 (挿図16・17、図版8・31)

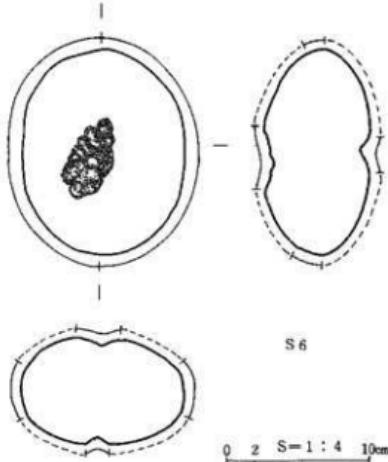
- 位 置** 6 F グリッドの南西に位置する。
- 形 態** 集石は (A群) (B群) の二群に分かれるものと推測され、石は75個を数えた。
- A群は (ア) の石を起点として平石4個が北西方向へと続く一群である。A群が作られた時点では、後述する集石32 (平石を方形に配置する) のような形態をとっていたものと考えたいが、(ア) の石及び、4個の平石に対応する石は検出されなかった。耕作等による破壊を受けたと思われる。残存規模は長径約1.5m、短径0.9mを測る。
- B群は、周辺を平石で囲み、その内側に、やや小さな石を配置した橢円形の集石であると推測される。残存規模は長径約1.3m、短径約0.9mを測る。

- 遺 物** 磨石 S 1 ~ 4、敲石 S 5 ~ 7、押型文土器〔橢円〕 Po 1 ~ 6、無文土器 Po 7 ~ 11、この他に、押型文土器〔橢円〕 5片、〔菱形〕 2片、撚糸文土器〔縦位〕 1片、無文土器20片、不明土器4片Po 12 ~ 15、横形削片 (黒曜石) 2片、(サヌカイト) 1片を検出した。

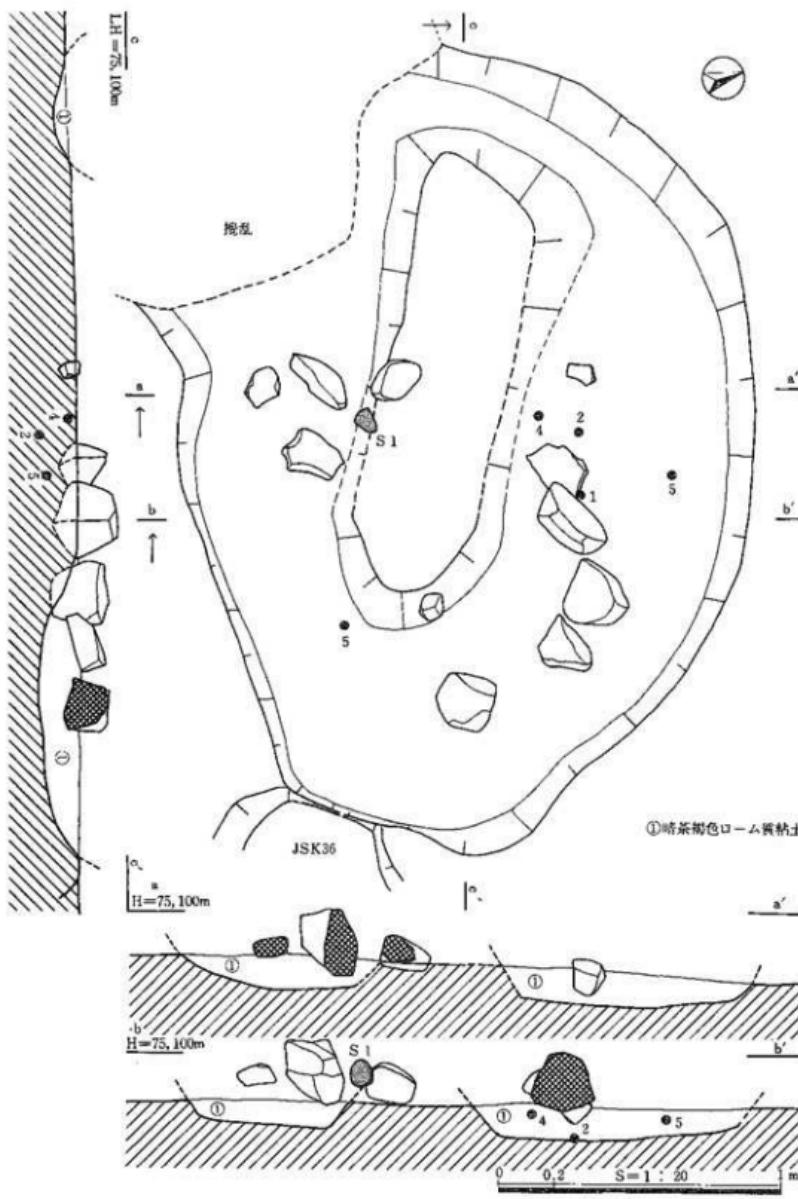
集石13 (挿図18・19・20、

図版8・30・31)

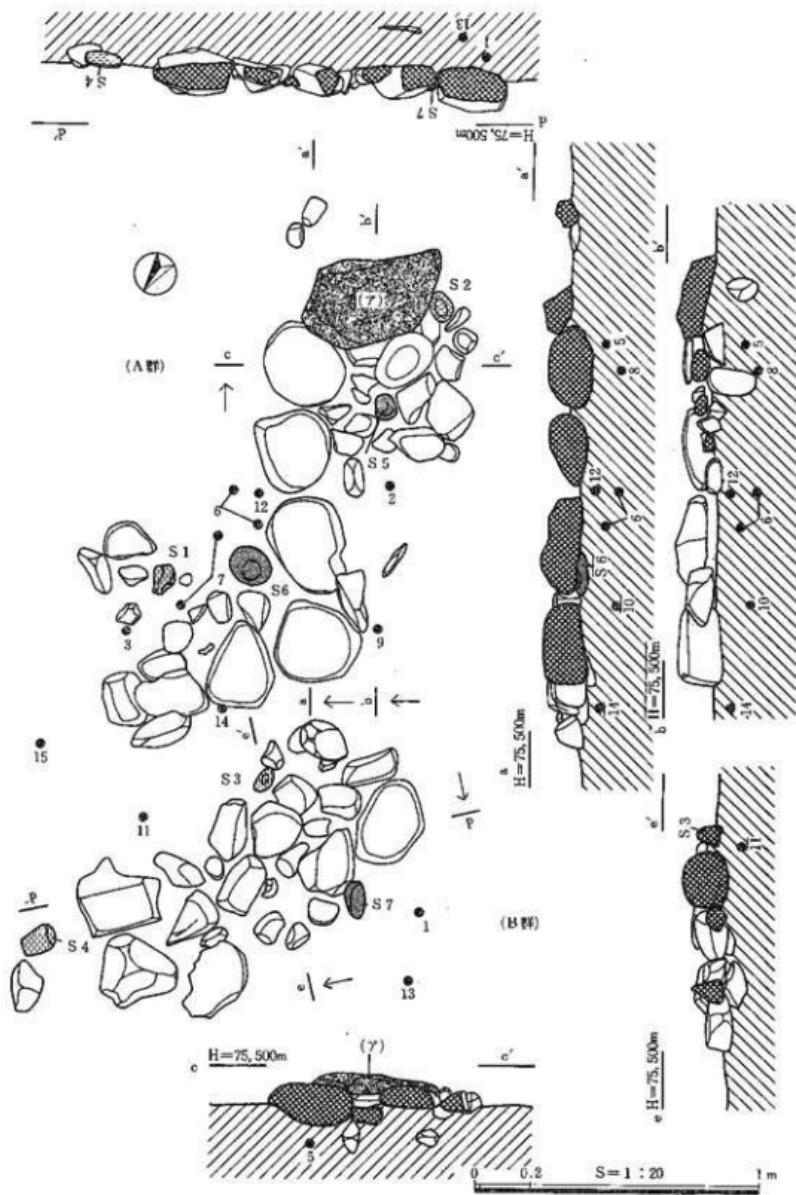
- 位 置** 6 F グリッドの南西に位置する。
- 形 態** かなり擾乱をうけているものと考えられ、石の残存状況は良くない。最大の石を多く使用しているが、集石の北側では大きな平石を配置して、区画しているように見受けられる。石は157個を数えた。
- 遺 物** 石皿 S 1・2、磨石 S 3・4、敲石 S 5・6、押型文土器〔橢円〕 Po 1 ~ 4、撚糸文土器〔縦位〕 Po 5・6、無文土器 Po 7 ~ 16 の他、押型文土器〔橢円〕 8片、撚糸文土器〔縦位〕 2片、無文土器14片、不明土器Po 17・18を検出した。



挿図16 集石12遺物図



擇図15 集石11造構図



擇図17 集石12遺構図

(A)



(B)



H=75, 500m

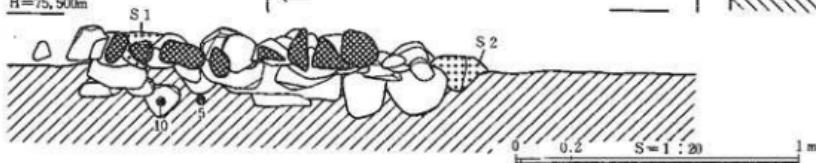
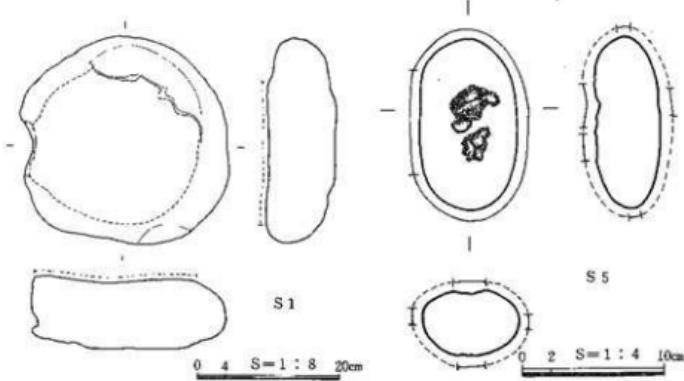
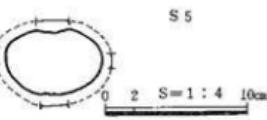


図18 集石13造構図



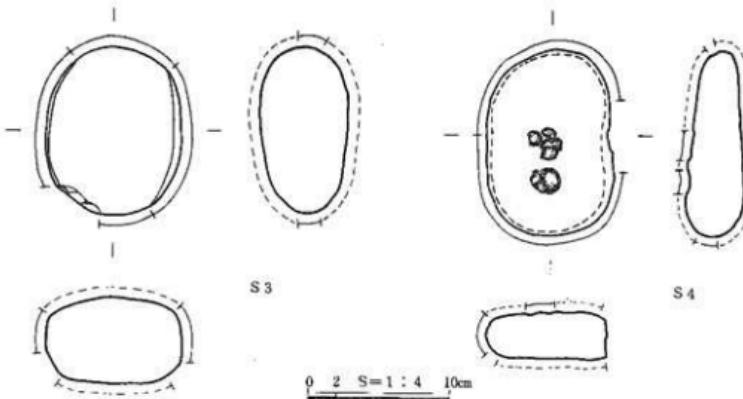
挿図19 集石13遺物図1



挿図20 集石13遺物図2

集石14（挿図21・24、図版8・31）

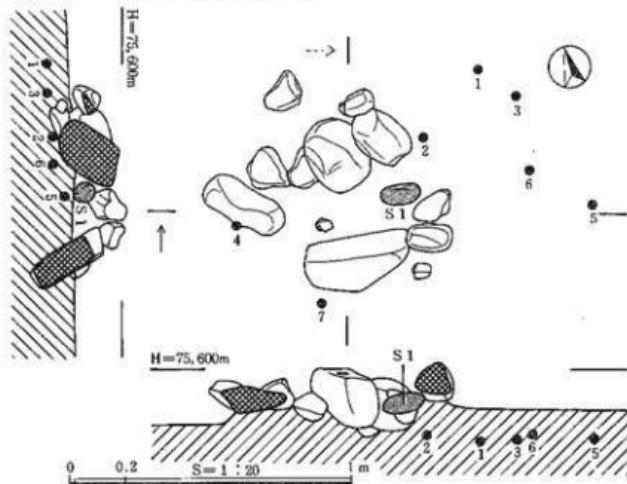
- 位 置** 6 F グリッドの南西端から、7 F グリッドの北西端にわたって位置する。
- 形 態** 北東部に擾乱を受けているため、L字状（東西3.0m × 1.0m、南北3.0m × 1.0m程度）の広がりを見せるが、耕作による擾乱がひどく、もとの形は不明である。石は141個を数えた。
- 遺 物** 石皿S 1、磨石S 2・3他1個、敲石S 4・5、押型文土器〔橢円〕Po 1～6・7・8（各2片）、〔菱形〕Po 9～13、撚糸文土器〔縦位〕Po 7、無文土器Po 6・7・14～19の他、無文土器1片を検出した。



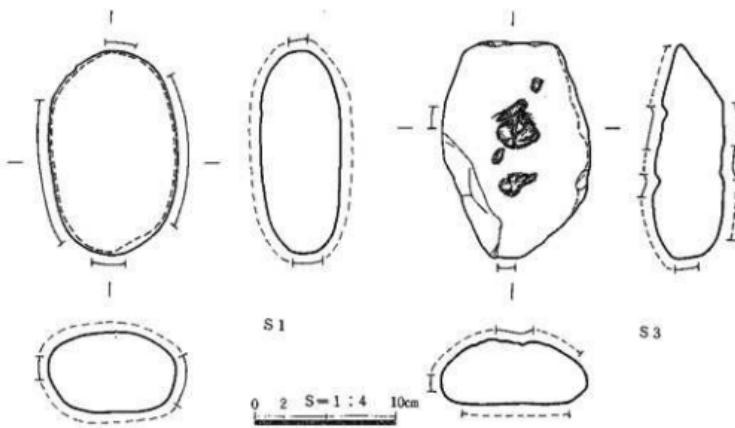
挿図21 集石14遺物図

集石15 (挿図22、図版 8)

- 位 置 7Fグリッドに位置する。
- 形 態 30cm前後の大きな礫が4個、15cm前後の比較的小さな礫が10個検出されており、径80cm前後の広がりを見せる。
- 礫の配置に規則性はみられず、ほとんどもとの形はとどめていないと考えたい。
- 遺 物 敲石S1、押型文土器〔横円〕Po1・2(2片)・3、無文土器Po4～7他1片、細石刃(サスカイト)1片を検出した。



挿図22 集石15遺構図



挿図23 集石16遺物図1

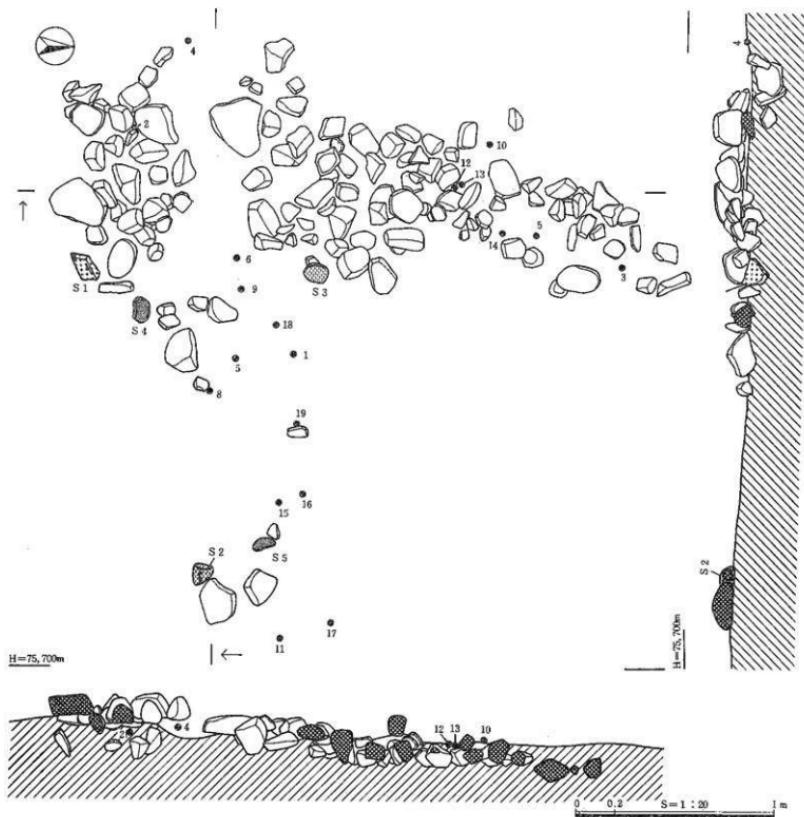


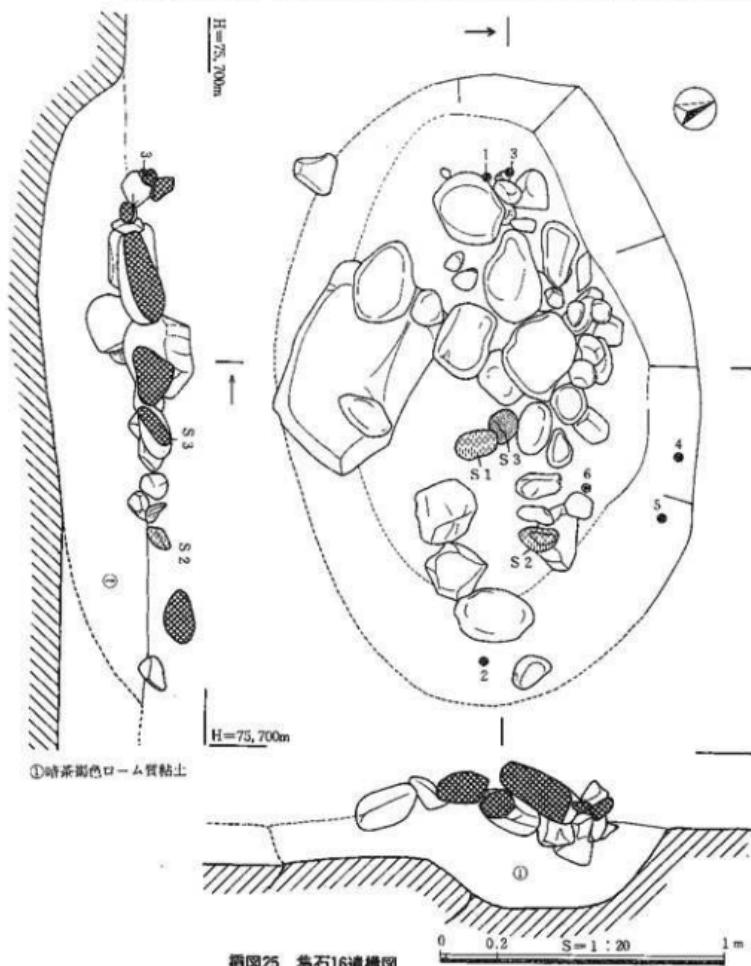
图24 集石14堆积图

集石16 (挿図23・25・26、図版9・31)

位 置 7Fグリッドの中央やや西寄りに位置する。

形 態 中央部に30cm前後の平坦な礫をやや斜めに置き、その周囲に10~20cm前後の比較的小型の礫を配し、それを取り囲む形で30cm前後の比較的大型の石を配する橢円形の集石であったと推測するが、残存状態は悪く、集石の北側では周囲を取り囲む礫は検出しなかった。残存する礫は41個で、長径1.6m、短径1.0mの範囲に広がる。

平面では判らなかったが、断面で集石下に土坑の存在することが判明した。残存様



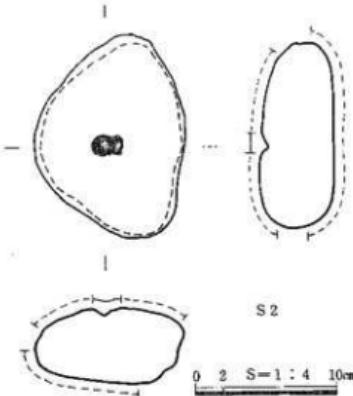
挿図25 集石16連構図

は長径2.05m、深さ0.3mを測る。
 遺物 磨石S1・2、敲石S3、押型文土器〔情円〕Po1、撫糸文土器〔縦位〕Po2、無文土器Po3～5の他、押型文土器〔格円〕1片、沈線文土器1片、無文土器9片、不明土器Po6を検出した。

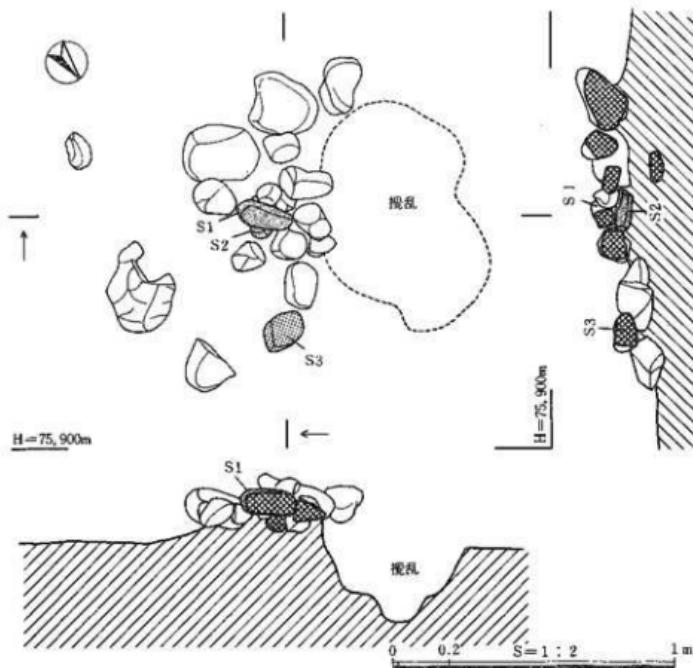
集石17（挿図27・28、図版9・31）

位置 7Fグリッドのほぼ中央に位置する。

形態 集石北東側はSB-03のP3で切られており、その他の部分も砾の残存状態は良くないものと考えられる。



挿図26 集石16遺物図2

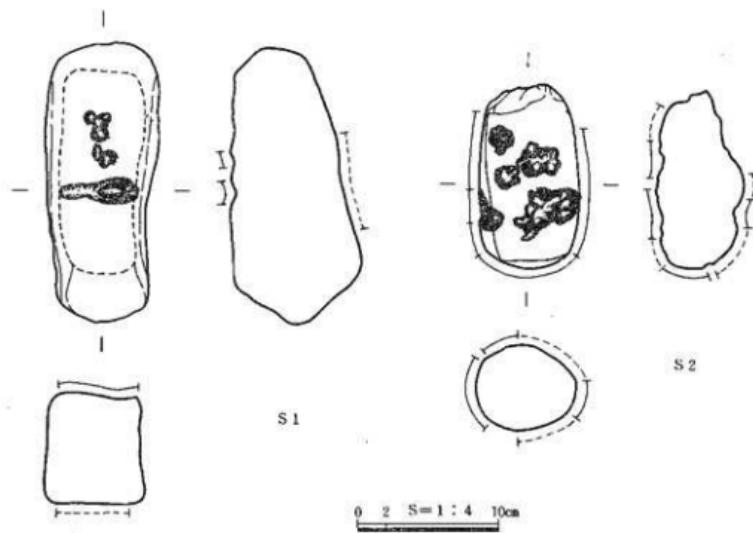


挿図27 集石17遺構図

残存している礫は、長径1.3m、短径0.8mの範囲に広がる。東側・西側には、やや大きな平たい礫が（5個）、20cm前後の礫（12個）を取り囲むように配されているよう見受けられる。

断面を観察すると、南から北側に向かって、若干の傾斜を持っているようである。

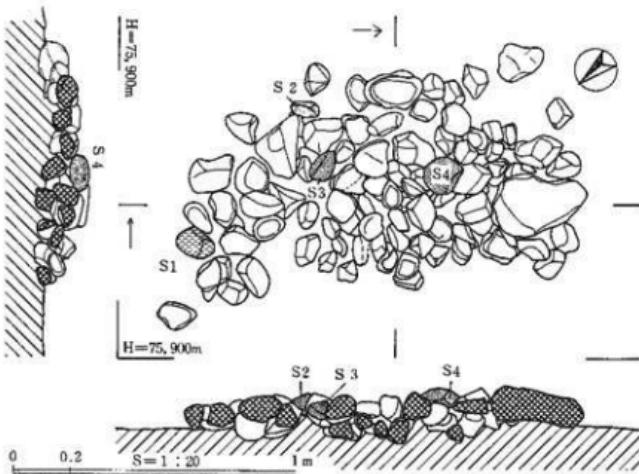
- 遺 物 残存している集石の中央付近では敲石S1・2が重なった形で、北側では砥石S3その他、無文土器2片を検出した。



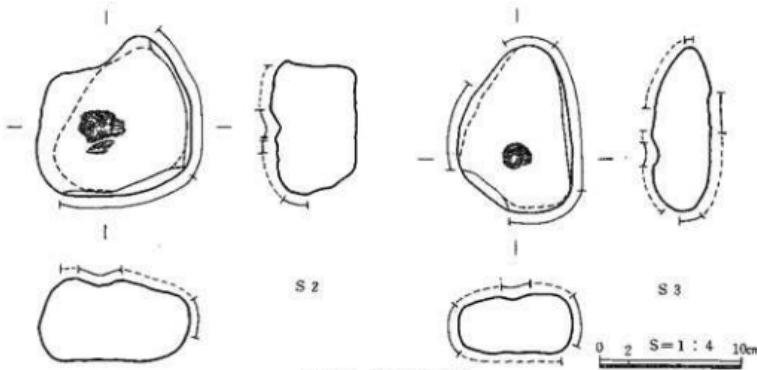
挿図28 集石17遺物図

集石18（挿図29・30、図版9・31）

- 位 置 7Fグリッドの南西隅に位置する。
- 形 態 15cm前後の丸円礫、亜角礫を101個、30cm大の平行1個を使用し、ほぼ楕円形に配石されていたものと推測される。残存する礫は長径1.5m、短径0.9mの範囲に広がっている。
- 断面を観察すると、石はほぼ平たく置かれているが、中央部分のみ二段に置かれていることが判る。
- 遺 物 磨石S1、敲石S2～4、他に押型文土器〔楕円〕2片、〔菱形〕1片、撲糸文土器〔縦巻〕1片、無文土器2片を検出した。



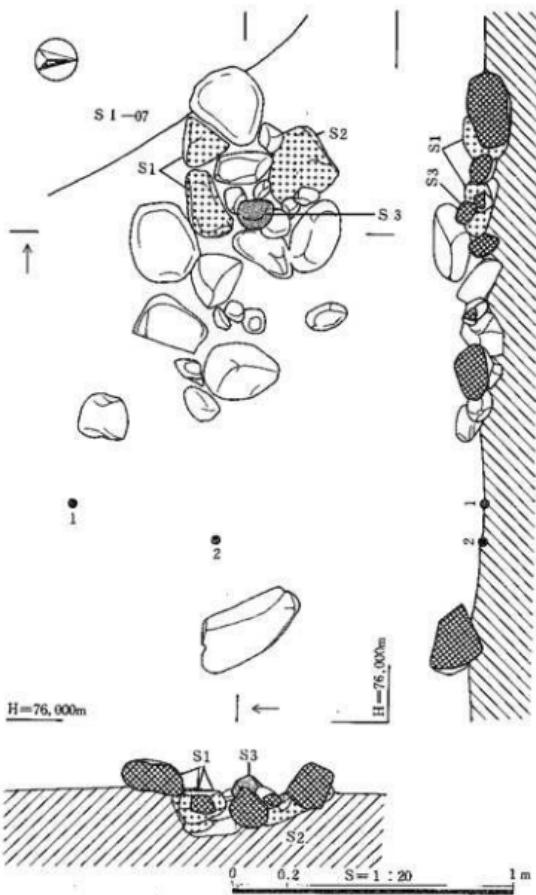
挿図29 集石18遺構図



挿図30 集石18遺物図

集石19（挿図31、図版9）

- 位置** 8 E グリッドの中央東端に位置し、一部 8 F グリッドにかかる。
- 形態** 大きな平石を周間に配し、内側に掌大の石を充填した梢円形（1.3m × 1.0m）の集石であると考えられ、石は21個を数えた。
土坑は検出しなかったが、南北断面を観察すると、石は中央部に向かって凹んでいることから、土坑が存在した可能性も考えられる。
- 特筆事項** 東側で、40cm 大きな石が1個検出されているが、この集石は、本米もっと大きなもので、この石の付近まで配石されていた可能性も考えられる。
- 遺物** 石皿 S 1・2、敲石 S 3、押型文土器〔菱形〕 Po 1、無文土器 Po 2 を検出した。



挿図31 集石19遺構図

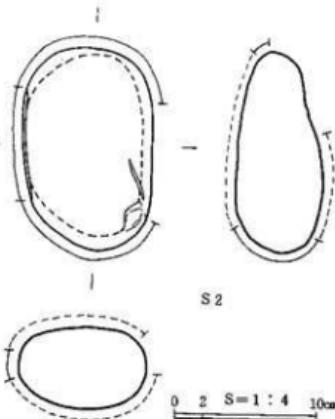
集石20（挿図32・34、図版10・31）

位 置 8Fグリッドの南西側に位置する。

形 態 西側はS1-07（古墳時代）によって一部切られている。石の残存状況は、比較的良好なものと思われる。石は楕円形（2.3m×1.7m）に配されているが、集石の東側は、一部円形に石の配されていない部分がある。この部分の下部は、楕円形の土坑（1.9m×1.35m-0.5m程度）となっており、かなりの石が土坑内で検出されている。断面を観察すると、石は土坑の中央に向かって凹むような形となり、もともと平坦に置かれていた石が、土坑内に落ち込んだものと推測される。石は357個使用されている。

遺物 石皿S 1、磨石S 2、敲石S 3、石鏃1点、横形剥片（石英）H123、押型文土器〔楕円〕Po 1～8、〔菱形〕Po 9～13、撚糸文土器〔縦位〕Po14～16、無文土器Po 7・17～39・40～43（各2片）の他、押型文土器〔楕円〕1片、〔菱形〕2片、撚糸文土器〔網目状〕1片、無文土器4片、不明土器Po44～49、石皿1個を検出した。

図32 集石20遺物図



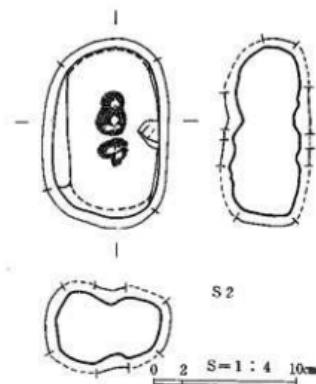
集石21（図33・35、図版10・31）

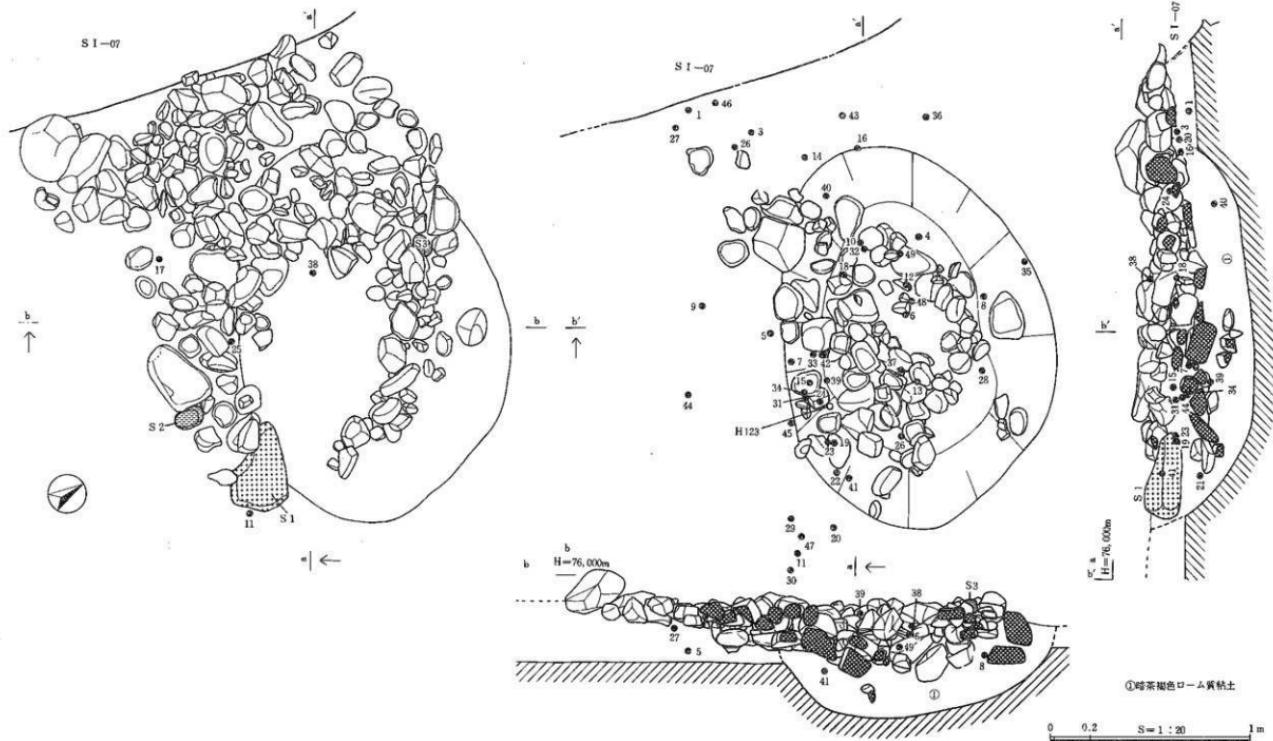
位置 8 F グリッドの南西隅に位置する。
形態 比較的大きな平石が、ほぼ楕円形に配されている部分を1つのまとまりとして考えたい。長径1.5m、短径1.3mを測る。
 30cm大の平らな礫（10個）が、15cm前後の比較的小さな礫（38個）を取り閉むように配されている。
 断面を観察すると、石はほぼ平坦に置かれている。
遺物 磨石S 1、敲石S 2、剥片（石英）1片、剥片（ジャスパー）1片、石鏃1点、土器は集石内及び周辺で、押型文土器〔楕円〕Po 1～12、〔菱形〕Po13・14、撚糸文土器〔縦位〕Po15、無文土器Po 16～26の他、押型文土器〔楕円〕2片、無文土器8片、不明土器Po27～33、敲石1個を検出した。

集石22（図36、図版11）

位置 8 E グリッドに位置する。
形態 西側はS I -07（古墳時代）によって切られているが、残存規模は、長径1.1m、短径1.05mを測り、33個の石が使用されている。
 30cm前後の平たい礫を周囲に配し、中央部に20cm大の比較的小型の礫を置く、ほぼ楕円形の配石であったと推測する。
 断面を観察すると、中央部付近は、周辺部に比べ、若干落ち込んでいるように見受けられる。

図33 集石21遺物図





1・2回目掘り下げ

図34 焦石20遺構図

3・4回目掘り下げ

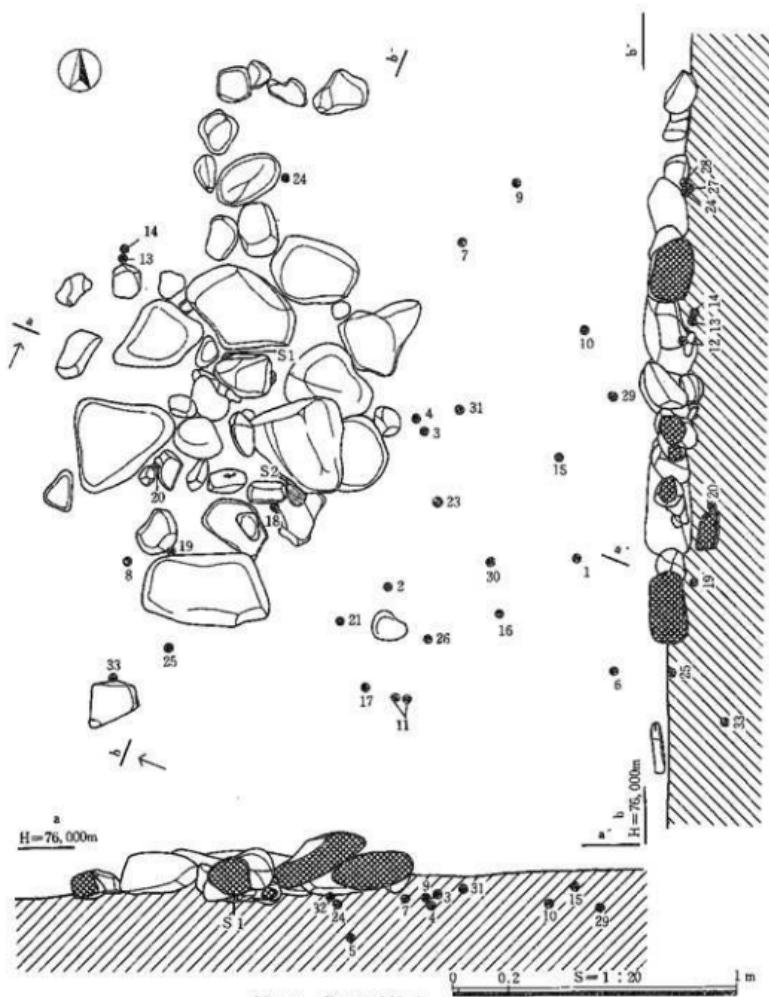


図35 集石21遺構図

けられるが、土坑等の下部遺構は検出されなかった。

- 特筆事項** 集石22より北側に向けて、ほぼ直線に30cm前後の石が5個、15cm前後の石が18個並ぶ。これは、S I-07で切られたため形をとどめない集石と考えるべきかも知れない。
- 遺物** 集石の南側で石皿S 1を検出した他、敲石1個、横形剣片（黒曜石）H126、押型文土器〔楕円〕Po 1~10、撚糸文土器〔縦位〕Po11、沈線文土器Po12、貝殻文土器Po 23、無文土器Po13~22の他、押型文土器〔楕円〕1片、無文土器3片を検出した。

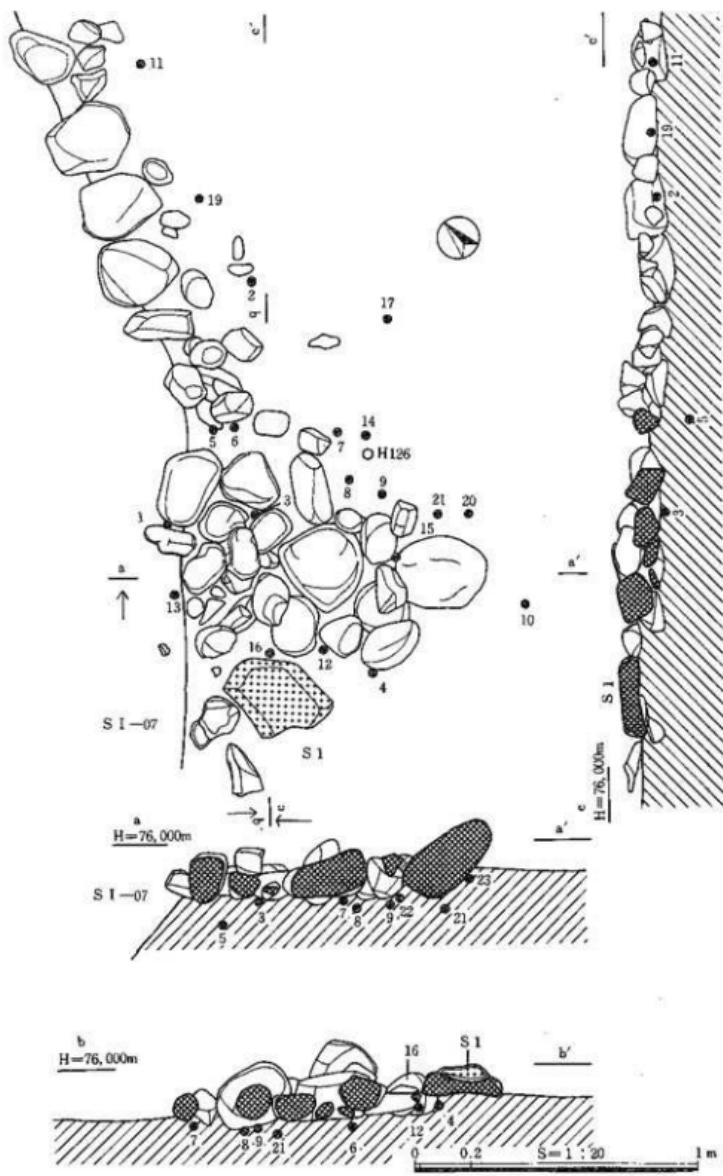
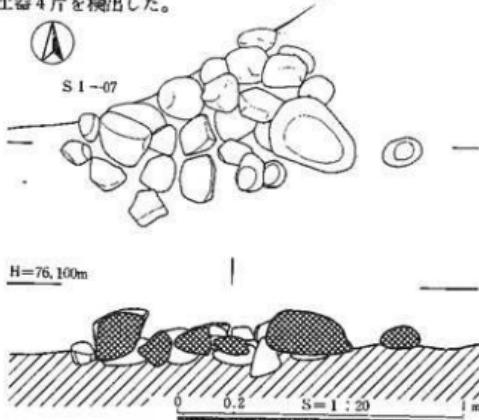


插圖36 集石22邊構図

集石23 (挿図37、図版11)

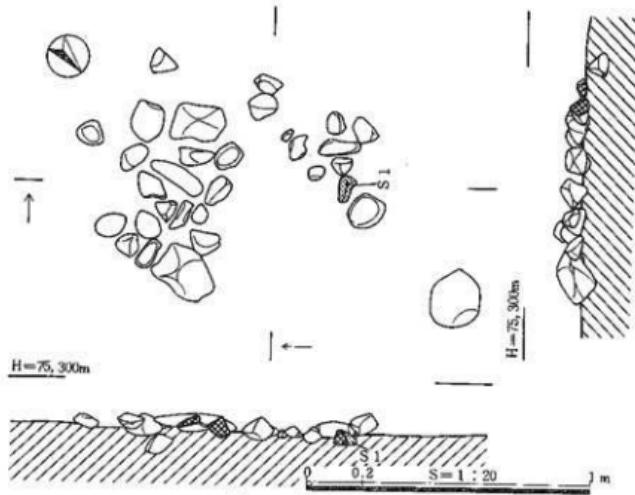
- 位置 8 E グリッドの南側に位置する。
 形態 拳大～人頭大の石を32個使用している。
 遺物 沈線文土器1片、無文土器4片を検出した。



挿図37 集石23遺構図

集石24 (挿図38)

- 位置 9 E グリッドの中央東端に位置する。
 形態 径1.1mほどの範囲で、10～20cm大の石が30個検出されたが、耕作による擾乱のため、規模等は不明である。
 遺物 砥石S 1 を検出した。



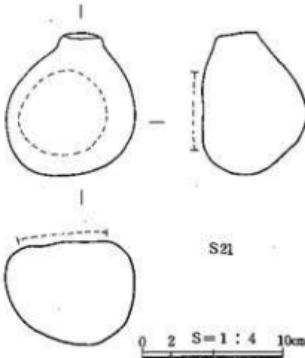
挿図38 集石24遺構図

集石25 (挿図39・40・41、図版11・32)

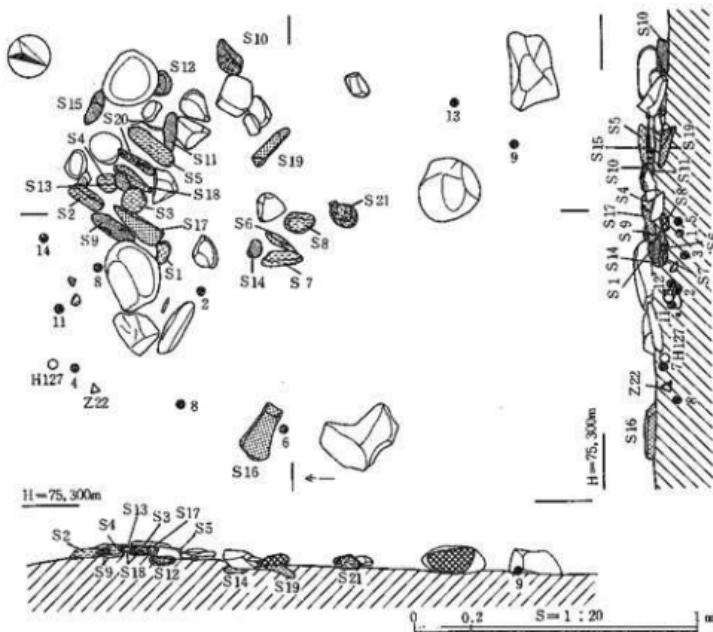
位 置 8 F グリッドの東隅に位置する。
形 性 亜円礫、亜角礫を使用した他の集石とは
異なり、石製品を集め円形状に配置してい
たものと見受けられるが、北側では石はほ
とんど検出されなかった。

遺 物 磨石 S 1~8、敲石 S 9~15、底石 S 16
~19、不明石器 S 20・21、石鐵 Z 22、剝片
(黒曜石) H 127、横形剝片(黒曜石、ジャ
スパー) 2片、押型文土器〔横円〕Po 1~
3・4 (2片)、燃糸文土器〔縦位〕Po 5、
無文土器 Po 6~14・4 (11片)を検出した。

S 20は棒状の石の端部に打撃が加えられているが用途は不明である。



挿図39 集石25遺物図1



挿図40 集石25遺構図

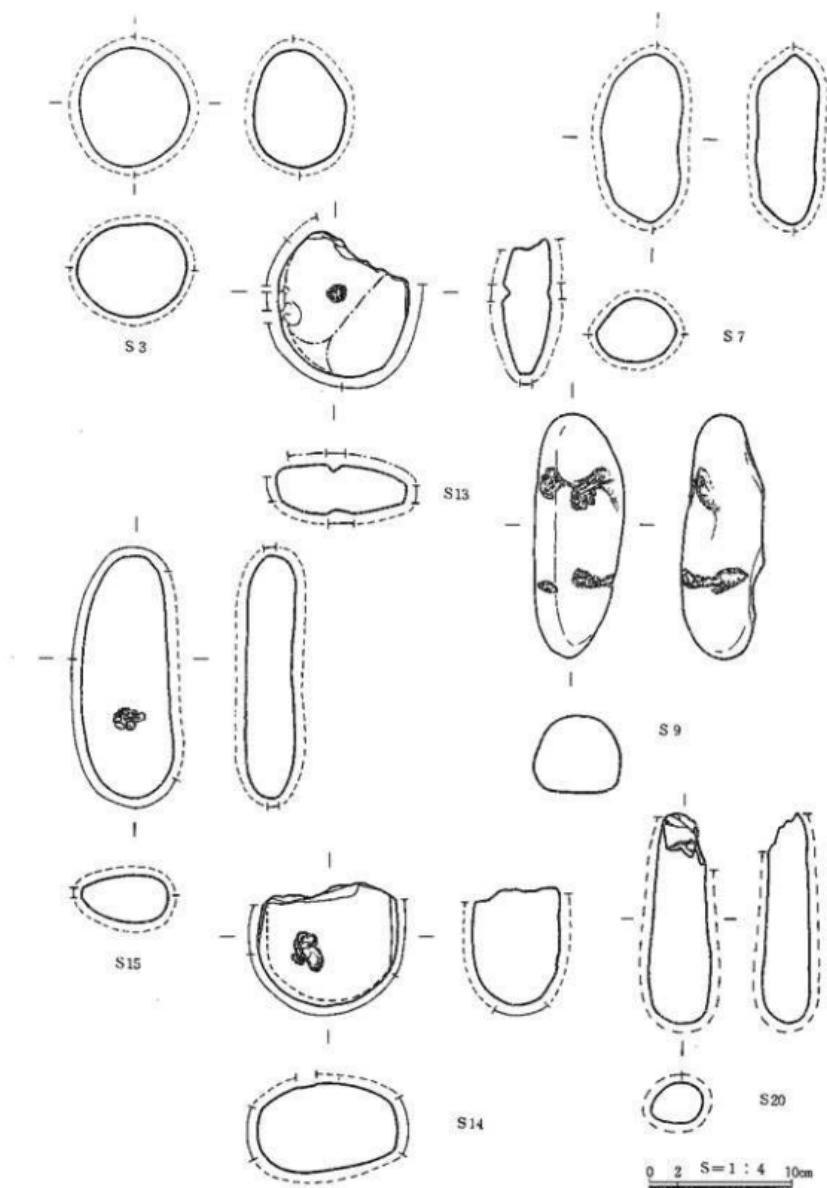
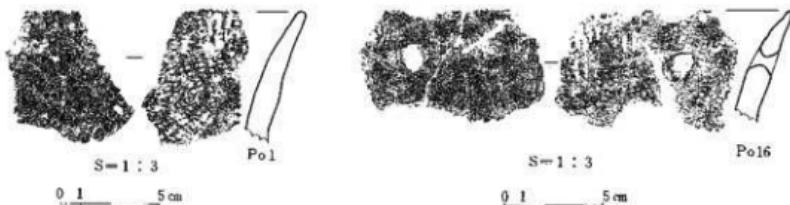


図41 集石25造物図 2

集石26 (挿図42・43、図版11・12)

- 位 置** 6 G グリッドの中央南端から、7 G グリッドの中央北端にわたって位置する。
- 形 態** 椎円形 (推定 $2.5m \times 1.5m - 0.5m$) を呈する土坑を持ち、中央に核となる大きな石を置いており、長軸上に、中央の石も含めて3個の大きな石が配されている。その周囲には挙大～人頭大の石を配している。石は全部で266個使用されており、長軸方向は N-70°-W をとる。
- 遺 物** 石皿 S 1～3、敲石 S 4、剝片 (鉄石類) 1片、押型文土器 [椎円] Po 1～8、[菱形] Po 9～10、撫糸文土器 [縦位] Po 11～12・13 (2片)、無文土器 Po 7・14～24の他、押型文土器 [椎円] 5片、無文土器20片、不明土器 Po 25～27を検出した。



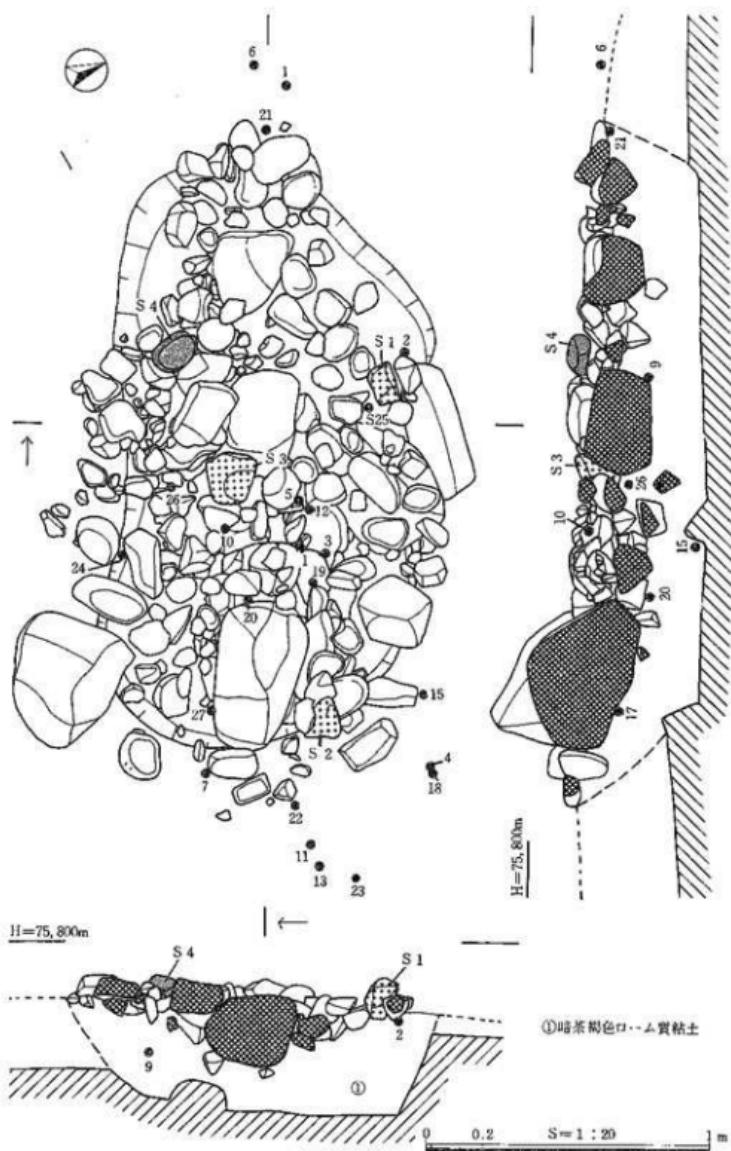
挿図42 集石26遺物図

集石27 (挿図44、図版12)

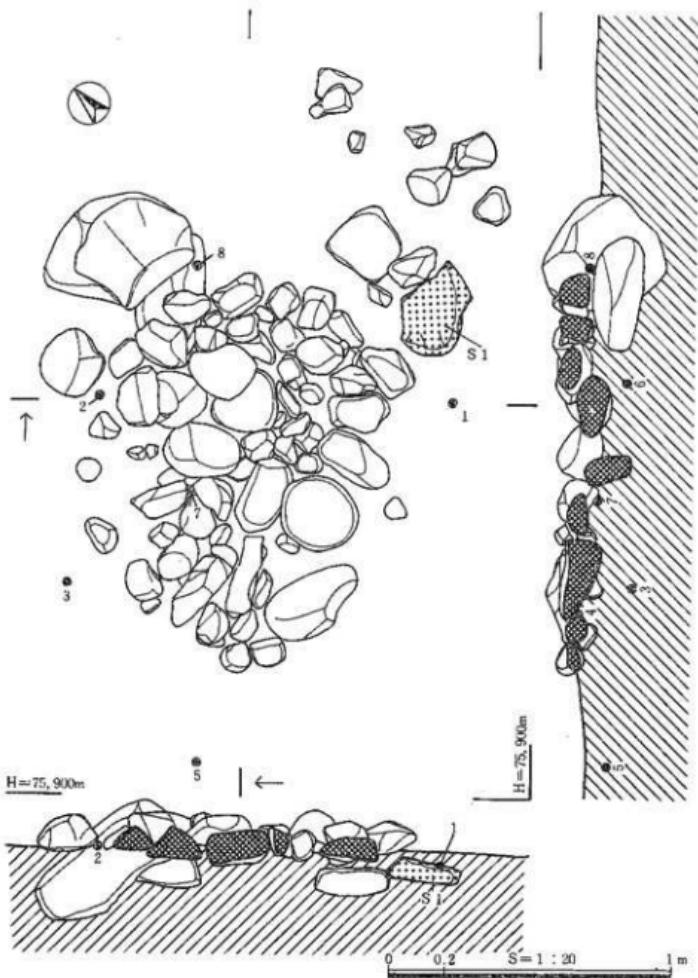
- 位 置** 8 F グリッドの北西に位置する。
- 形 態** 集石の南側と西側の一部は礫が欠けているようであるが、径約1.4m 前後の広がりをもつほぼ円形の配石がなされていたと推測される。石は66個使用されている。
- 中央付近に25cm前後の平らな石を置き、その周辺に15cm前後の小型の礫を配し、それを20～30cm大の比較的大きな石で取り囲む形で配されている。
- 断面を観察すると、中央部に向かって若干凹んでいるように見受けられる。集石下に土坑を検出できなかったが、土坑があった可能性もある。
- 特筆事項** 集石下の包含層を除去したところ、石皿 S 1 が出土した。この集石の近くではあるが、集石32が他の集石より下層で出土していることもあり、石皿は集石27よりも古い時期に、この場に置かれたものと考えたい。
- 遺 物** 石皿 S 1、石鐵 1点、無文土器 Po 1～7の他、押型文土器 [椎円] 4片、沈線文土器 1片、無文土器 9片、不明土器 Po 8を検出した。

集石28 (挿図45、図版12)

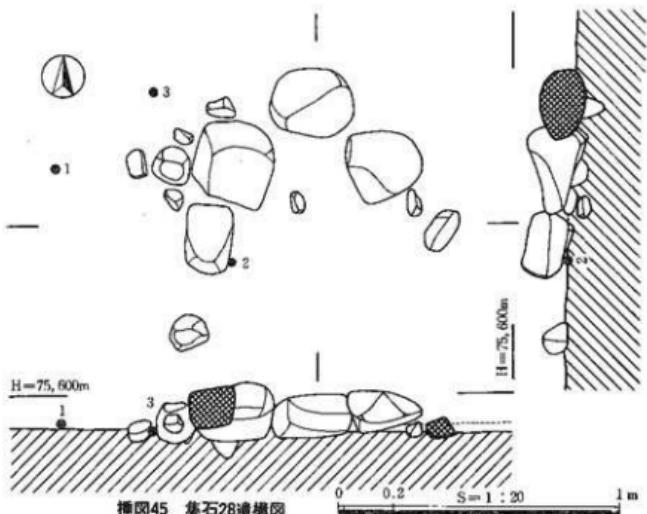
- 位 置** 7 E グリッドの中央やや東寄りに位置する。
- 形 態** 四つの大きな石が、右の上面の高さをほぼ揃える形で、半円形に並んでいる。擾乱等によりかなり破壊されていると考えられ、もとの形は不明である。石は全部で12個を数えた。
- 遺 物** 無文土器 Po 1・2・3 を検出した。



擇図43 集石26遺構図



擇図44 集石27遺構図



集石29 (挿図46・47・48、図版13・31)

- 位 置** 7 E グリッド南側から、8 E グリッド北側にわたって位置する。
- 形 態** 8 E グリッドで SI-02・07によって切られているが、石は径8.0m程度の広がりを持つ。石はほぼ平坦に置かれているようであるが、これらの石を取り除いたところ中央部で、平面形がほぼ橢円形 ($1.75\text{m} \times 1.35\text{m}$ - 0.4m) の土坑 (挿図46、集石29-2) を検出した。土坑内の石はほとんど挙大の石であるが断面を観察すると、土坑中央部に向って凹んでいることがわかる。
- 特筆事項** 第1面の石と、土坑内の石とのつながりは、はっきりしないが、土坑をつくった後それを覆う形で石を配したものと考えられる。土坑内の石は、土坑上に配されていた石が、後に落ち込んだものであろう。石は計1547個を数えた。
- 遺 物** 石皿S 1～3、磨石S 4～9、敲石S 10～18、他に磨石2個、敲石5個、剝片 (ジャスパー) 1片 H136、(石英) 1片、(黒曜石) 2片、横形剝片 (黒曜石) 1片、細石刃 (黒曜石) 1片、押型文土器 [楕円] Po 1～14・16・89～93 (各2片)、15 (3片)、[菱形] Po 17～26・94、撚糸文土器 [縦位] Po 82、[網目状] Po 27、織文土器 Po 28・29、沈線文土器 Po 30、無文土器 Po 12・19・20・22・29・31～76・78～81・89・92・95～109 (各2片)、77・83 (各3片) 尖底 Po 5 の他、押型文土器 [楕円] 16片、[菱形] 9片、撚糸文土器 [縦位] 2片、[網目状] 1片、沈線文土器 3片、無文土器 72片、不明土器 Po 84～88・110～113を検出した。

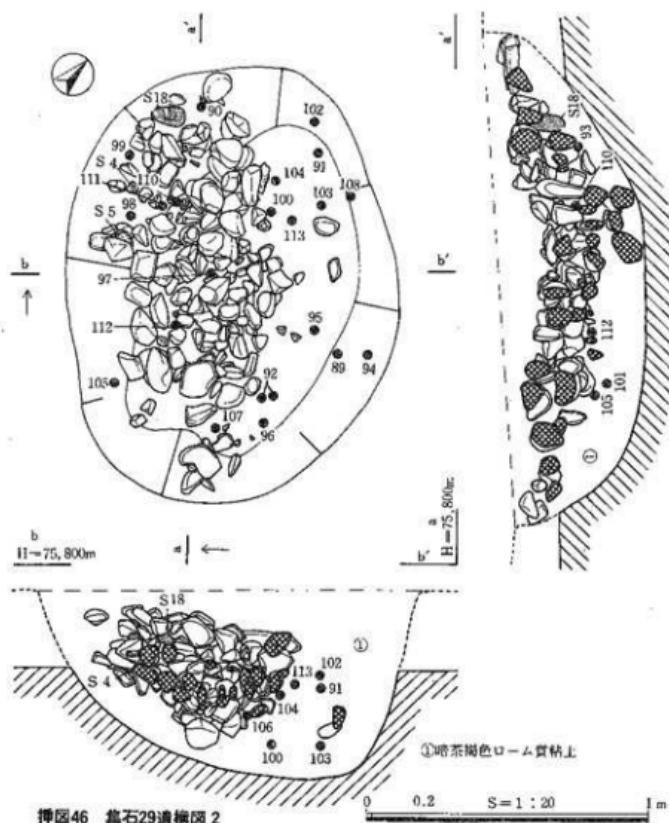


図46 集石29遺構図2

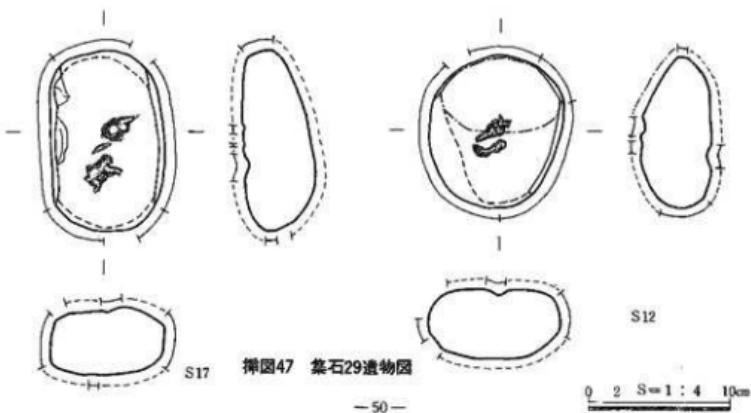


図47 集石29遺物図

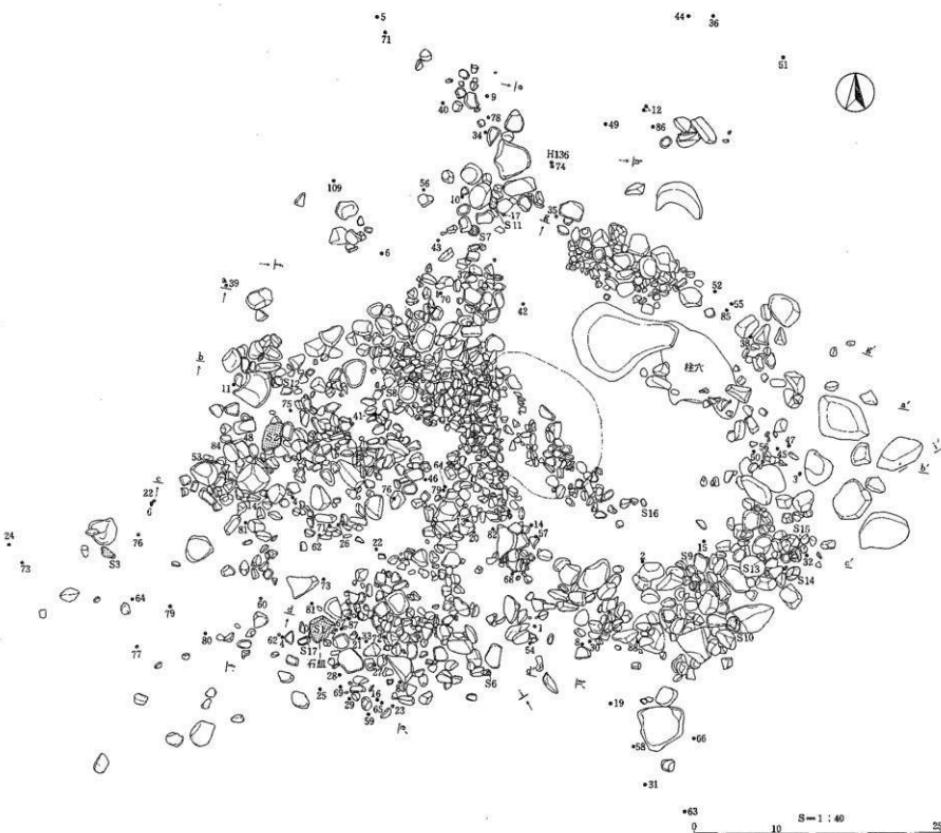
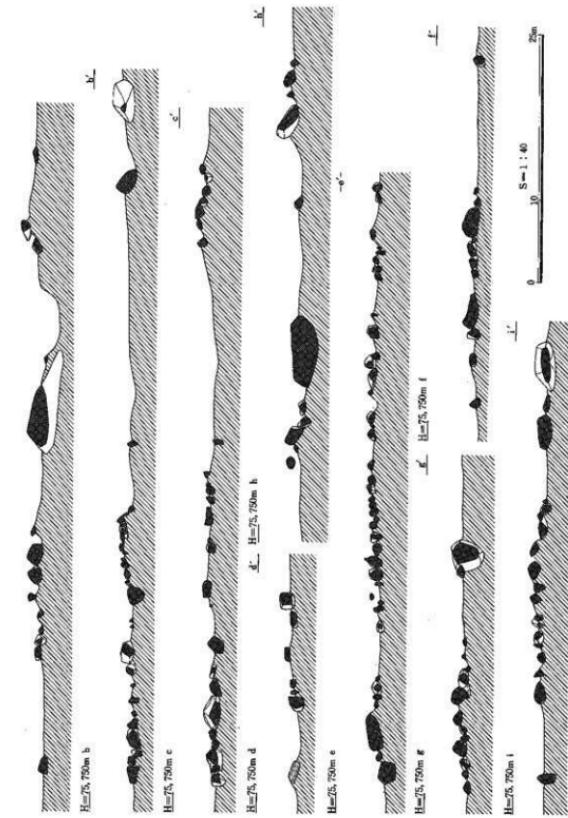


图48 集石29遗物图1



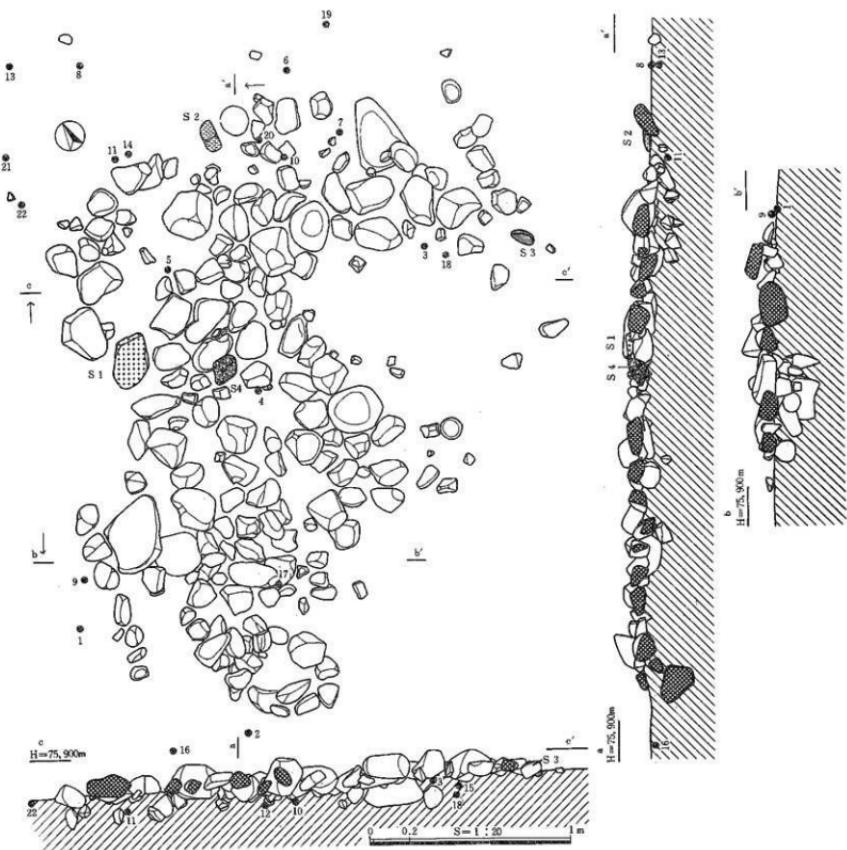
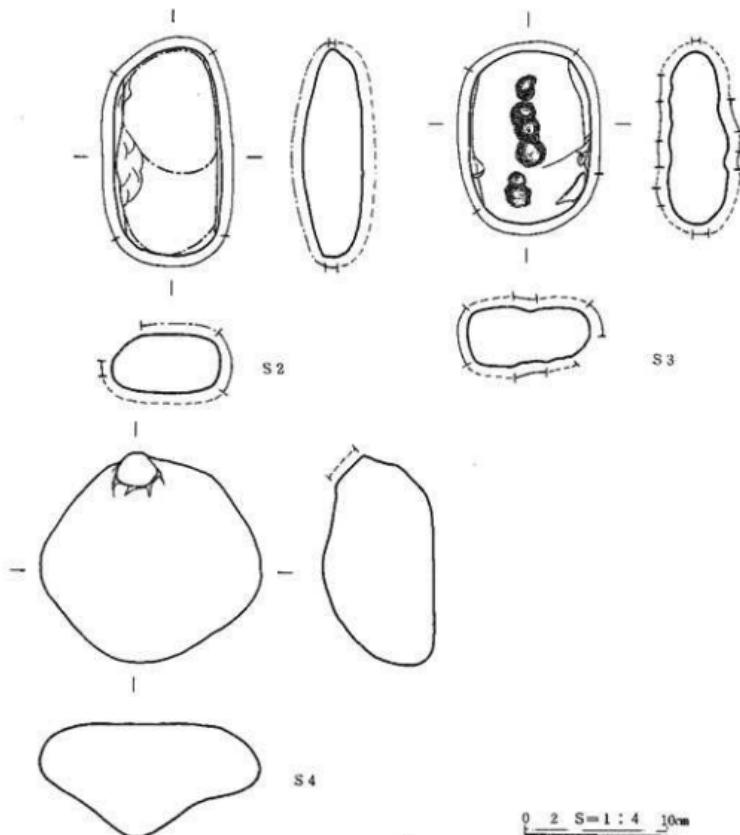


插图49 犀石30造構図

集石30 (挿図49・50、図版13・32)

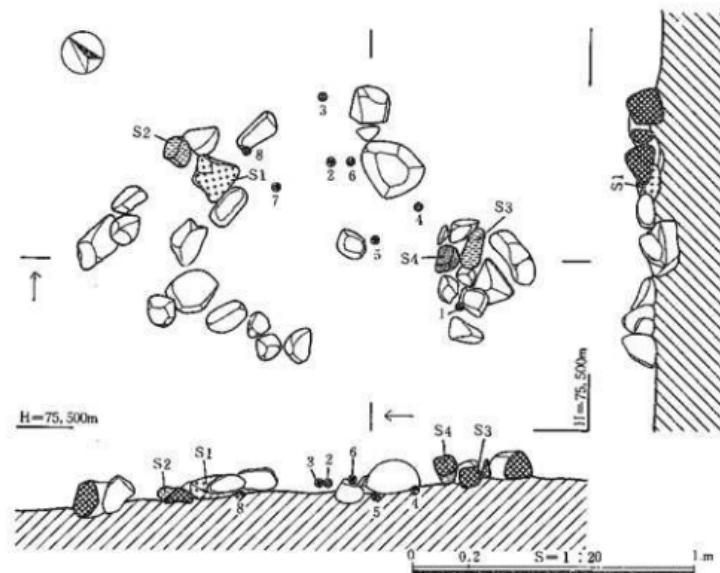
- 位 置 7 E グリッドの北東側に位置する。
- 形 態 かなり擾乱を受けているようであるが、残存している石はほぼ楕円形 ($3.40m \times 2.80m$ 程度) の広がりを持っている。平面、断面より、集石30の南西部には、小型の楕円形 ($1.0m \times 0.7m$ 程度) の集石が、個別に存在していたと考えられる。石は全体で211個を数えた。
- 遺 物 石皿S 1、磨石S 2、敲石S 3、特殊石製品S 4、押型文土器〔楕円〕Po 1～4(2片)、撚糸文土器〔縦位〕Po 5～20・21(2片)・22(2片)、無文土器Po 3の他、8～22(2片)の他、押型文土器〔楕円〕8片、無文土器10片を検出した。



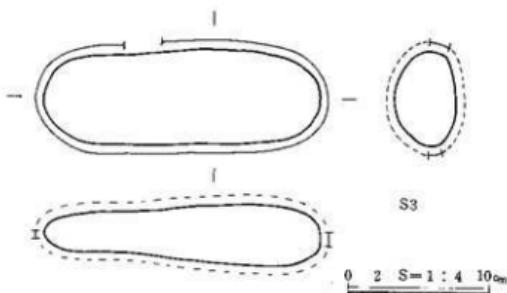
挿図50 集石30遺物図

集石31（挿図51・52、図版31）

- 位 置 6 E グリッドの中央東端に位置する。
- 形 態 搾乱等により、石の残存状況は良くないが、残存規模は（1.6m × 1.0m 程度）で、ほぼ梢円形を呈する。石は34個を数えた。
- 遺 物 石皿S 1、磨石S 2・3、敲石S 4、沈線文土器Po 1～3、無文土器Po 4～7・8（2片）を検出した。



挿図51 集石31遺構図



挿図52 集石31遺物図

集石32（挿図53、図版14）

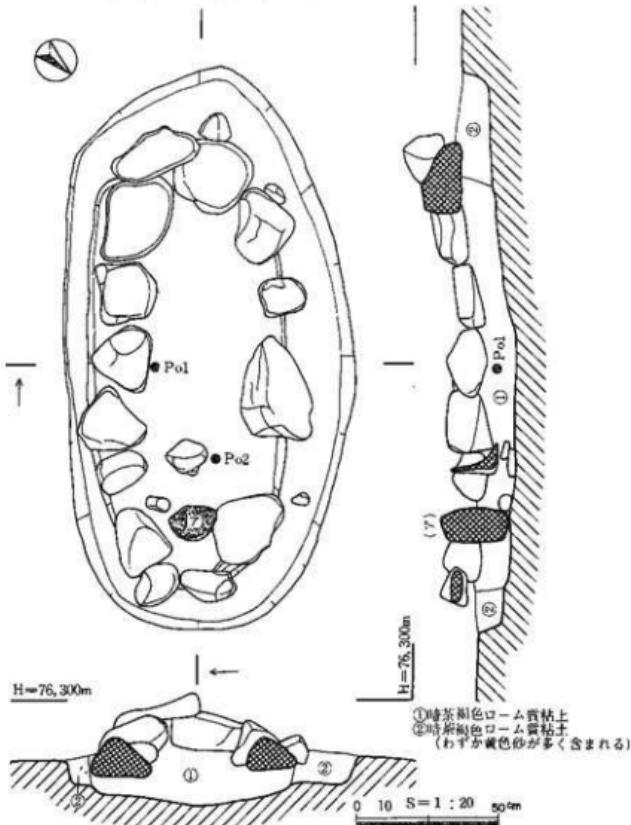
位 置 7Fグリッドの西側隅に位置する。

形 態 平石が楕円形を呈する。これらの石の周囲に長径2m、短径1.05mの掘り方をもつ。土層確認後、石を取り除き内側の掘り方（長径1.45m、短径0.7m）を検出した。この折、縄文土器片を3片検出した。石の配列、二段の掘り方をもつことから、集石32は縄文時代の埋葬施設と考えた。

埋葬形態は土壙墓と考える。頭位は、アの石が立った状態で置かれている（周囲の石は平面的に並べられている）ことから推測して、北東（N-48°-E）を考える。

埋土は含まれる黄色砂の多少によって二層に分層できた。

遺 物 無文土器Po1・2、撚糸文土器（網目）1片を検出した。



挿図53 集石32遺構図

插表1 集石遺構出土縄文式土器一覧表

遺構名	破片数	土器No	分類	取上げNo	遺構名	破片数	土器No	分類	取上げNo			
集石01	1	Po 1	Ⅳ類	3	集石07	1	その他	Ⅳ類	7			
	1	Po 2	*	48		1	*	*	13			
	1	その他	I類B種-②-a	49		1	*	*	16			
	1	*	Ⅶ類	4		1	Po 1	I類B種-②-a	4			
	1	*	*	47		1	Po 2	*	5			
	1	*	*	50		1	Po 3	I類C種-①-1	2			
	—	—	—	—		1	Po 4	Ⅳ類	3			
	—	—	—	—		1	Po 5	*	6			
	—	—	—	—		1	その他	I類B種-②-a	8			
	—	—	—	—		1	*	Ⅲ類-⑤	13			
集石03	—	—	—	—		1	*	Ⅳ類	9			
	—	—	—	—		1	*	*	10			
	—	—	—	—		1	*	*	11			
	—	—	—	—		1	*	*	12			
	—	—	—	—		1	*	*	13			
	—	—	—	—		1	*	*	14			
	—	—	—	—		1	*	*	15			
	—	—	—	—		1	*	*	16			
	—	—	—	—		1	*	*	17			
	—	—	—	—		1	*	*	18			
集石05	1	Po 1	I類B種-②-a	13		1	*	*	19			
	1	Po 2	*	12		1	*	*	20			
	1	Po 3	*	10		1	*	*	21			
	1	Po 4	I類C種-②	18		1	*	*	22			
	1	Po 5	II類A種-③	2		1	Po 1	I類B種-②-a	4			
	1	Po 6	*	15		1	Po 2	*	10			
	1	Po 7	*	14		1	*	I類C種-①	10			
	1	Po 8	Ⅳ類	16		1	Po 3	I類B種-②-a	26			
	1	Po 9	*	21		1	*	Ⅳ類	26			
	1	Po 10	*	1		1	Po 4	I類B種-②-a	23			
集石06	1	Po 11	*	11		1	Po 5	*	21			
	2	その他	I類B種-②-a	22		1	Po 6	*	31			
	1	*	Ⅳ類	19		1	Po 7	*	8			
	1	*	*	20		1	Po 8	*	20			
	5	*	*	22		1	*	*	12			
	1	*	圓盤-Ⅱ	22		1	*	*	22			
	1	Po 1	I類B種-②-a	20		1	Po 9	*	11			
	1	Po 2	*	3		1	*	II類A種-③	11			
	1	Po 3	*	10		1	Po 10	*	13			
	1	Po 4	*	9		1	Po 11	Ⅲ類-⑥	9			
集石08	1	Po 5	*	7		1	Po 12	IV類-⑥	25			
	1	Po 6	【類C種-②-Ⅱ	5		1	Po 13	Ⅳ類	7			
	1	Po 7	II類A種-③-Ⅱ	4		1	Po 14	*	3			
	1	Po 8	II類B種-②	6		1	Po 15	*	31			
	1	Po 9	Ⅳ類	2		1	Po 16	*	19			
	1	Po 10	*	8	接合							
	1	Po 11	*	12	1	Po 9	*	11				
	1	Po 12	*	1	1	Po 10	*	13				
	1	Po 13	Ⅳ類-Ⅱ	11	1	Po 11	Ⅲ類-⑥	9				
	1	Po 14	*	7	1	Po 12	IV類-⑥	25				
集石09	1	Po 15	*	8	1	Po 13	Ⅳ類	7				
	1	Po 16	*	9	1	Po 14	*	3				
	1	Po 17	不明	10	1	Po 15	*	31				
	1	Po 18	*	11	1	Po 16	*	19				
	1	Po 19	*	12								
	1	その他	I類B種-①	17								

透構名	破片数	土器No	分類	取上げNo
集石08	1	Po 17	V類	2
	1	Po 18	Ⅳ類 - II	1
	1	Po 19	V類	14
	2	Po 20	*	14
	1	その他	I類B種 - ①	17
	1	*	I類B種 - ② - a	6
	1	*	*	18
	1	*	I類C種 - ①	18
	1	*	II類A種 - ③	33
	1	*	Ⅳ類 - ③	30
	1	*	Ⅳ類 - ②	33
	1	*	V類	5
	1	*	*	15
	1	*	*	17
	1	*	*	18
	2	*	*	33
	1	*	Ⅳ類 - II	32
	1	*	*	29
集石09	1	Po 1	I類B種 - ①	2
	1	Po 2	Ⅳ類 - II	3
	1	Po 3	V類	4
	2	その他	I類B種 - ①	10
	1	*	Ⅳ類 - II	11
	1	*	V類	5
	1	*	*	6
	1	*	*	7
	6	*	*	10
集石10	1	*	*	3
	1	*	*	4
	1	*	*	7
集石11	1	Po 1	Ⅳ類A種 - ③	4
	1	Po 2	Ⅳ類	2
	1	Po 3	*	5
	1	Po 4	*	1
	1	Po 5	*	3
集石12	1	Po 1	I類B種 - ② - a	47
	1	Po 2	*	24
	1	Po 3	*	188
	1	Po 4	*	41
	1	Po 5	*	36
	1	Po 6	*	37
	1	*	*	39
	1	Po 7	Ⅳ類	21
	1	Po 8	*	35
	1	Po 9	*	22
	1	Po 10	*	40
	1	Po 11	Ⅳ類 - II	42

透構名	破片数	土器No	分類	取上げNo
集石12	1	Po 12		38
	1	Po 13	不 明	48
	1	Po 14		74
	1	Po 15		43
	1	その他	I類B種 - ② - a	20
	1	*	*	23
	1	*	*	26
	1	*	*	30
	1	*	*	45
	1	*	I類C種 - ①	23
	1	*	*	27
	1	*	II類A種 - ② - II	29
	1	*	Ⅳ類 - II	34
	1	*	Ⅳ類 - VII	26
	1	*	Ⅳ類	13
	1	*	*	14
	1	*	*	15
	1	*	*	17
集石13	1	Po 1	I類B種 - ① - a - II	20
	1	Po 2	I類B種 - ① - a	35
	1	Po 3	*	33
	1	Po 4	*	13
	1	Po 5	II類A種 - ③	42
	1	Po 6	*	10
	1	Po 7	Ⅳ類	27
	1	Po 8	*	14
	1	Po 9	*	17
	1	Po 10	*	41
	1	Po 11	*	24
	1	Po 12	*	31
	1	Po 13	*	26
	1	Po 14	*	37
	1	Po 15	*	38
	1	Po 16	*	23
	1	Po 17	不 明	45

遺構名	破片数	土器No	分類	取上げNo	遺構名	破片数	土器No	分類	取上げNo
集石13	1	Po 18	不明	40	集石15	1	Po 5	Ⅳ類	6
	1	その他	I類B種-②-a-V	1		1	Po 6	*	7
	1	*	I類B種-②-a	15		1	Po 7	*	5
	1	*	*	22		1	その他	*	1
	1	*	*	28		1	Po 1	I類B種-②-a	3
	1	*	*	29		1	Po 2	II類A種-⑤	1
	1	*	*	30		1	Po 3	Ⅳ類	2
	1	*	*	36		1	Po 4	*	10
	1	*	*	39		1	Po 5	*	9
	1	*	II類A種-③	18		1	Po 6	不明	5
	1	*	*	19		1	その他	I類B種-②-a	12
	3	*	Ⅳ類	2		1	*	IV類-③	4
	1	*	*	9		4	*	Ⅳ類	4
	3	*	*	12		1	*	*	6
	1	*	*	16		1	*	*	11
	1	*	*	21		3	*	*	13
	1	*	*	25		1	その他	*	4
	2	*	*	32		1	*	*	5
	1	*	*	33	集石18	1	その他	I類B種-②-a	1
	1	*	*	34		1	*	*	11
集石14	1	Po 1	I類B種-②-a	10		1	*	I類C種-①	10
	1	Po 2	*	15		1	*	II類A種-③	2
	1	Po 3	*	25		1	*	Ⅳ類	3
	1	Po 4	*	16		1	*	*	9
	1	Po 5	*	33		1	Po 1	I類C種-①	79
	1	Po 6	*	17		1	Po 2	Ⅳ類	78
	1	*	Ⅳ類	17		1	Po 1	I類B種-②-a	33
	2	Po 7	I類B種-②-a	9		1	Po 2	*	35
	1	*	II類A種-③	9		1	Po 3	*	15
	1	*	Ⅳ類	9		1	Po 4	*	51
	2	Po 8	I類B種-②-a	19		1	Po 5	*	53
	1	Po 9	I類C種-①	11		1	Po 6	*	19
	1	Po 10	*	13		1	Po 7	*	38
	1	Po 11	*	5		1	*	Ⅳ類	38
	1	Po 12	*	12		1	Po 8	I類B種-②-a-II	62
	1	Po 13	*	22		1	Po 9	I類C種	52
	1	Po 14	Ⅳ類	24		1	Po 10	I類C種-①	50
	1	Po 15	*	7		1	*	*	37
	1	Po 16	*	8		1	Po 11	*	9
	1	Po 17	*	6		1	Po 12	*	44
	1	Po 18	*	14		1	Po 13	*	22
	1	Po 19	*	20		1	Po 14	II類A種-③	11
	1	その他	*	18		2	*	Ⅳ類	11
集石15	1	Po 1	I類B種-②	10		1	Po 15	II類A種-③	24
	2	Po 2	*	8		1	Po 16	*	12
	1	Po 3	*	9		1	Po 17	Ⅳ類-II	5
	1	Po 4	Ⅳ類	4		1	Po 18	Ⅳ類	17

遺物名	破片数	土器No	分類	取上げNo	遺物名	破片数	土器No	分類	取上げNo
集石20	1	Po 19	Ⅳ類	26	集石21	1	Po 15	Ⅱ類A種-④	17
	2	Po 20	*	16		1	Po 16	Ⅳ類	8
	1	Po 21	*	29		2	Po 17	*	5
	1	Po 22	*	57		1	Po 18	*	2
	1	Po 23	*	41		1	Po 19	*	39
	1	Po 24	*	45		1	Po 20	*	40
	1	Po 25	*	3		1	Po 21	*	13
	1	Po 26	*	47		1	Po 22	*	33
	1	Po 27	*	13		1	Po 23	*	16
	1	Po 28	*	61		1	Po 24	*	51
	1	Po 29	*	31		1	Po 25	*	32
	1	Po 30	*	43		1	Po 26	*	7
	1	Po 31	*	25		1	その他	J類B種-②-a	14
	1	Po 32	*	20		1	*	*	34
	1	Po 33	*	48		1	*	Ⅳ類	15
	1	Po 34	*	40		1	*	*	31
	1	Po 35	*	42		1	*	*	41
	1	Po 36	*	34		1	*	*	42
	1	Po 37	*	21		1	*	*	43
	1	Po 38	*	4		1	*	*	47
	1	Po 39	*	54	集石22	1	Po 1	I類B種-②-a	3
	2	Po 41	*	67		1	Po 2	*	13
	2	Po 42	*	28		1	Po 3	*	19
	2	Po 42	*	39		1	Po 4	*	17
	2	Po 43	*	68		1	Po 5	*	48
	1	その他	I類B種-②-a	27		1	Po 6	*	49
	1	*	I類C種-①	8		1	Po 7	*	44
	1	*	*	63		1	Po 8	*	46
	1	*	II類B種-③	49		1	Po 9	*	45
	1	*	Ⅳ類	6		1	Po 10	*	36
	1	*	*	7		1	Po 11	II類A種-②	15
	1	*	*	32		1	Po 12	Ⅳ類-①	18
	1	*	*	60		1	Po 13	Ⅳ類	2
集石21	1	Po 1	I類B種-②-a	10		1	Po 14	*	10
	1	Po 2	*	12		1	Po 15	*	9
	1	Po 3	*	20		1	Po 16	*	1
	1	Po 4	*	21		1	Po 17	*	11
	1	Po 5	*	22		1	Po 18	*	12
	1	Po 6	*	9		1	Po 19	*	14
	1	Po 7	*	26		1	Po 20	*	35
	1	Po 8	*	4		1	Po 21	*	37
	1	Po 9	*	27		1	Po 22	*	38
	1	Po 10	*	25		1	Po 23	V類	16
	1	Po 11	*	6		1	その他	I類B種-②-a	20
	1	Po 12	*	49		1	*	Ⅳ類	4
	1	Po 13	I類C種-①	50		1	*	*	8
	1	Po 14	*	3		1	*	*	20

遺構名	破片数	土器No	分類	取上げNo	遺構名	破片数	土器No	分類	取上げNo
集石23	1	その他	Ⅳ類 - ①	2	集石26	1		I類B種 - ② - a	12
	4	*	Ⅳ類	1		1		*	32
集石24	—	—	—	—		1		*	41
集石25	1	Po 1	I類B種 - ② - a	29		1		*	45
	1	Po 2	*	33		1		Ⅳ類 - II	42
	1	Po 3	*	30		1		*	47
	2	Po 4	*	39		1		Ⅳ類	10
	11	*	Ⅳ類	39		1		*	14
	1	Po 5	II類A種 - ③	28		1		*	15
	1	Po 6	Ⅳ類	23		7		*	17
	1	Po 7	*	36		1		*	23
	1	Po 8	*	34		1		*	39
	1	Po 9	*	31		1		*	40
	1	Po 10	*	24		1		*	43
	1	Po 11	*	35		1		*	44
	1	Po 12	*	32		1		*	46
	1	Po 13	*	25		1		*	55
	1	Po 14	*	26		1		*	57
集石26	1	Po 1	I類B種 - ② - a	3	集石27	1	Po 1	Ⅳ類	7
	1	Po 2	*	2		1	Po 2	*	4
	1	Po 3	*	4		1	Po 3	*	14
	1	Po 4	*	29		1	Po 4	*	15
	1	Po 5	*	24		1	Po 5	*	16
	1	Po 6	*	18		1	Po 6	*	19
	1	Po 7	*	28		1	Po 7	Ⅳ類 - II	13
	1	Po 8	Ⅳ類B種 - ①	5		1	Po 8	不明	12
	1	Po 9	I類C種 - ①	36		2	その他	I類B種 - ② - a	3
	1	Po 10	*	20		1	*	*	8
	1	Po 11	II類A種 - ③	27		1	*	*	10
	1	Po 12	*	34		1	*	IV類 - ④ - a	27
	2	Po 13	II類A種 - ②	1		1	*	Ⅳ類 - II	1
	1	Po 14	Ⅳ類 - III	6		1	*	Ⅳ類	1
	1	Po 15	Ⅳ類 - I	48		1	*	*	2
	1	Po 16	Ⅳ類 - II	31		1	*	*	5
	1	Po 17	*	30		1	*	*	6
	1	Po 18	Ⅳ類	13		2	*	*	9
	1	Po 19	*	5		1	*	*	17
	1	Po 20	*	33		1	*	*	18
	1	Po 21	*	19		1	Po 1	Ⅳ類	1
	1	Po 22	*	25		1	Po 2	*	3
	1	Po 23	*	7		3	Po 3	*	2
	1	Po 24	*	26		1	Po 1	I類B種 - ② - a	121
	1	Po 25	*	10				*	合25
	1	Po 26	不明	不明		1	Po 2	*	46
	1	Po 27				1	Po 3	*	49
	1	その他	I類B種 - ② - a	10		1	Po 4	*	50
						1	Po 4	*	14

遺構名	破片数	土器No	分類	取上げNo	遺構名	破片数	土器No	分類	取上げNo
集石29	1	Po 5	I類B種-②-a	96	集石29	1	Po 46	V類	73
	1	*	Ⅳ類-Ⅲ	96		1	Po 47	*	94
	1	Po 6	I類B種-②-a	90		1	Po 48	*	24
	1	Po 7	*	115		1	Po 49	*	65
	1	Po 8	*	122		1	Po 50	*	91
	1	Po 9	*	37		1	Po 51	*	89
	1	Po 10	*	79		1	Po 52	*	64
	1	Po 11	*	30		1	Po 53	*	23
	1	Po 12	*	86		1	Po 54	*	2
	2	*	Ⅳ類	86		1	Po 55	*	63
	2	Po 13	I類B種-②-a	117		1	Po 56	*	78
	2	Po 14	*	11		1	Po 57	*	119
	3	Po 15	*	47		1	Po 58	*	45
	1	Po 16	I類B種-①	112		1	Po 59	*	135
	1	Po 17	I類C種-②	41		1	Po 60	*	18
	1	Po 18	I類C種-①	73		1	Po 61	*	5
	1	Po 19	*	126		1	Po 62	*	15
	1	*	Ⅳ類	126		1	Po 63	*	128
	1	Po 20	I類C種-①	10		2	Po 64	*	8
	1	*	Ⅳ類	10		1	Po 65	*	113
	1	Po 21	I類C種-①	107		1	Po 66	*	57
	1	Po 22	*	6		1	Po 67	*	102
	1	*	Ⅳ類	6		1	Po 68	*	132
	1	Po 23	I類C種-①	114		1	Po 69	*	110
	1	Po 24	*	134		1	Po 70	*	34
	1	Po 25	*	16		1	Po 71	*	97
	1	Po 26	*	100		1	Po 72	*	106
	1	Po 27	II類B種-g	108		1	Po 73	*	19
	1	Po 28	Ⅲ類-④	109		2	Po 74	*	84
	1	Po 29	*	111		2	Po 75	*	26
	1	*	Ⅳ類	111		3	Po 76	*	7
	1	Po 30	Ⅳ類-④-a	123		3	Po 77	*	1
	1	Po 31	Ⅳ類-V	127		2	Po 78	*	38
	1	Po 32	Ⅳ類-Ⅳ	143		2	Po 79	*	9
	1	Po 33	*	5		2	Po 80	*	3
	1	Po 34	Ⅳ類	39		1	Po 81	*	13
	1	Po 35	*	83		1	Po 82	II類A種-③	118
	1	Po 36	*	88		1	Po 83	Ⅳ類-VII	4
	1	Po 37	*	80		2	*	Ⅳ類	4
	1	Po 38	*	61		1	Po 84		
	1	Po 39	*	68		1	Po 85		
	1	Po 40	*	40		1	Po 86	不明	
	1	Po 41	*	31		1	Po 87		
	1	Po 42	*	82		1	Po 88		
	1	Po 43	*	95		1	Po 89	I類B種-②-a	159
	1	Po 44	*	87		1	*	Ⅳ類-IV	159
	1	Po 45	*	92		1	*	Ⅳ類	159

遺構名	破片数	土器No	分類	取上げNo
集石29	1	Po 90	I類B種-②-a	168
	1	Po 91	*	152
	1	Po 92	*	161
	1	*	V類	161
	1	Po 93	I類B種-②-a	157
	1	Po 94	J類C種-①	160
	1	Po 95	冒頭-V	158
	1	Po 96	V類	162
	1	Po 97	*	148
	1	Po 98	*	147
	1	Po 99	*	146
	1	Po 100	*	156
	1	Po 101	*	164
	1	Po 102	*	151
	1	Po 103	*	155
	1	Po 104	*	154
	1	Po 105	*	166
	1	Po 106	*	153
	1	Po 107	*	165
	2	Po 108	*	170
	1	Po 109	-*	77
	1	Po 110		
	1	i	不明	
	1	Po 113		
	1	その他	I類B種-②-a	17
	1	*	*	26
	1	*	*	48
	1	*	*	70
	1	*	*	71
	1	*	*	72
	1	*	*	81
	1	*	*	99
	1	*	*	105
	1	*	*	124
	1	*	*	138
	1	*	*	140
	4	*	*	167
	2	*	I類C種-①	33
	1	*	*	69
	1	*	*	81
	1	*	*	124
	1	*	*	130
	1	*	*	141
	1	*	*	142
	1	*	I類C種-②	130
	1	*	II類A種-③	139
	1	*	*	81

遺構名	破片数	土器No	分類	取上げNo
集石29	1	その他	II類B種-⑦	32
	1	*	IV類-③	35
	1	*	*	67
	1	*	*	107
	1	*	V類	12
	13	*	*	17
	3	*	*	20
	1	*	*	27
	1	*	*	60
	7	*	*	67
	1	*	*	69
	1	*	*	72
	1	*	*	74
	1	*	*	77
	1	*	*	104
	2	*	*	105
	1	*	*	116
	1	*	*	120
	1	*	*	124
	2	*	*	130
	1	*	*	136
	1	*	*	137
	20	*	*	139
	1	*	*	144
	1	*	*	163
	9	*	*	167
	1	*	*	169
集石30	1	Po 1	I類B種-②-a-II	5
	1	Po 2	J類B種-②-a	11
	1	Po 3	*	1
	1	*	V類	1
	1	Po 4	I類B種-②-a	3
	1	*	I類B種-②-a-V	3
	1	Po 5	II類A種-③	2
	1	Po 6	*	18
	1	Po 7	*	19
	1	Po 8	V類	25
	1	Po 9	*	4
	1	Po 10	*	29
	1	Po 11	*	24
	1	Po 12	*	21
	1	Po 13	*	26
	1	Po 14	*	23
	1	Po 15	*	16
	1	Po 16	*	10
	1	Po 17	*	12
	1	Po 18	*	15

遺物名	破片数	土器No	分類	取上げNo	遺物名	破片数	土器No	分類	取上げNo
集石30	1	Po 19	直 線	17	集石31	1	Po 2	直 線 - ①	7
	1	Po 20	*	22		1	Po 3	*	9
	2	Po 21	*	27		1	Po 4	直 線	5
	2	Po 22	*	28		1	Po 5	*	6
	8	その他	I類B種 - ② - a	31		1	Po 6	*	8
	1	*	直 線	13		1	Po 7	*	12
	2	*	*	14		1	Po 8	*	10
	1	*	*	20		1	*	直 線 - Ⅲ	10
集石31	1	*	*	30	集石32	1	Po 1	直 線	3
	5	*	*	31		1	Po 2	*	1
	1	Po 1	直 線 - ④	11		1	その他	II類B種 - ②	2

表2 集石遺物出土石面、磨石、敲石、砥石、不明石器一覧表

(単位cm及びg () を付したものは保存値を示す)

分類	御用番号	図版番号	出土場所	出土遺物	個体番号	出年月日	材質	遺存状態	長さ	巾	厚さ	重さ
研 石 I	1-2-S1	30	6D	集石-01	51	84.9.06	無灰岩質安山岩 岩	完	16.9	17.6	4.0	1990
磨 石 I	1-S2		*	*	1	10.05	安山岩質凝灰岩	*	9.8	7.7	5.1	446
研 石 II	1-S3		*	*	2	*	無灰岩質安山岩	*	14.3	5.1	4.3	514
<hr/>												
石 盆	5-6-S1	30	6F	集石-05	7	84.10.15	角閃石安山岩 岩	短欠	(30.2)	(32.6)	(8.9)	(1396)
*	5-S2		*	*	8	*	無灰岩質角閃石安 山岩	短欠	(29.0)	(28.5)	(12.3)	(11712)
磨 石 I	5-7-S3	31	*	*	3	10.01	中矽化火成岩	完	11.9	9.4	3.8	545
*	5-S4		*	*	4	10.15	無灰岩質安山岩	*	11.8	11.5	7.0	1151
敲 石 IV	5-S5		*	*	5	*	角閃石岩質安山 岩	*	15.0	11.8	8.4	1624
<hr/>												
石 盆	8-S1		4G	集石-06	17	84.10.04	角閃石安山岩	完	26.0	30.7	9.3	10676
磨 石 II	8-S2		*	*	18	*	アブタイト	*	10.3	9.6	5.8	786
敲 石 II	8-S3		*	*	19	*	安山岩質凝灰岩	*	13.6	6.2	6.0	890
敲 石 IV	-		*	*	15	*	安山岩質角閃石凝 灰岩	短欠	(9.6)	(8.1)	5.3	(512)
<hr/>												
敲 石 IV	9-S1		4G	集石-07	1	84.10.04	角閃石安山岩	完	11.7	7.7	4.1	512
*	9-S2		*	*	7	*	*	*	10.9	7.5	5.1	560
*	9-S3		*	*	8	*	無灰岩質角閃石安 山岩	*	14.0	12.1	7.8	1245
<hr/>												
石 盆	11-S1		5E	集石-08	16	84.9.28	角閃石安山岩 岩	短欠	(19.7)	(20.3)	7.2	(4230)
*	11-S2		*	*	17	*	無灰岩質角閃石安 山岩	短欠	(24.0)	(14.9)	(11.8)	(3766)
磨 石 I	11-S3		*	*	15	10.04	閃綠石	完	9.2	3.8	3.3	190
*	11-S4		*	*	19	84.10.04	玄武岩	*	12.9	4.4	2.0	190
磨 石 II	11-S5		*	*	32	*	角閃石安山岩	*	12.0	10.1	7.0	952
*	11-S6		*	*	34	*	*	*	21.8	16.4	9.7	4055
*	11-S7		*	*	37	*	*	*	10.8	10.4	4.9	712
*	-		*	*	26	*	右安山岩	短欠	10.0	(8.9)	4.9	(506)

分類	採集番号	回収番号	出土土 クリップ	出土地名	標本 番号	出 土 年月日	材 質	遺存 状態	長 さ	巾	厚 さ	重 さ
鐵石Ⅰ	11-S 8		5 E	黒石-08	22	84.10.04	安山岩質凝灰岩	消失	(10.0)	(5.8)	5.7	(405)
鐵石Ⅱ	12-S 1		5 E	黒石-09	12	84.10.04	南安石安山岩	完	13.2	10.7	7.1	966
*	12-S 2		*	*	13	*	安山岩質凝灰岩	消失	(11.5)	(9.5)	(8.2)	(715)
鐵石Ⅲ	12-S 3		*	*	14	*	黒雲母角閃石安 山岩	完	10.7	8.9	6.6	710
鐵石Ⅳ	12-S 4		*	*	1	*	輝石安山岩	*	23.0	14.5	5.0	2034
石墨	14-S 1		6 E	黒石-10	1	84.9.28	角閃石安山岩	消失	(9.8)	(9.1)	6.1	(705)
*	13-14-S2	30	*	*	5	10.04	角閃石安山岩	消失	(43.4)	(29.2)	(14.0)	(26450)
*	14-S 3		*	*	7	*	角閃石英安山 岩質火鉆性	消失	(16.0)	(14.8)	(9.5)	(3855)
磁石	14-S 4		*	*	6	*	黒雲母角閃石安 山岩	完	20.2	10.9	10.8	2630
*	14-S 5		*	*	2	9.28	角閃石安山岩	*	22.0	14.5	9.0	3352
鐵石Ⅴ	15-S 1		6 E	黒石-11	6	84.10.09	角閃石英安山岩	完	10.9	9.3	5.1	545
麻石Ⅰ	17-S 1		6 F	黒石-12	2	84.9.22	輝石安山岩	完	11.8	9.3	4.3	557
*	17-S 2		*	*	5	*	角閃石安山岩	*	12.9	11.6	8.7	1512
麻石Ⅱ	17-S 3		*	*	11	9.25	*	消失	(7.3)	(9.8)	(6.0)	(520)
*	17-S 4		*	*	12	*	*	完	12.8	9.8	5.8	1034
鐵石Ⅴ	17-S 5		*	*	6	9.22	*	*	10.5	8.5	5.4	540
*	16-17-S6	31	*	*	3	*	*	*	14.6	11.6	7.6	1489
*	17-S 7		*	*	13	9.25	安山岩質凝灰岩	*	14.0	8.5	6.1	750
石墨	18-19-S1	30	6 F	黒石-13	11	84.9.27	角閃石安山岩	消失	(28.8)	(27.5)	(9.8)	(10673)
*	18-S 2		*	*	8	*	角閃石安山岩	完	30.5	27.2	9.8	10451
麻石Ⅲ	18-S 3		*	*	5	9.28	輝石安山岩	*	18.3	13.5	7.6	2740
*	18-S 4		*	*	6	*	角閃石安山岩	*	9.9	6.6	3.9	365
鐵石Ⅵ	18-20-S5	31	*	*	4	9.27	*	*	12.1	6.8	4.5	536
鐵石Ⅶ	18-S 6		*	*	3	*	*	*	9.4	8.7	5.0	475
石墨	24-S 1		6F・7F	黒石-14	1	84.9.27	輝石安山岩	消失	(20.4)	(17.7)	(9.0)	(3380)
麻石Ⅳ	24-S 2		*	*	3	*	石英安山岩	完	14.3	11.9	7.2	1294
*	21-24-S3	31	*	*	21	10.05	黒雲母角閃石安 山岩	*	11.8	9.6	6.1	1060
*	—		*	*	26	10.13	角閃石安山岩	*	16.3	10.8	8.3	1839
鐵石Ⅷ	21-24-S4	31	*	*	2	9.27	*	*	13.2	8.6	3.4	658
*	24-S 5		*	*	4	*	*	*	12.1	7.2	5.3	510
鐵石Ⅸ	22-S 1		7 F	黒石-15	3	84.9.27	角閃石安山岩	完	14.2	8.1	6.7	931
麻石Ⅴ	23-25-S1	31	7 F	黒石-16	4	84.9.26	角閃石安山岩	完	14.3	8.9	5.6	940
*	25-26-S2	31	*	*	8	10.05	*	*	14.4	10.7	5.3	990
鐵石Ⅹ	23-25-S3	31	*	*	7	*	安山岩質凝灰岩	消失	(15.3)	(10.3)	5.9	(859)
鐵石Ⅺ	27-28-S1	31	7 F	黒石-17	2	84.9.26	角閃石安山岩	完	19.8	8.0	9.0	2060
*	27-28-S2	31	*	*	3	*	黒雲母角閃石安 山岩	消失	(12.7)	6.4	6.0	(675)
鐵石Ⅻ	27-S 3		*	*	1	*	角閃石安山岩	完	14.6	12.8	7.6	1575
麻石Ⅵ	29-S 1		7 F	黒石-18	6	84.9.26	安山岩質凝灰岩	完	15.0	9.3	4.9	1058
麻石Ⅶ	29-S 4		*	*	4	*	*	消失	(14.0)	(12.2)	6.3	(1290)

分類	標因番号	回収番号	出土地 グリッド	出土遺物	個体 番号	出土 年月日	材質	造形 状態	長さ	巾	厚さ	重さ
敲石 IV	29-30-S3	31	7 F	集石-18	5	84. 9.26	角閃石安山岩	完	11.7	8.0	3.9	475
*	29-30-S2	31	*	*	7	*	*	*	11.1	11.0	5.9	940

石皿	31-S 1		8 F	集石-19	77	84. 9.25	角閃石安山岩	完	26.7	22.3	11.7	8377
*	31-S 2		*	*	75	*	*	*	26.0	28.0	10.0	8434
敲石 IV	31-S 3		*	*	76	*	*	*	13.3	9.8	7.0	1164

石皿	-		8 F	集石-20	65	84.10.04	黒雲母角閃石安山岩	完	31.2	26.6	15.0	18200
*	34-S 1		*	*	66	*	角閃石安山岩	*	40.3	29.9	11.0	17330
磨石 II	32-34-S2	31	8 F	*	2	10.01	安山岩質凝灰岩	*	14.3	9.0	6.0	360
敲石 IV	34-S 3		*	*	1	*	角閃石安山岩	欠欠	(10.1)	(10.0)	6.5	(829)

磨石 II	35-S 1		8E-8F	集石-21	28	84.10.04	角閃石安山岩	少少	(6.7)	(9.3)	(5.1)	(288)
敲石 II	-		*	*	不明	不明	*	完	14.9	10.9	8.4	1980
敲石 IV	35-35-S2	31	*	*	1	9.28	*	*	12.0	7.6	5.0	615

石皿	36-S 1		8 F	集石-22	5	84. 9.28	黒雲母角閃石安山岩	完	29.9	26.9	11.7	10716
敲石 IV	-		*	*	7	*	角閃石安山岩	*	13.4	10.2	8.7	1324

鰐石	38-S 1		9 E	集石-24	1	84.10.13	黒雲母角閃石安山岩	完	15.4	6.5	8.0	910
----	--------	--	-----	-------	---	----------	-----------	---	------	-----	-----	-----

磨石 I	40-S 1		8 F	集石-25	4	84.10.02	輝石安山岩	少少	(6.9)	(7.5)	(4.2)	323
*	40-S 2		*	*	7	*	閃綠岩	完	13.6	5.4	5.0	655
*	40-41-S3	32	*	*	8	*	角閃石	*	8.5	7.8	6.6	521
*	40-S 4		*	*	10	*	角閃石安山岩	*	7.5	7.0	6.3	389
*	40-S 5		*	*	13	*	輝石	*	8.2	5.1	3.8	137
*	40-S 6		*	*	19	*	安山岩質凝灰岩	*	12.8	4.2	4.2	255
*	40-41-S7	32	*	*	14	*	中世帶火山岩	*	11.9	5.6	4.3	425
磨石 II	40-S 8		*	*	27	*	角閃石安山岩	*	10.8	8.3	7.2	705
敲石 I	40-41-S9	32	*	*	6	*	閃綠岩	*	17.4	6.3	5.5	855
敲石 II	40-S 10		*	*	17	*	角閃石安山岩	*	16.2	9.5	7.4	1274
敲石 IV	40-S 11		*	*	21	*	安山岩質凝灰岩	少少	(6.9)	(5.9)	2.5	(105)
*	40-S 12		*	*	22	*	矽白花崗岩	完	11.5	9.3	5.2	840
*	40-41-S13	32	*	*	9	*	角閃石安山岩	少少	(9.9)	(9.3)	(3.5)	(371)
*	40-41-S14	32	*	*	20	*	*	少少	(8.4)	(9.6)	(6.3)	(765)
敲石 V	40-41-S15	32	*	*	15	*	閃綠岩	完	17.3	6.2	3.4	659
敲石	40-S 16		*	*	1	*	安山岩質凝灰岩	少少	(19.3)	(16.7)	(6.5)	(1724)
*	40-S 17		*	*	5	*	輝石安山岩	完	21.3	7.3	3.5	657
*	40-S 18		*	*	11	*	*	*	15.9	5.3	3.1	452
*	40-S 19		*	*	18	*	*	*	11.3	5.7	6.2	1249
40-41-S20	32	*	*	*	12	*	粘板岩	*	15.0	4.8	3.0	325
39-40-S21	32	*	*	*	16	*	安山岩質凝灰岩	*	16.0	9.1	7.4	842

石皿	43-S 1		8 G	集石-26	8	84.10.01	輝石安山岩	少少	(9.3)	(16.8)	6.8	(1976)
*	43-S 2		*	*	12	*	角閃石安山岩	完	21.9	20.2	10.0	6635
*	43-S 3		*	*	21	10.06	*	少少	(19.0)	(24.4)	(11.5)	(5900)
敲石 IV	43-S 4		*	*	22	*	角閃石安山岩	完	18.0	12.0	8.2	2056

石皿	44-S 1		8 F	集石-27	21	84.10.26	角閃石安山岩	少少	(25.8)	(31.7)	(7.1)	(6281)
----	--------	--	-----	-------	----	----------	--------	----	--------	--------	-------	--------

分類	押田番号	國版番号	出土土 グリッド	出土遺構	個体 番号	出土 年月日	材 質	遺存状態	長さ	巾	厚さ	重さ
石 鋸	48-S 1		8 E	基石-29	16	84. 9.30	無垢品安山岩	完	27.3	24.1	7.5	7600
*	48-S 2		*	*	25	10.04	*	*	25.9	18.4	9.2	7555
*	48-S 3		*	*	131	10.12	角閃石安山岩	*	25.9	29.0	12.0	951
麻 石 I	46-S 4		7 E	*	149	10.16	安山岩質麻石岩	劣欠	8.9	(6.0)	(2.7)	(137)
*	46-S 5		*	*	150	*	角閃石安山岩	*	(10.6)	(8.7)	(4.6)	(500)
*	48-S 6		8 E	*	3	9.29	無隙角閃石安山岩	完	9.3	8.1	4.0	375
*	-		7 E	*	98	10.11	無石安山岩	*	16.2	5.7	3.5	450
*	-		*	*	151	10.16	角閃石英安山岩	*	15.4	8.6	6.5	1096
麻 石 II	48-S 7		*	*	43	10.04	無石質角閃石安山岩	*	11.9	10.6	6.9	958
*	48-S 8		*	*	36	*	角閃石安山岩	*	10.0	9.5	4.7	480
*	48-S 9		8 E	*	51	10.05	*	*	10.2	9.4	4.0	505
麻 石 III	48-S 10		*	*	54	*	*	*	16.3	13.5	8.1	2187
*	-		*	*	52	*	*	*	17.0	10.7	10.0	1997
麻 石 IV	48-S 11		7 E	*	42	10.04	黑雲母角閃石安山岩	*	10.4	7.5	4.4	424
*	47-48-S12	31	*	*	29	*	角閃石安山岩	*	10.8	9.5	4.6	595
*	48-S 13		8 E	*	53	10.05	*	劣欠	(8.7)	(11.2)	(5.8)	(696)
*	48-S 14		*	*	55	*	*	完	17.8	13.1	6.6	1838
*	48-S 15		*	*	56	*	*	*	15.2	11.7	7.0	1604
*	48-S 16		*	*	133	10.13	*	劣欠	12.4	7.3	5.1	(570)
*	47-48-S17	31	*	*	17	9.30	安山岩質麻石岩	完	12.8	8.1	5.0	655
*	46-S 18		*	*	145	10.15	角閃石安山岩	*	12.7	7.0	4.6	490
*	-		*	*	19①	*	*	*	10.8	7.8	3.6	313
*	-		*	*	19②	*	黑雲母角閃石安山岩	*	13.8	10.0	5.6	937
*	-		*	*	58	*	鈣石	劣欠	(8.5)	(9.3)	6.1	(335)
*	48-S 19		*	*	59	10.05	角閃石安山岩	完	11.4	10.2	5.0	600

石 鋸	49-S 1		8 E	66-30	8	84. 9.27	角閃石安山岩	完	23.5	19.4	9.8	6224
麻 石 II	49-50-S2	31	*	*	7	*	*	*	14.8	7.7	4.2	656
麻 石 IV	49-50-S3	31	*	*	6	*	黑雲母角閃石安山岩	*	12.2	8.7	4.2	540
不 明	49-50-S4	31	*	*	9	*	安山岩質麻石岩	*	15.0	15.7	7.9	1900

石 鋸	51-S 1		6E・6F	基石-31	4	84. 9.28	角閃石安山岩	劣欠	(16.6)	(14.9)	(8.7)	(1970)
麻 石 II	51-S 2		*	*	3	*	中生代火成岩	完	19.5	6.8	4.3	934
*	51-52-S3	31	*	*	2	*	角閃石安山岩	劣欠	(7.1)	(15.0)	(5.5)	(800)
麻 石 IV	51-S 4		*	*	1	*	角閃石石英安山岩	*	12.0	8.6	6.0	726

2 繩文土坑 (JSK)

縄文時代の土坑は、A区で計58基検出した。内1基 (JSK56) は縄文時代後～晩期のものと考えられるが、他は縄文時代早期のものである。B区では縄文時代の土坑は検出していない。

JSK-01 (挿図54、図版15)

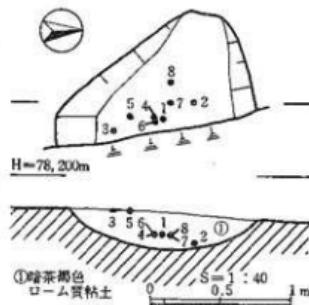
- 位 置** 11 I グリッドの南西隅に位置する。
- 形 態** 短径1.36m、深さ0.26mを測る。調査区域外にかかるため形態不明。
- 遺 物** 燃糸文土器〔縦位〕Po 1、沈線文土器Po 2、無文土器Po 3～8の他、燃糸文土器〔異方向〕1片、沈線文土器1片、刺突文土器1片、無文土器1片を検出した。

JSK-02 (挿図55、図版15)

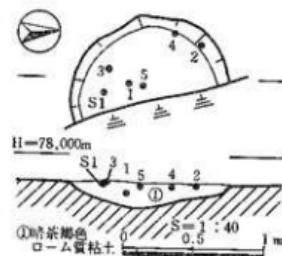
- 位 置** 11 I グリッドの中央付近に位置する。
- 形 態** 短径1.14m、深さ0.2mを測る。調査区域外にかかるが、円形と推定される。
- 遺 物** 押型文土器〔なで消し楕円〕Po 1・2、刺突文土器Po 3・4、無文土器Po 5の他、押型文土器〔楕円〕2片、燃糸文土器〔異方向〕1片、磨石S 1を検出した。

JSK-03 (挿図56、図版15)

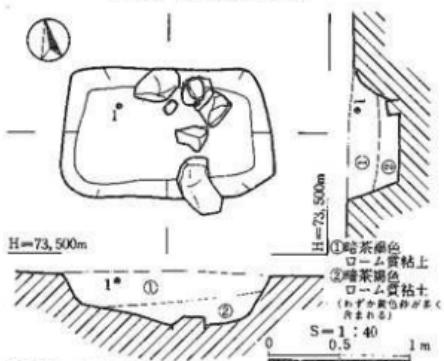
- 位 置** 4 A グリッドの北西に位置する。
- 形 態** 平面形は隅丸方形 ($1.46m \times 0.94m - 0.36m$) である。
- 遺 物** 押型文土器〔楕円〕Po 1の他、押型文土器〔菱形〕1片を検出した。



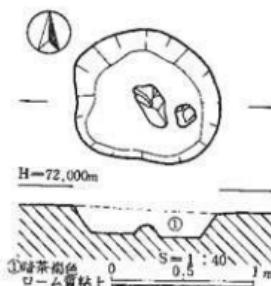
挿図54 JSK01遺構図



挿図55 JSK02遺構図



挿図56 JSK03遺構図



挿図57 JSK04遺構図

JSK-04 (挿図57)

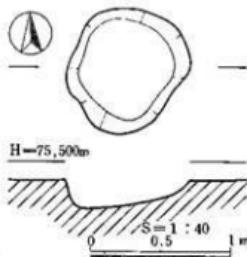
位置 5Bグリッドのほぼ中央に位置する。
形態 平面形はほぼ円形 ($1.0m \times 0.32m - 0.2m$) である。
遺物 押型文土器〔楕円〕4片を検出した。

JSK-05 (挿図58)

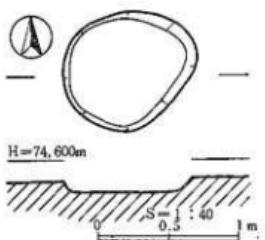
位置 7Eグリッドの中央に位置する。
形態 平面形 ($0.89m \times 0.88m - 0.22m$) である。
遺物 押型文土器〔楕円〕1片、撚糸文土器〔縦巻〕1片、無文土器2片を検出した。

JSK-06 (挿図59、図版15)

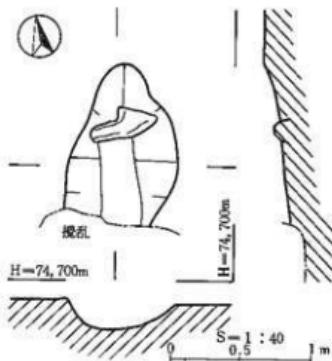
位置 5Dグリッドの中央付近に位置する。
形態 平面形は楕円形 ($1.14m \times 0.78m - 0.12m$) である。
遺物 検出しなかった。



挿図58 JSK-05遺構図



挿図60 JSK-07遺構図



挿図59 JSK-06遺構図

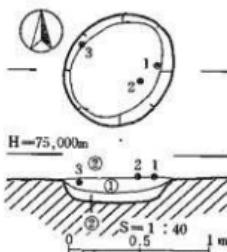
位置 5Dグリッドの南西に位置する。
形態 平面形は楕円形 ($0.98m \times 0.80m - 0.10m$) である。
遺物 検出しなかった。

JSK-08 (挿図61、図版16)

位置 5Dグリッドの中央西寄りに位置する。
形態 平面形は楕円形 ($0.82m \times 0.72m - 0.17m$) である。
遺物 無文土器Po 1~3を検出した。

JSK-09 (挿図62・63)

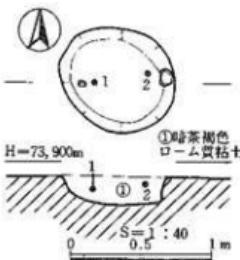
位置 6Cグリッドの北東に位置する。
形態 平面形は円形 ($0.65m \times 0.70m - 0.14m$) である。
遺物 押型文土器〔楕円〕Po 1を検出した。



①暗茶褐色
②③よりわずか
ローム質粘土上
黄色砂を多く含む
挿図61 JSK-08遺構図



挿図62 JSK 09遺構図



挿図63 JSK 10遺構図

JSK-10 (挿図63、図版16)

位 置 5 B グリッドの北東に位置する。

形 態 平面形は橢円形 ($0.84m \times 0.71m - 0.2m$) である。

遺 物 押型文土器〔楕円〕Po 1、無文土器Po 2 の他、押型文土器〔楕円〕4片、無文土器6片を検出した。

JSK-11 (挿図64、図版16・17)

位 置 8 C グリッドの南東側に位置する。

形 態 西側の一部をSI-11によって切られているが、平面形はほぼ円形を呈する2段掘りで ($1.72m \times 1.50m$ 、 $0.56m \times 0.48m - 0.30m$) である。2段目掘り方の中央で、ほぼ垂直に立った形で石皿S 1が検出された。何らかの目的で埋められたものと考えられる。

遺 物 無文土器Po 1、石皿S 1を検出した。

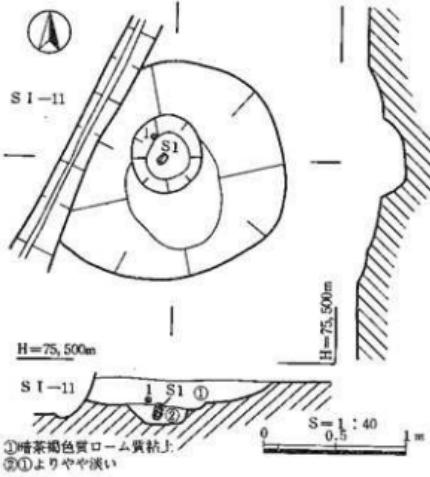
JSK-12 (挿図65、図版17)

位 置 4 D グリッドの南西隅に位置する。

形 態 楕円形 ($2.26m \times 1.42m - 0.14m$) を呈する。

特筆事項 南側は、ピット状 ($0.80m \times 0.90m - 0.20m$) を呈するが、切り合は確認できなかつた。

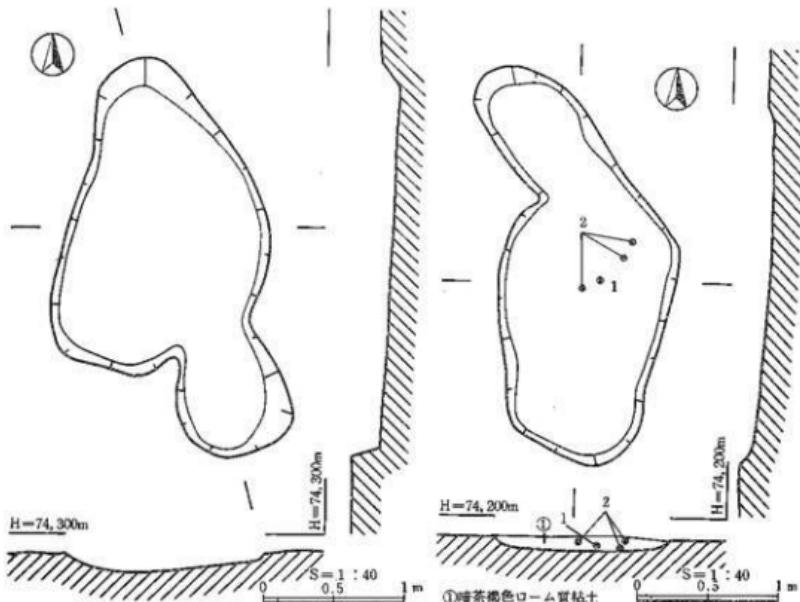
遺 物 撻糸文土器〔縦位〕1片、無文土器2片を検出した。



挿図64 JSK 11遺構図

JSK-13 (挿図66、図版17)

- 位 置** 4 D グリッドの南西隅に位置する。
- 形 態** 楕円形 ($2.10m \times 1.25m - 0.08m$) を呈する。
- 特筆事項** 北側は、土坑状で ($1.10m \times 0.64m - 0.04m$) を呈するが、切り合いは確認できなかった。
- 遺 物** 押型文土器〔楕円〕 Po 1 の他、Po 2 で押型文土器〔楕円〕、〔菱形〕、無文土器各 1 片を検出した。



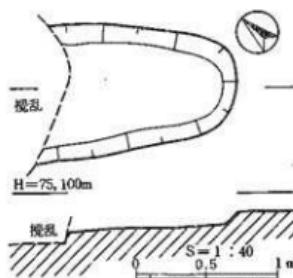
挿図65 JSK 12遺構図

挿図66 JSK 13遺構図

JSK-14 (挿図67、図版18)

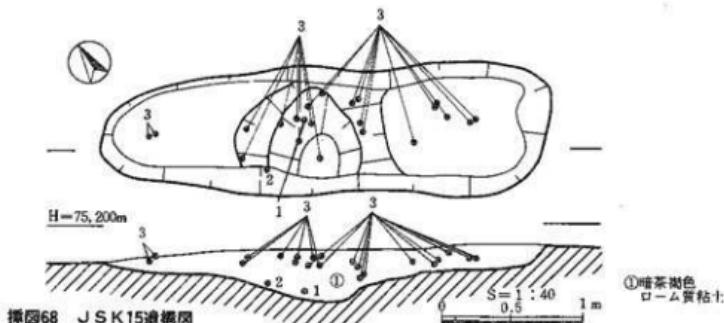
- 位 置** 6 D グリッドの南隅に位置する。
- 形 態** 平面形は楕円形 (短径 $0.96m$ 、深さ $0.1m$) を呈すると推定するが、後世の擾乱によって北西側が壊されている。
- 特筆事項** 西側で集石一〇二に切られている。
- 遺 物** 捻糸文上器〔網目状〕 1 片を検出した。

挿図67 JSK 14遺構図



JSK-15 (挿図68)

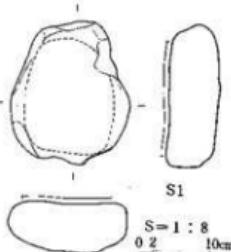
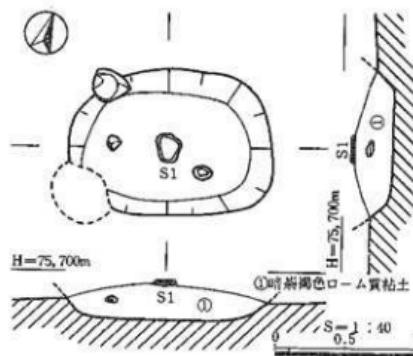
位 置 7 D グリッドの北隅に位置する。
 形 態 平面形は長楕円形 ($3.08m \times 0.94m - 0.38m$) である。
 遺 物 無文土器 Po 1・2・3 の他、押型文土器〔なで消し椭円〕10片、無文土器17片、石
 錐1片、サスカイト横形剝片3片、黒曜石剝片1片を検出した。



挿図68 JSK15遺構図

JSK-16 (挿図69・70、図版18・33)

位 置 8 D グリッドの東隅に位置する。
 形 態 平面形は楕円形 ($1.03m \times 1.4m - 0.15m$) である。
 特筆事項 南西隅をピットによって切られている。
 遺 物 沈線文土器1片、石皿S1、敲石1個を検出した。



挿図69 JSK16遺物図

挿図70 JSK16遺構図

JSK-17 (挿図71、図版18)

位 置 7 C グリッドの南東に位置する。
 形 態 平面形は隅九方形 ($1.15m \times 1.10m - 0.50m$) である。
 遺 物 無文土器 Po 1 (4片) の他、押型文土器〔楕円〕3片、無文土器10片、石錐1点、
 鉄石英横形剝片1片を検出した。

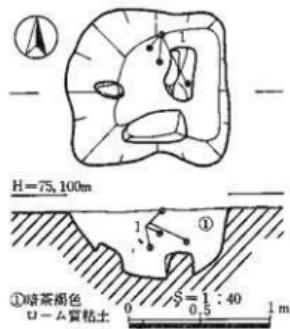


図71 JSK-17遺構図

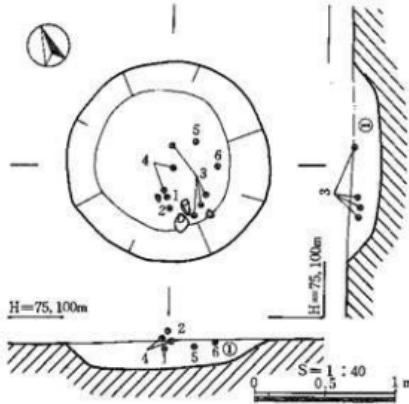


図72 JSK-18遺構図 ① 暗茶褐色ローム質粘土

JSK-18 (図72、図版19)

- 位置** 8Bグリッドの中央東寄りに位置する。
- 形態** 平面形は円形（径1.44m、深さ0.22m）である。
- 遺物** 押型文土器〔楕円〕Po 1、無文土器Po 2の他、Po 3～6で押型文土器〔楕円〕1片、〔菱形〕1片、撚糸文土器〔綾紋〕4片、沈線文土器1片、無文土器3片を検出した。

JSK-19

(図73、図版19)

- 位置** 7Cグリッドの南東隅に位置する。
- 形態** 平面形は楕円形(2.62m×1.02m)を呈し、床面に掘り込みによる段が見られる。

- 特筆事項** 上層断面では確認できなかったが、床面に見られる段や土坑の平面形態

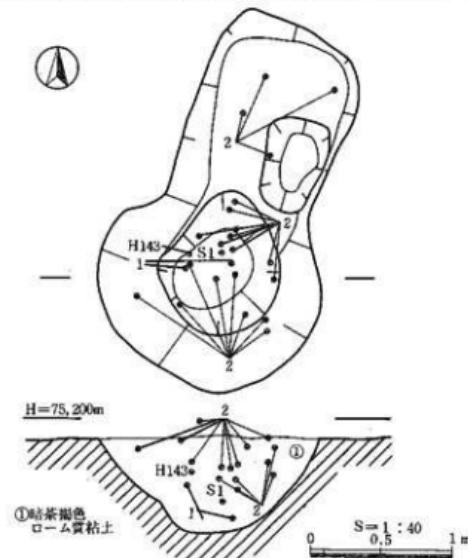


図73 JSK-19遺構図

から、2基の土坑が切り合っている可能性も考えられる。

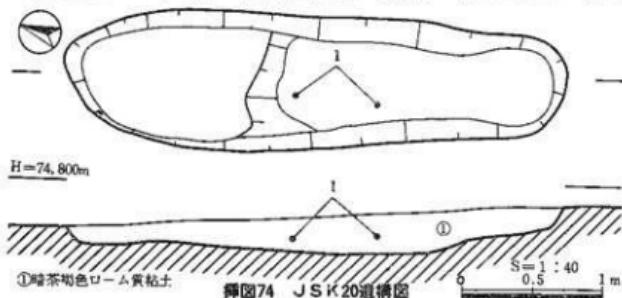
遺物 無文土器Po 1(2片)、敲石S 1、石英剥片H143の他、Po 2及びその他で、押型文土器〔楕円〕8片、撚糸文土器〔網目状〕1片、無文土器18片、サヌカイト剥片1片を検出した。

JSK-20(擲図74、図版19)

位置 7Bグリッドの中央に位置する。

形態 平面形は長楕円形($3.52m \times 1.0m - 0.28m$)である。

遺物 無文土器Po 1(2片)の他、押型文土器〔楕円〕3片、無文土器4片を検出した。



JSK-21(擲図75、図版19)

位置 7Bグリッドの中央西側に位置する。

形態 平面形は楕円形($2.66m \times 1.68m - 0.1m$)である。

特筆事項 西側をピットによって切られている。

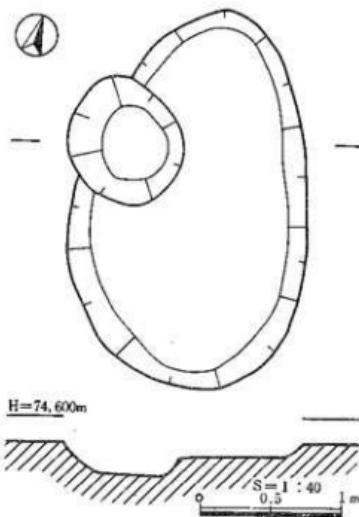
遺物 検出しなかった。

JSK-22(擲図76、図版20)

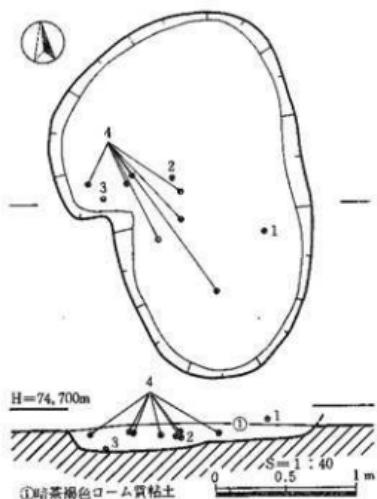
位置 7Bグリッドの中央東側に位置する。

形態 平面形はほぼ楕円形($2.58m \times 1.42m - 0.2m$)である。

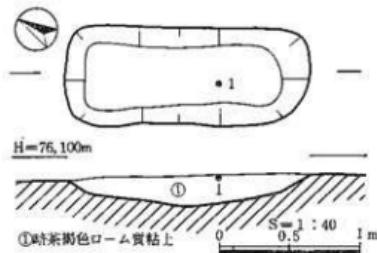
遺物 無文土器Po 1~4の他、押型文土器〔楕円〕5片、〔菱形〕1片、撚糸文土器〔網目状〕2片、無文土器7片を検出した。



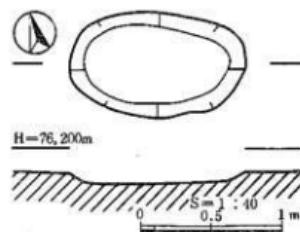
擲図75 JSK21遺構図



挿図76 JSK 22遺構図



挿図77 JSK 24遺構図



挿図78 JSK 25遺構図

位 置 9 E グリッドのほぼ中央に位置する。

形 態 平面形は隅丸長方形 ($1.72\text{m} \times 0.70\text{m} - 0.20\text{m}$) を呈する。

遺 物 Po 1 で、押型文土器〔楕円〕 1片、撚糸文土器〔縦位〕 1片を検出した。

JSK-25 (挿図78、図版20)

位 置 9 E グリッドの南東に位置する。

形 態 平面形は楕円形 ($1.24\text{m} \times 0.74\text{m} - 0.08\text{m}$) を呈する。

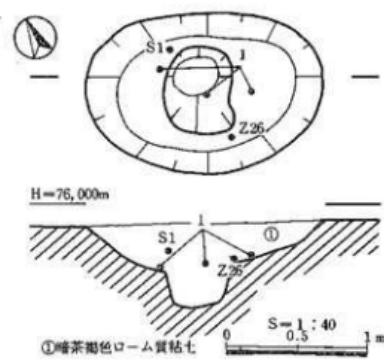
遺 物 検出しなかった。

JSK-26 (挿図79、図版21)

位 置 9 E グリッドの中央東寄りに位置する。

形 態 平面形は楕円形を呈する二段掘りで ($1.68\text{m} \times 1.15\text{m} , 0.62\text{m} \times 0.50\text{m} - 0.6\text{m}$) である。

遺 物 無文土器Po 1 (3片)、磨石S 1、石鏃Z 26の他、押型文土器〔楕円〕 6片、撚糸文土器〔縦位〕 1片、沈



挿図79 JSK 26遺構図

線文土器 1 片、無文土器 9 片、鉄石英
横形剝片、サスカイト横形剝片各 1 片
を検出した。

JSK-27 (挿図 80、図版 21)

位 置 9 E グリッドの中央やや西寄りに位
置する。

形 態 平面形は橢円形 ($1.10m \times 0.60m -$
 $0.22m$) である。

特筆事項 JPit 3 ($0.70m \times 0.80m - 0.17m$)
の掘り方を切っている。

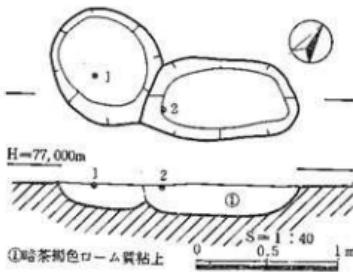
遺 物 無文土器 Po 1・2、押型土器 (精P) 1 片を検出した。

JSK-28 (挿図 81、図版 21)

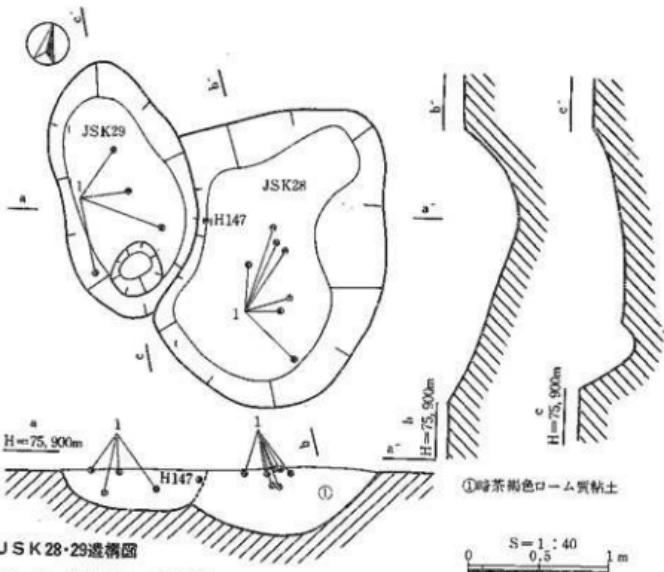
位 置 9 E グリッドの中央やや西寄りに位置し、JSK-29 の掘り方によって西側を切られ
ている。

形 態 平面形は隅九三角形 ($2.10m \times 1.60m - 0.40m$) である。

遺 物 Po 1 及びその他で、押型土器 [特殊菱形] 1 片、撫糸文土器 [縦位] 4 片、無文
土器 12 片、サスカイト横形剝片 H147 を検出した。



挿図 80 JSK-27 透構図

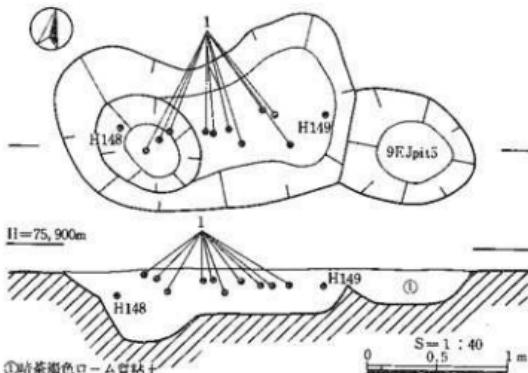


挿図 81 JSK-28-29 透構図

JSK-29 (挿図 81、図版 21)

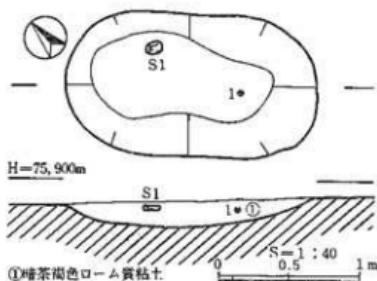
位 置 9 E グリッドの中央やや西寄りに位置し、JSK-28 の掘り方を西側で切っている。

- 形 態** 平面形は楕円形 ($1.84m \times 0.94m - 0.30m$) である。
- 特筆事項** 底面南端において、ピット状落ち込み（径 $0.34m$ 、深さ $0.20m$ ）を確認した。
- 遺 物** Po 1 及びその他で、押型文土器〔楕円〕 7片、無文土器 1片を検出した。
- JSK-30 (挿図82、図版22)**
- 位 置** 9 E グリッドの北西に位置し、9 EJPit5と東側で切り合う。
- 形 態** 平面形は楕円形 ($2.10m \times 1.00 \sim 1.30m - 0.32m$) である。
- 特筆事項** 東側において、9 EJPit5と切り合うが、新旧関係は確認できなかった。
- また、底面西側において、ピット状落ち込み（径 $0.60 \sim 0.80m$ 、深さ $0.34m$ ）を確認した。
- 遺 物** Po 1 で、押型文土器〔楕円〕 5片、〔菱形〕 2片、撫糸文土器〔縦目〕 2片、無文土器 12片、ジャスパー細石刃 H148、石英剝片 H149を検出した。

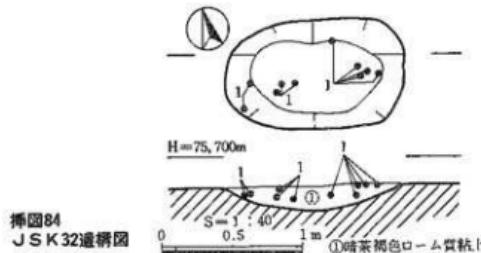


挿図82 JSK30・JPit5遺構図

- JSK-31 (挿図83、図版22)**
- 位 置** 9 D グリッドの南東に位置する。
- 形 態** 平面形は楕円形 ($1.79m \times 1.00m - 0.19m$) である。
- 遺 物** 押型文土器〔楕円〕 Po 1、敲石 S 1 の他、敲石 1 点を検出した。
- JSK-32 (挿図84、図版22)**
- 位 置** 9 D グリッドの北西に位置する。
- 形 態** 平面形は楕円形 ($1.26m \times 0.77m - 0.18m$) である。
- 遺 物** 押型文土器〔楕円〕 3片〔菱形〕 1 片、無文土器 6片を検出した。

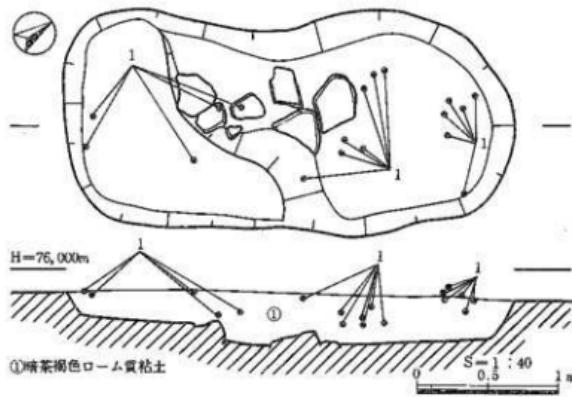


挿図83 JSK31遺構図



JSK-33 (挿図85、図版22)

- 位 置** 8 F グリッドの南隅に位置する。
- 形 態** 平面形は楕円形 ($2.9m \times 1.4m - 0.46m$) である。
- 遺 物** Po 1、及びその他で、押型文土器〔楕円〕24片、〔菱形〕2片、沈線文土器1片、刺突文土器2片、無文土器20片（うち1片は尖底部）、黒曜石、サスカイト横形剝片各1片を検出した。



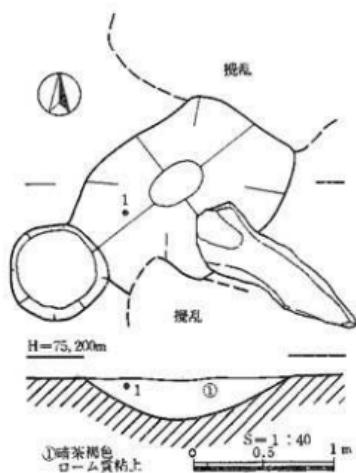
挿図85 JSK 33遺構図

JSK-34 (挿図86、図版23)

- 位 置** 6 E グリッドの南に位置する。
- 形 態** 平面形は楕円形 ($1.52m \times 1.1m - 0.3m$) である。なお、北東側、南側の一部は後世の耕作によって破壊されている。
- 遺 物** 無文土器Po 1を検出した。

JSK-35 (挿図87、図版23)

- 位 置** 6 E グリッドの南隅に位置する。
- 形 態** 平面形は楕円形 ($1.3m \times 0.76m - 0.14m$) である。
- 遺 物** 押型文土器〔楕円〕Po 1、無文土器Po 2・3を検出した。



挿図86 JSK34遺構図

JSK-36 (挿図88、図版23)

位 置 6 E グリッドの中央に位置し、集石11の掘り方によって西側を切られている。

形 態 平面形は楕円形 ($1.50m \times 1.00m - 0.15m$) である。

特筆事項 底面南端において、ピット状落ち込み（径 $0.20m$ 、深さ $0.17m$ ）を確認した。

遺 物 押型文土器〔楕円〕Po 1を検出した。

JSK-38 (挿図89、図版23)

位 置 6 G グリッドのほぼ中央に位置する。

形 態 平面形は楕円形 ($1.2m \times 1.0m - 0.1m$) である。

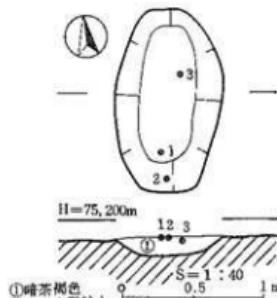
遺 物 Po 1で、押型文土器〔楕円〕2片、無文土器1片を検出した。

JSK-39 (挿図90)

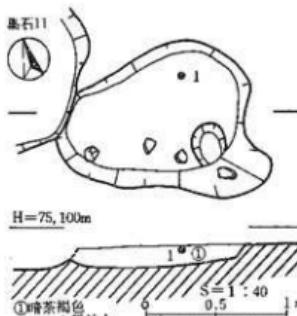
位 置 5 G グリッドの南西に位置する。

形 態 平面形は楕円形 ($0.91m \times 0.76m - 0.12m$) である。

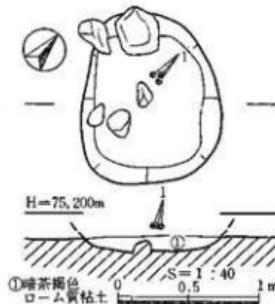
遺 物 検出しなかった。



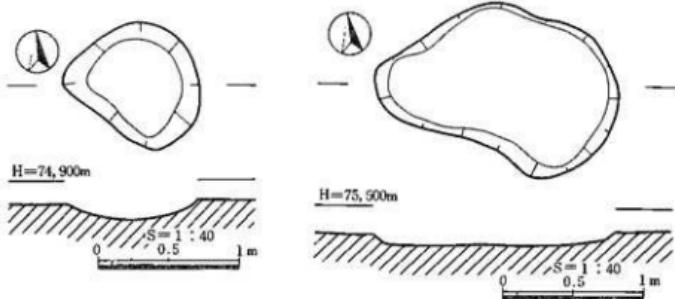
挿図87 JSK35遺構図



挿図88 JSK36遺構図



挿図89 JSK38遺構図



挿図90 JSK 39遺構図

挿図91 JSK 40遺構図

JSK-40 (挿図91・92、図版24・33)

位 置 9 C グリッドの西側に位置する。

形 態 平面形は楕円形 ($1.72\text{m} \times 0.10\text{m} - 0.08\text{m}$) である。

遺 物 押型文土器 [楕円] 5片
[菱形] 1片、撚糸文土器 [縦位] 4片、無文土器 8片、石皿 S 1、磨石 2点、ジャスパーー横形剝片 1片を検出した。
JSK-42 (挿図93、図版24)

位 置 7 F グリッドの西側に位置する。

形 態 平面形は隅丸方形 ($0.9\text{m} \times 0.7\text{m} - 0.12\text{m}$) である。

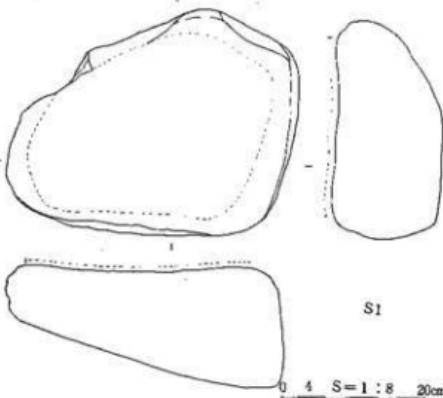
遺 物 無文土器 3片を検出した。

JSK-43 (挿図94、図版24)

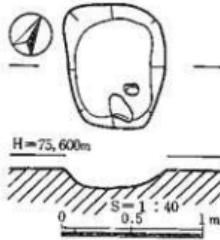
位 置 10 D グリッド中央西に位置する。

形 態 平面形はほぼ楕円形 ($2.58\text{m} \times 1.52\text{m} - 0.4\text{m}$) である。

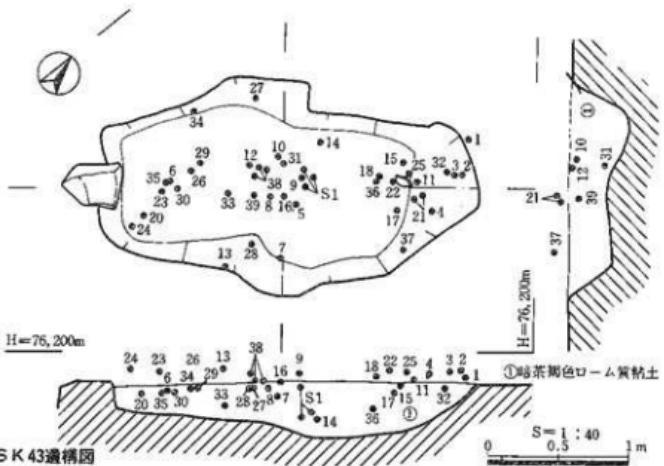
遺 物 押型文土器 [楕円] Po 1~19、[菱形] Po 20~21、撚糸文土器 [縦位] Po 22~25、[網目状] Po 26、無文土器 Po 27~39、磨石 S 1 の他、押型文土器 [楕円] 1片、撚糸文土器 [縦位] 1片を検出した。



挿図92 JSK 40遺物図



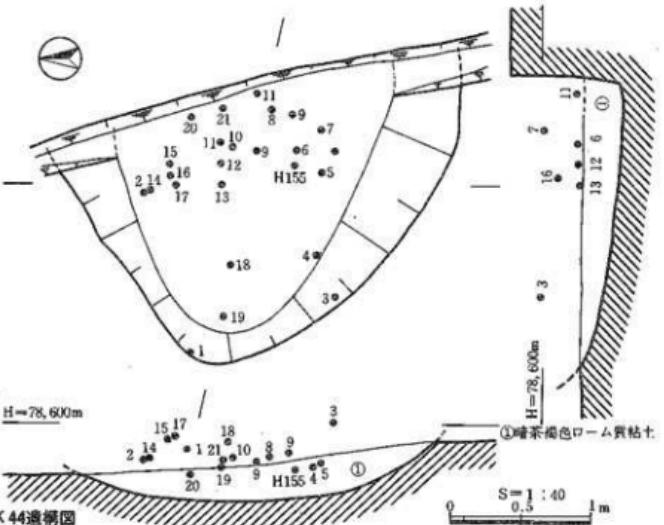
挿図93 JSK 42遺構図



挿図94 JSK-43遺構図

JSK-44 (挿図95・96、図版25)

- 位置** 13 I グリッドの西に位置する。
- 形態** 東側半分は調査区域外に伸びており、全体の形はつかめなかつたが、東西に長い橢円形を呈するものと考えられる。調査規模は (2.6m × 2.0m - 0.28m) であった。
- 遺物** 押型文土器〔橢円〕Po 1、撚糸文土器〔網目状〕Po 2、無文土器Po 3~21、木炭、サスカイト横形剝片H155、粘板岩横形剝片1片、黒曜石横形剝片1片の他、押型文土器〔橢円〕1片、無文土器1片、石皿1個を検出した。



挿図95 JSK-44遺構図

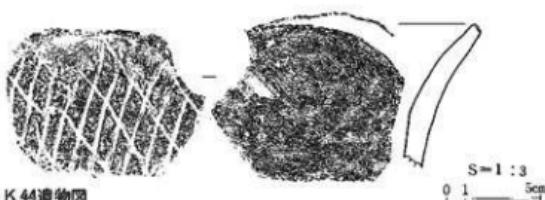


図96 JSK 44遺物図

JSK-45 (図97、図版25)

位置 11Fグリッドの南東に位置する。
形態 平面形は梢円形 ($1.6m \times 1.12m - 0.18m$)
である。

遺物 押型文土器〔菱形〕Po 1を検出した。
JSK-46 (図98、図版25)

位置 6Fグリッドの南東に位置する。
形態 平面形は梢円形 ($1.38m \times 0.8m - 0.18m$)
である。

遺物 Po 1及びその他で、押型文土器〔梢円〕3
片、撚糸文土器〔縦位〕1片、沈線文土器2片、
 $H=77.300m$
無文土器2片、サヌカイト剝片1片を検出した。

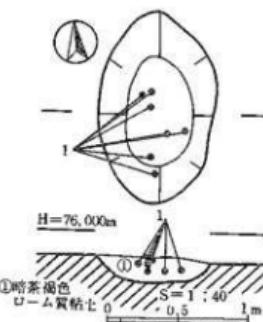


図98 JSK 46遺物図

JSK-47 (図99、図版25)

位置 6Eグリッドの南西隅に位置する。
形態 平面形はほぼ円形 ($1.44m \times 1.24m - 0.32m$)
である。
遺物 Po 1の中に押型文土器〔梢円〕2片、沈線文土器1片、無文土器5片、石皿S1を検
出した。

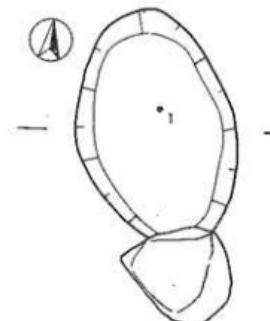


図97 JSK 45遺物図

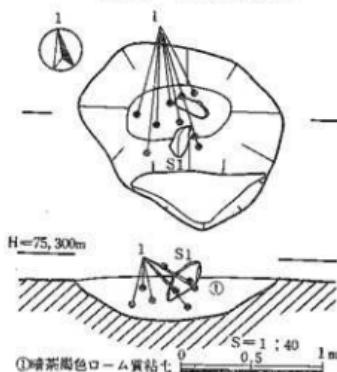
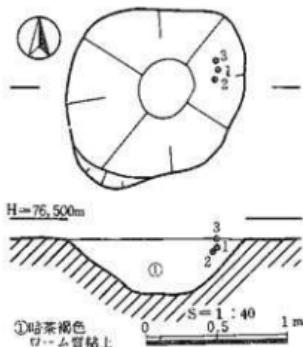


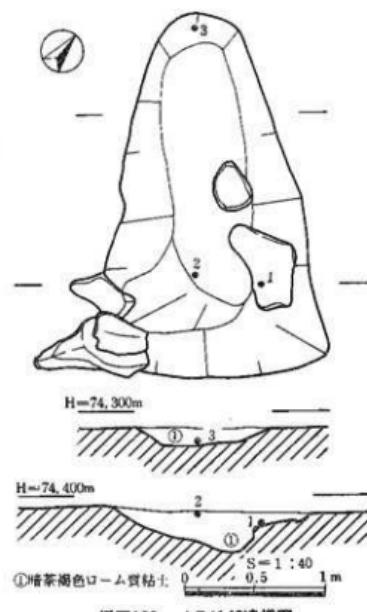
図99 JSK 47遺物図

JSK-48 (挿図100、図版26)

位置 4 E グリッドの中央南に位置する。
 形態 平面形は隅丸台形 ($2.60m \times 1.00m - 1.50m - 0.13m - 0.30m$) である。
 遺物 無文土器 Po 1 ~ 3、石鎌 2 点、ジャスパー横形剥片 1 片、鐵石英原石 2 個を検出した。



挿図101 JSK-48遺構図



挿図100 JSK-48遺構図

JSK-49 (挿図101、図版26)

位置 10 F グリッドの北に位置する。
 形態 平面形は梢円形 ($1.48m \times 1.24m - 0.38m$) である。
 遺物 押型文土器 [梢円] Po 1、無文土器 Po 2 (12片)、無文土器 [尖底] Po 3 を検出した。

JSK-50 (挿図102、図版26)

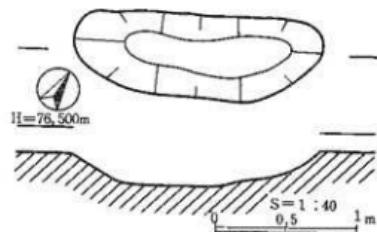
位置 8 G グリッドの南東隅に位置する。
 形態 平面形は梢円形 ($1.72m \times 0.6m - 0.28m$) である。

遺物 無文土器 1 片を検出した。

JSK-51 (挿図103、図版26・27)

位置 11 I グリッドの南西側に位置する。
 形態 平面形は梢円形 ($0.6m \times 0.5m - 0.3m$) を呈する小型土坑である。

遺物 押型文土器 [梢円] Po 1 (挿図121-1) 石皿 1 個を検出した。また、沈線文土器 Po 2 (挿図137-1) その他が出土している。



挿図102 JSK-50遺構図

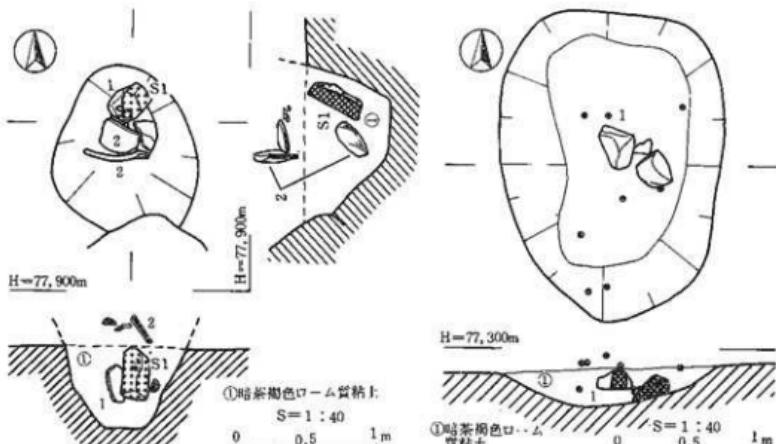


図103 JSK 51遺構図

図104 JSK 52遺構図

JSK-52 (図104、図版27)

- 位置 9 H グリッドの南隅に位置する。
- 形態 平面形は楕円形 ($2.2m \times 1.68m \sim 0.28m$) である。
- 遺物 押型文土器〔楕円〕・不明上器 7 片、チャート細石刀 1 点を検出した。

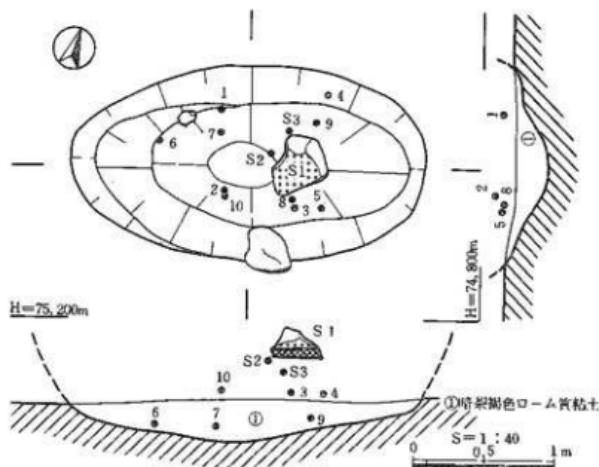


図105 JSK 53遺構図

JSK-53 (挿図105、図版27)

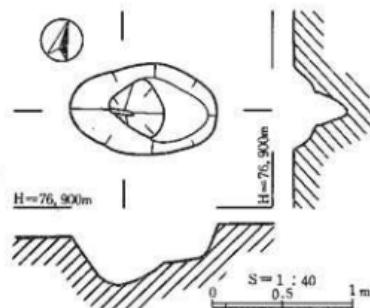
位置 5 F グリッドの東に位置する。
 形態 平面形は楕円形 ($2.5m \times 1.4m - 0.3m$) である。
 遺物 押型文土器〔楕円〕Po 1・2・3 (4片)・4 (6片)、撚糸文土器〔縦位〕Po 5、沈線文土器Po 6、無文土器Po 7~9、〔無文尖底〕Po 10、石皿S 1、磨石S 2・3を検出した。

JSK-54 (挿図106、図版28)

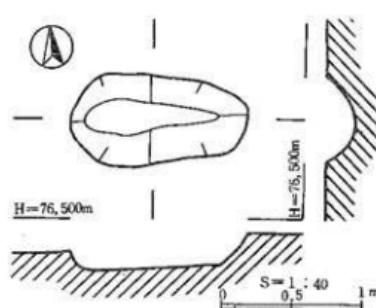
位置 9 H グリッドの西に位置する。
 形態 平面形は楕円形 ($1.02m \times 0.64m - 0.37m$) である。
 遺物 検出しなかった。

JSK-55 (挿図107、図版28)

位置 9 G グリッドのほぼ中央に位置する。
 形態 平面形は楕円形 ($1.26m \times 0.62m - 0.25m$) である。
 遺物 検出しなかった。



挿図106 JSK 53遺構図



挿図107 JSK 55遺構図

JSK-57 (挿図108、図版28)

位置 9 B グリッドのほぼ中央に位置する。
 形態 平面形は楕円形 ($1.36m \times 0.97m - 0.7m$)、床面は隅丸方形を呈する袋状土坑である。
 遺物 撥糸文土器〔縦位〕Po 1、無文土器Po 2 (4片) の他、押型文土器〔楕円〕1片、撚糸文土器〔縦位〕2片、繩文土器、無文土器、無文土器〔尖底〕各1片を検出した。

JSK-58 (挿図109・110、図版29・33)

位置 10 E グリッドの南東隅から、10 F グリッドの南西隅にかけて位置する。
 形態 平面形はほぼ円形 ($3.00m \times 2.70m - 0.76m$) である。
 特筆事項 検出面は、暗茶褐色ローム質粘土層上面で、埋土は3層からなる。ほぼ中央に巨亜角礫 ($0.80m \times 0.66m - 0.80m$) があり、これを中心に石製品を含む亜角礫 ($0.10m$

~0.40m) が多数確認された。

遺物 押型文土器〔楔凹〕Po 1~7、
 〔菱形〕Po 8~9、燃系文土器
 〔縦位〕Po 10、〔網目状〕Po 11、
 無文土器 Po 12~22、刺突文土器
 Po 23、磨石 S 1、石鍤 S 2 の他、
 押型文土器〔楕円〕11片、燃系文
 土器〔縦位〕5片、〔網目状〕1片、
 刺突文1片、無文土器20片、黑
 隆石横形刺片1片を検出した。

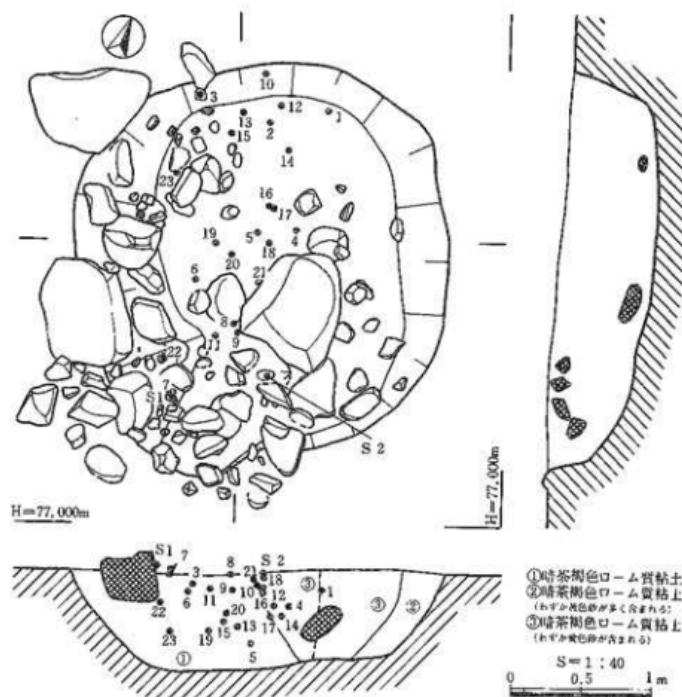
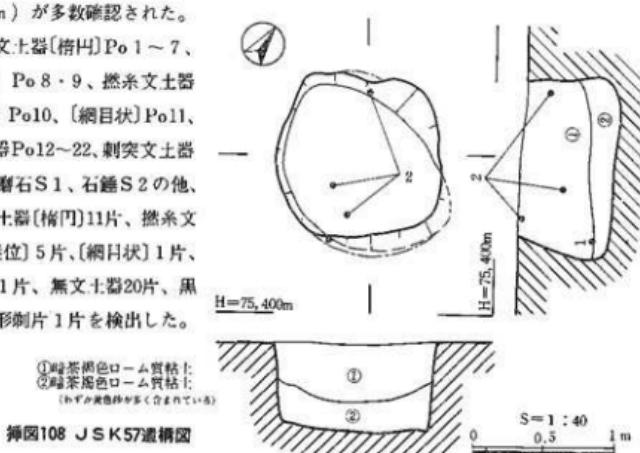


図108 JS K57遺構図

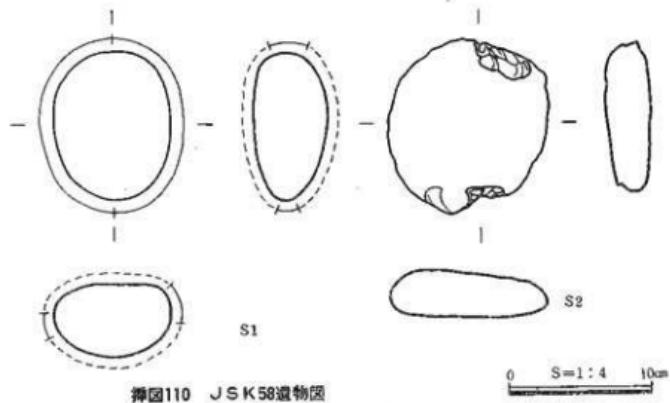


図110 JSK 58遺物図

JSK-59 (図111、図版29)

位置 4Eグリッドの南北縦に位置する。
形態 幾何形は梢円形 ($1.35m \times 1.05m - 0.17m$) である。
遺物 沈線文土器1片、無文土器3片を検出した。

JSK-56 (図112・113、図版28)

位置 15Tグリッドの西に位置する。
形態 平面形は梢円形 ($1.48m \times 1.30m - 0.53m$) である。
遺物 晩期の条痕系上器が47片、黒曜石刃H1159、黒曜石剥片H160を検出した。

特筆事項 JSK 56は、他の縄文時代早期の土坑と異なり、縄文時代晚期の遺構と考える。



図113 JSK 56遺物図

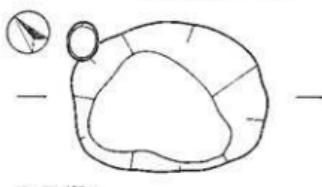


図111 JSK 59遺構図

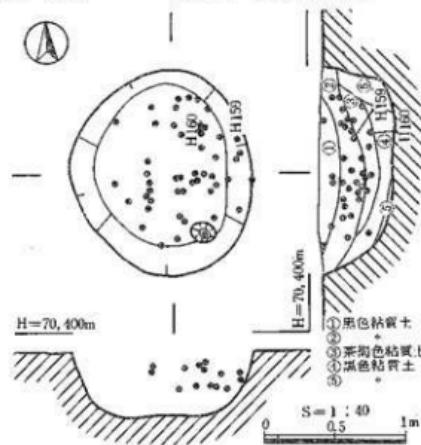


図112 JSK 56遺構図

3 縄文ピット

縄文時代のピットは、A区で計109基検出した。A区中央部西側（9Cグリッド付近）で特に多かったが、何らかの上部構造を推定できるような規則的な配置は認められなかった。

ここでは、8Dグリッドの縄文ピット（8DJpit 8）と9Cグリッドの縄文ピット（9CJPit 2）を報告する。

9CJPit 2 (挿図114)

位 置 9Cグリッドの北側に位置する。

形 態 平面形は楕円形 ($0.73m \times 0.6m - 0.18m$) である。

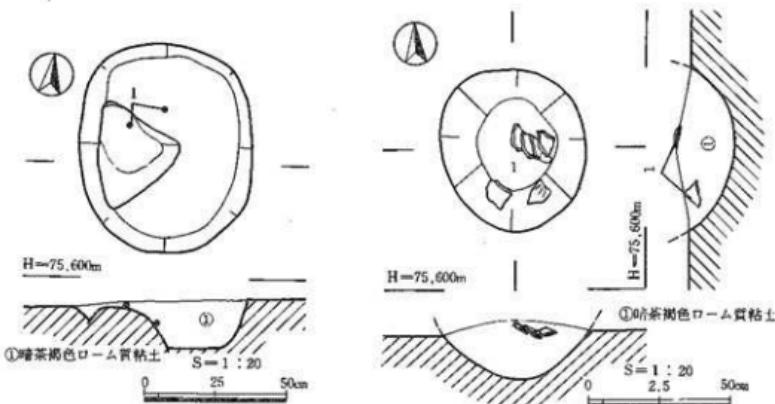
遺 物 無文土器Po 1 (2片) の他、押型文土器 [楕円] 1片、縄文土器1片を検出した。

8DJpit 8 (挿図115、図版29)

位 置 8Dの中央付近に位置する。

形 態 平面形は円形 ($0.57m \times 0.51m - 0.18m$) である。

遺 物 押型文土器 [楕円] Po 1 (挿図120—8) を検出した。



挿図114 9C JPit 2 遺構図

挿図115 8D JPit 8 遺構図

擇表3 JSK出土縄文式土器一覧表

遺物名	破片数	土器No.	分類	取上(No.)	遺物名	破片数	土器No.	分類	取上(No.)
JSK-01	1	Po 1	II類A種-④	4177	JSK-13	1	Po 2	I類C種-①	104
	1	Po 2	IV類-③-b-⑦	4180		1	*	Ⅴ類	*
	1	Po 3	V類-Ⅱ	4173		1	その他	II類B種	不明
	1	Po 4	Ⅵ類	4176		1	Po 1	Ⅵ類	244
	2	Po 5	*	4174		1	Po 2	*	245
	1	Po 6	VI類-Ⅱ	4175		8	Po 3	I類B種	240
	1	Po 7	Ⅶ類	4178		13	*	Ⅷ類	*
	1	Po 8	*	4179		2	その他	I類B種	
	1	その他	II類C種-④	4182		4	*	Ⅸ類	不明
	1	*	IV類-④-a	4181		JSK-16	1	その他	IV類-①
JSK-02	1	*	V類-③	4181	JSK-17	4	Po 1	Ⅹ類	100
	1	*	Ⅺ類	4185		3	その他	I類B種-②-a	96
	1	Po 1	I類B種	4206		10	*	Ⅻ類	*
	1	Po 2	*	4209		1	Po 1	I類B種-②-a	179
	1	Po 3	V類-③	4205		1	Po 2	Ⅹ類	182
JSK-03	1	Po 4	*	4208	JSK-18	3	Po 3	II類A種-③	177
	1	Po 5	Ⅺ類	4207		1	*	Ⅺ類	*
	1	その他	I類B種-②-a-Ⅲ	4210		1	Po 4	I類C種-①	178
	1	*	I類B種-②-a	4186		1	*	Ⅹ類	*
	1	*	II類C種-③	4186		1	Po 5	I類B種-②-a	180
JSK-04	1	Po 1	I類B種-①	9	JSK-19	1	Po 6	II類A種-③	181
	1	その他	I類C種-①	10		1	*	Ⅺ類	*
JSK-05	3	その他	I類B種-②-a	10		1	*	Ⅻ類	*
	1	*	I類B種-②-a-Ⅲ	157		1	Po 1	Ⅹ類-Ⅹ	101
JSK-06	1	その他	I類B種-②-a	不明		1	*	Ⅺ類	*
	1	*	II類A種-③	3319		7	Po 2	I類B種-②-a	98
JSK-07	2	*	Ⅺ類	不明		1	*	II類B種	*
	—	—	—	—	JSK-20	13	*	Ⅺ類	*
JSK-08	1	Po 1	Ⅺ類	19		1	その他	I類B種-②-a	*
	1	Po 2	*	20		5	*	Ⅺ類	102
JSK-09	1	Po 3	*	21	JSK-21	2	Po 1	*	155
	1	Po 1	I類B種-②-a-Ⅲ	20		3	その他	I類B種-②-a-Ⅲ	149
JSK-10	1	Po 1	I類B種-②-a	12	JSK-22	4	*	Ⅺ類	不明
	1	Po 2	Ⅺ類	11		JSK-21	—	—	—
JSK-11	3	その他	I類B種-②-a	197		1	Po 1	Ⅺ類	152
	1	*	I類B種-②-a-Ⅲ	215		1	Po 2	*	153
JSK-12	3	*	Ⅺ類	197		1	Po 3	*	154
	3	*	Ⅺ類	197		4	Po 4	I類B種-②-a	151
JSK-13	1	Po 1	*	91		2	*	II類A種-③	*
	1	その他	II類A種-③	{ 不明		4	*	Ⅺ類	*
JSK-13	2	*	Ⅺ類	1	その他	I類B種	*	148	
	1	Po 1	I類B種-②-a	105	1	*	I類C種	151	
	1	Po 2	*	104	JSK-23	3	*	Ⅺ類	*
						—	—	—	—

遺構名	破片数	土器No.	分類	取上げ場	遺構名	破片数	土器No.	分類	取上げ場
JSK-24	1	Po 1	I類B種-①	114	JSK-38	1	Po 1	V類	187
	1	*	II類A種-③-Ⅱ	*		—	—	—	—
JSK-25	—	—	—	—	JSK-39	—	—	—	—
JSK-26	3	Po 1	V類	138	JSK-40	5	その他	I類B種-②-a	76
	2	その他	I類B種-①	115		1	*	I類C種-①	*
	4	*	I類B種-②-a	*		3	*	II類A種-③	75
	1	*	II類A種-③	*		1	*	II類A種-④	88
	1	*	V類-①	116		8	*	V類	不明
	1	*	V類-Ⅱ	*	JSK-41	—	—	—	—
	1	*	*	138	JSK-42	3	その他	V類	52
	7	*	V類	139	JSK-43	1	Po 1	I類B種-②-a	70
JSK-27	1	Po 1	*	118		1	Po 2	*	71
	1	Po 2	*	119		1	Po 3	*	72
	1	その他	I類B種-②-a	117		1	Po 4	*	73
JSK-28	4	Po 1	II類A種-③	120		1	Po 5	*	83
	1	*	V類-Ⅱ	*		1	Po 6	*	103
	7	*	V類	*		1	Po 7	*	90
	1	その他	I類D種	133		1	Po 8	*	85
	4	*	V類	121		1	Po 9	*	82
JSK-29	5	Po 1	I類B種-②-a	122		1	Po 10	*	105
	1	*	V類	*		1	Po 11	*	77
	2	その他	I類B種	*		1	Po 12	*	88
JSK-30	5	Po 1	I類B種-②-a	123		1	Po 13	*	92
	1	*	I類C種-①	*		1	Po 14	*	106
	1	*	*	*		1	Po 15	*	79
	2	*	II類A種-③	*		1	Po 16	*	84
	12	*	V類	*		1	Po 17	*	76
JSK-31	1	Po 1	I類B種-①	400		1	Po 18	*	81
JSK-32	3	Po 1	I類B種-②-a	409		1	Po 19	*	106
	1	*	I類C種-①	*		1	Po 20	I類C種-①	97
	6	*	V類	*		1	Po 21	I類C種-②	75
JSK-33	9	Po 1	I類B種-②-a	71		1	Po 22	II類A種-③	80
	1	*	V類-③	*		1	Po 23	*	96
	4	*	V類	*		1	Po 24	*	98
	1	*	V類-Ⅱ	*		1	Po 25	II類A種-⑤	78
	14	その他	I類B種-②-a	65		1	Po 26	II類B種-②	104
	1	*	I類B種-②-b	*		1	Po 27	V類	93
	2	*	I類C種-①	*		1	Po 28	*	91
	2	*	V類-③	*		1	Po 29	*	94
	15	*	V類	71		1	Po 30	*	95
JSK-34	1	Po 1	*	64		1	Po 31	*	111
JSK-35	1	Po 1	I類B種-②-a	66		1	Po 32	*	110
	1	Po 2	V類	65		1	Po 33	*	89
	1	Po 3	*	67		1	Po 34	*	99
JSK-36	1	Po 1	I類B種-①-Ⅱ	89		1	Po 35	*	102
JSK-37	—	—	—	—		2	Po 37	V類-Ⅱ	74
JSK-38	2	Po 1	I類B種-②-a	187		1	Po 38	V類	87

造構名	破片数	土器No	分類	取上げNo	造構名	破片数	土器No	分類	取上げNo
JSK-43	1	Po 39	Ⅳ類	86	JSK-52	7		不明	不明
	1	その他	I類B種-②-a	73	JSK-53	1	Po 1	I類B種-①	164
	1	*	II類A種-③	108		1	Po 2	I類B種-②-a	165
JSK-44	1	Po 1	I類B種-②-a	46		4	Po 3	*	168
	1	Po 2	II類B種-④	39		6	Po 4	*	171
	1	Po 3	Ⅳ類	21		1	Po 5	II類A種-③	169
	1	Po 4	*	22		2	*	II類A種-④	*
	1	Po 5	*	24		1	Po 6	IV類-④-a	162
	1	Po 6	*	26		1	Po 7	Ⅳ類	163
	1	Po 7	*	27		1	Po 8	*	167
	1	Po 8	*	31		1	Po 9	*	170
	1	Po 9	*	34		1	Po 10	Ⅳ類	166
	1	Po 10	*	35	JSK-54	—	—	—	—
	1	Po 11	Ⅳ類-Ⅲ	36	JSK-55	—	—	—	—
	1	Po 12	Ⅳ類	37	JSK-57	1	Po 1	II類A種-④	4511
	1	Po 13	*	38		1	Po 2	Ⅳ類-Ⅴ	4485
	1	Po 14	*	40		3	*	Ⅳ類	*
	1	Po 15	*	41		1	その他	I類B種-①	4486
	1	Po 16	*	42		2	*	II類A種-③	*
	1	Po 17	Ⅳ類-Ⅳ	43		1	*	Ⅳ類-④	*
	1	Po 18	Ⅳ類	44		1	*	Ⅳ類	*
	1	Po 19	*	45		1	*	Ⅳ類-Ⅲ	*
	2	Po 20	*	47	JSK-58	1	Po 1	I類B種-②-a	4959
	1	Po 21	*	48		1	Po 2	*	4961
	1	その他	I類B種-②-a	49		1	Po 3	*	4957
	1	*	Ⅳ類	不明		1	Po 4	*	4968
JSK-45	1	Po 1	I類C種-①	1		1	Po 5	*	4970
JSK-46	3	Po 1	I類B種-②-a	218		1	Po 6	*	4974
	1	*	II類A種-③	*		1	Po 7	*	4979
	1	*	Ⅳ類-③	*		1	Po 8	I類C種-①	4975
	2	*	Ⅳ類	*		1	Po 9	*	4976
	1	その他	Ⅳ類-⑤	223		1	Po 10	II類A種-④	4958
JSK-47	2	Po 1	I類B種-②-a	94		1	Po 11	II類B種-①	4977
	1	*	Ⅳ類-①	*		1	Po 12	Ⅳ類	4960
	5	*	Ⅳ類	*		1	Po 13	*	4963
JSK-48	1	Po 1	Ⅳ類	163		1	Po 14	*	4962
	1	Po 2	Ⅳ類	164		1	Po 15	*	4964
	1	Po 3	Ⅳ類	165		1	Po 16	*	4966
JSK-49	1	Po 1	I類B種-②-a	95		1	Po 17	*	4967
	12	Po 2	Ⅳ類	96		1	Po 18	*	4969
	1	Po 3	Ⅳ類	94		1	Po 19	*	4973
JSK-50	1	その他	Ⅳ類	2		1	Po 20	*	4972
JSK-51	1	Po 1	I類B種-②-a	47		1	Po 21	*	4971
	1	Po 2	Ⅳ類-①	46		1	Po 22	*	4978
	1	{(複合)}	*	4082		1	Po 23	Ⅳ類-④	4965
	1	その他	*	48		10	その他	I類B種-②-a	4818
JSK-52	1	Po 1	I類B種	44		1	*	I類B種-②-b	*

遺構名	破片数	土器No	分類	取上げNo	遺構名	破片数	土器No	分類	取上げNo
JSK-58	1	その他	II類A種-①	4818	JSK-56	1		条痕文土器	1775
	2	*	II類A種-③	*		1		*	1999
	1	*	II類A種-④	*		1		*	1948
	1	*	II類B種-④	*		1		*	1947
	1	*	質頑-③	*		1		*	1772
	1	*	質頑-Ⅰ	*		1		*	1770
	1	*	質頑-Ⅱ	*		1		*	1777
	18	*	質頑	*		1		*	1778
JSK-59	1	その他	質頑-③			1		*	1950
	1	*	質頑-Ⅱ			1		*	1776
	2	*	Ⅳ類			1		*	1771
JSK-56	1		条痕文土器	1791	9 CJPit 2	2	Po 1	Ⅳ類	81
	1		*	1792		1	その他	I類B種-②-a	4808
	1		*	1794		1	*	後期縄文	*
	1		*	1793	8 DJPit 8	1	Po 1	I類B種-②-a-Ⅲ	202
	1		*	1795					
	1		*	1796					
	1		*	1790					
	1		*	1789					
	1		*	1788					
	1		*	1787					
	1		*	1784					
	1		*	1786					
	1		*	1785					
	1		*	1783					
	1		*	1767					
	1		*	1768					
	1		*	1769					
	1		*	1773					
	1		*	1943					
	1		*	1944					
	1		*	1744					
	1		*	1800					
	1		*	1934					
	1		*	1802					
	1		*	1801					
	1		*	1803					
	1		*	1780					
	1		*	1782					
	1		*	1798					
	1		*	1781					
	1		*	1804					
	1		*	1952					
	1		*	1951					
	1		*	1805					
	1		*	1946					
	1		*	1945					

挿表4 JSK出土石皿、磨石、敲石、石錐一覧表

(単位cm及び、()を付したものは現存値を示す)

分類	神田番号	国版番号	出土 グリッド	出土遺構	雷体 番号	出土 年月日	材質	保存 状態	長さ	巾	厚さ	重さ
磨石 I	55-S 1		111	JSK-02	4204	84. 7.20	角閃石安山岩	完	14.3	9.5	8.2	1219
石皿	64-S 1		8 C	JSK-11	92	84. 9.06	角閃石安山岩	残欠	11.7	6.3	4.6	527
石皿	70-S 1	33	8 D	JSK-16	205	84. 9.06	角閃石安山岩	完	20.3	16.7	6.9	2843
敲石 IV	—		*	*	207	*	黑雲母角閃石安山岩	*	14.1	9.7	7.7	1143
磨石 I	—		7 C	JSK-19	109②	84. 9.11	石榴石安山岩	残欠	7.6	7.5	5.5	349
敲石 I	—		*	*	99	9.10	黑雲母角閃石安山岩	完	8.8	6.5	5.4	348
敲石 II	73-S 1		*	*	108①	9.11	角閃石安山岩	*	8.9	6.4	5.6	370
磨石 II	79-S 1		9 E	JSK-26	189	84. 9.17	角閃石安山岩	完	11.7	7.3	4.6	489
敲石 I	—		9 D	JSK-31	402	84. 9.07	角閃石安山岩	完	10.5	7.3	9.0	791
磨石 IV	83-S 1		*	*	401	*	*	*	11.6	9.5	4.9	597
石皿	—		8 F	JSK-33	72	84. 9.17	角閃石(新期)	完	27.0	20.7	18.0	13,525
石皿	92-S 1	33	9 C	JSK-40	172	84.10.18	角閃石安山岩	完	33.5	39.3	16.9	25,556
磨石 I	—		*	*	173	*	榍石質安山岩	残欠	(7.6)	6.3	4.2	238
磨石 II	—		*	*	174	*	榍石岩	完	11.6	9.6	4.9	720
磨石 II	94-S 1		10D	JSK-43	107	84.10.22	角閃石安山岩	完	9.8	8.7	5.1	502
石皿	—		13I	JSK-44	51	84.10.19	角閃石安山岩	完	17.5	14.0	6.0	1,884
石皿	99-S 1		6 E	JSK-47	95	84.10.18	角閃石安山岩(新期)	残欠	29.0	15.0	9.5	6,161
石皿	103-S 1		11 I	JSK-51	49	84.10.22	角閃石安山岩	残欠	(19.1)	(9.5)	(6.9)	1,460
磨石 II	109-S 1	33	10E	JSK-58	4980	84. 8.04	角閃石安山岩	完	10.5	8.4	5.3	594
石皿	109-S 2	33	+	+	4982	+	+	+	10.8	11.2	3.4	474

第3節 繩文時代の遺物

今回の調査により出土した縄文時代の遺物には土器の他、原石、石器、石鏃、剝片、石皿、磨石・砥石、敲石、石斧、石錐、不明石器、ペンダント等の石製品がみられる。

1 縄文式土器

本跡A区の発掘調査により出土した縄文式土器の破片総計は約34,000片を数える。それらの土器は、時代的に縄文時代早期、前期、後・晚期と大きく3つに区分できる。

早期の土器破片数は約33,600片、前期では約300片、後・晚期では約100片でその主体をなすものは早期の土器である。しかしながらこれらの土器は、層位的には早・前期の土器と後・晚期の土器との2区分しか確認できなかった。今回の報告では、先駆の功績をよりどころに、これらの土器をその型式的特徴により区分し、加えて、器形・施文方法の細かな違いについても観察し、分類を試みた。以下その分類に沿って記述していく。尚、上福万A区出土の縄文式土器破片数の関係は挿表12を、各土器の詳細については挿表11を参照して頂きたい。

(1) 先行する土器（早期）（挿図116、挿表11、図版35・36）

A 押型文土器

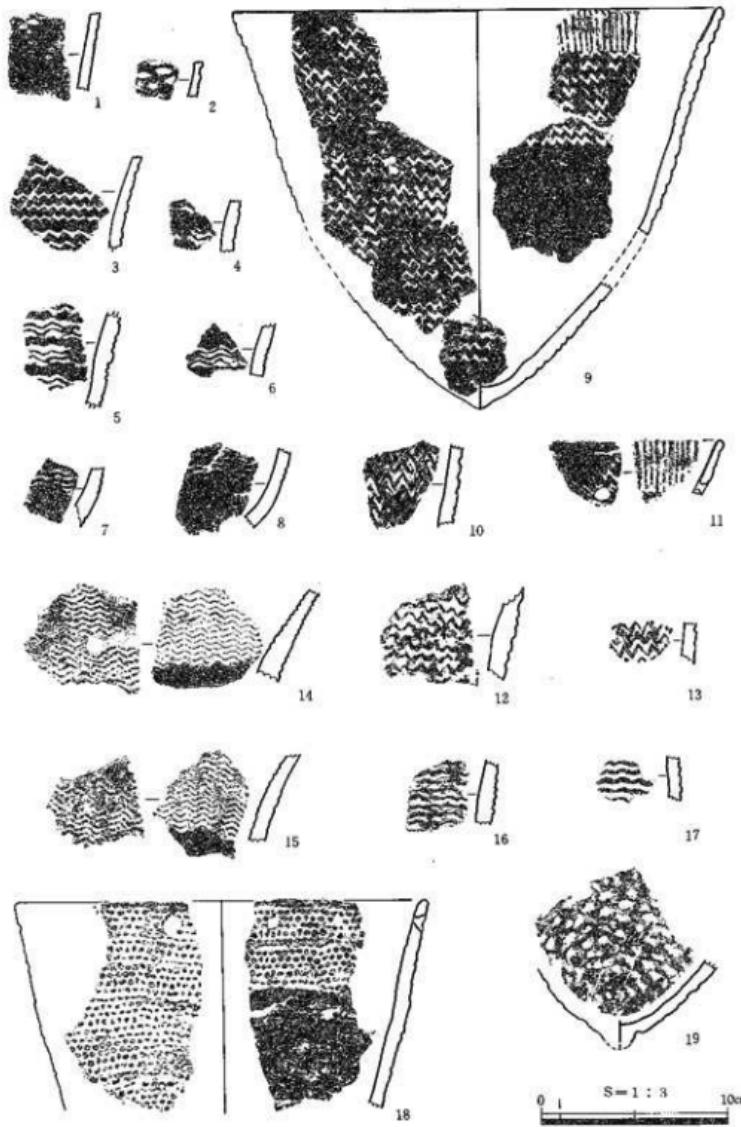
格子目文土器 1・2は、ネガティブな格子目文を施す。回転施文によるもので、文様一つの大きさは、1は長径4.5mm×短径2.5mmで、2は21mm×5mmである。凹面は平坦である。器厚は1・2とも5~6mmで、胎土に纖維を含まない。全体に磨滅が顕著である。

山形文（帯状施文） 3~8は無文帶を挟む山形の帯状施文をおこなう土器である。3は、しっかりとした山形を施すが、4~8は一つの山の巾に比べ高さが低く鈍い山形を施す。3~8すべて、器壁は比較的薄く胎土に纖維を微量含む。

山形文（横位密接施文） 9~13は鋭角な山形を横位密接施文する土器である。9は復元状態が良好でその特徴が十分把握できるが、口縁部内面に縦位の原体条痕が施され、その下に土器外面に施文するものと同じ原体による横位密接施文が続く。11は口縁下に円孔を有すが、その残存状態から9と同様の型式的特徴をもつと考えられる。10・12・13は胴部片でその特徴を十分に知り得ないが、9・11と同一グループとして把握できる。器厚は観察表に示した通り、9・11が10・12・13に比べやや薄く、9・11・12は胎土に纖維を含み、10は微量、13は少量纖維を含む。

14~17は鋭角な山形を横位密接施文するものである。14・15は口縁部付近の破片で、内外面に同一原体による施文が認められる。16・17は胴部片であるが、起伏の小さい山形が横位に密接施文される。器厚は、14・15が8~9mm、16・17が6~7mmでいずれも胎土中に纖維を微量含む。

橢円文（横位密接施文） 18は小型の橢円を横位密接施文する土器である。口縁部内面にも同一原体による横位密接施文がみられ、口縁下に円孔を有する。器厚は7mm程度で、胎土に纖維を含む。



挿図116 先行する土器群遺物実測図

B 刺突文土器

19は棒状原体による全面刺突が施される土器である。底部しか残存しておらず全容を明らかに知り得ないが、刺突を器面に対し左から右への斜め方向に施し、その深さは1.5～3mm程度である。器厚は6mm程度で、胎土に纖維を微量含む。

以上の土器群は、後述する本遺跡で主体をなす早期の土器群に比べ相対的に薄手で、器形も小型である。ネガティブな格子日文土器を除く土器は、その型式的特徴から、黄鳥式（岡山県黄鳥貝塚）、細久保式（長野県細久保遺跡）に併行するものとして捉えられる。

(2) 主体となる土器（早期）

I類 押型文土器

A種 山形文土器

山形文土器については、施文原体の違いによって生じる文様のパターン、施文方法、器形に重点をおいて分類を試みた。

① 鋭角な山形を縦位に施文するもの（挿図117—1・2、図版36）

1・2は、口縁が外反し胸部に屈曲をもち、屈曲部以下には施文がない。この特徴は、

V類（刺突文土器）⑦（挿図141—12）に類似する。また、1では口縁端部にも山形の施文がみられ、2では口縁部内面に横位の山形文が施される。

② 鈍角な山形を縦位に施文するもの

i 口縁が外反するもの（挿図117—3～9、図版36）

3～5は口縁端部にフラットな面をもち、3は刺突を、4は沈線を、5は山形を施文する。6・7は端部を丸くおきめている。8・9は胸部片であり、その口縁形状は不明である。胸部に段を有するのが特徴である。

ii 口縁が直行するもの（挿図117—10・11、図版36）

10・11は、口縁端部にフラットな面をもち、ともに山形を施文する。10の外面には刺突が施される。

③ 鈍角な山形を横位に施文するもの（挿図117—12・13、図版36）

12・13とも口縁端部のフラット面に山形文を施し、口縁部内面に横位の山形文を施す。

④ 鈍角な山形を不定方向に施文するもの（挿図117—14、図版36）

14は胸部片であり口縁形状などは不明であるが、他の土器と同様な山形が異方向に施文される。この特徴を示す土器片はこれ1片のみであった。

以上の山形文土器の特徴として、その文様が縦位に施されるものが多いこと、文様の粗大化が顕著であり、器壁も厚いことなどがあげられる。

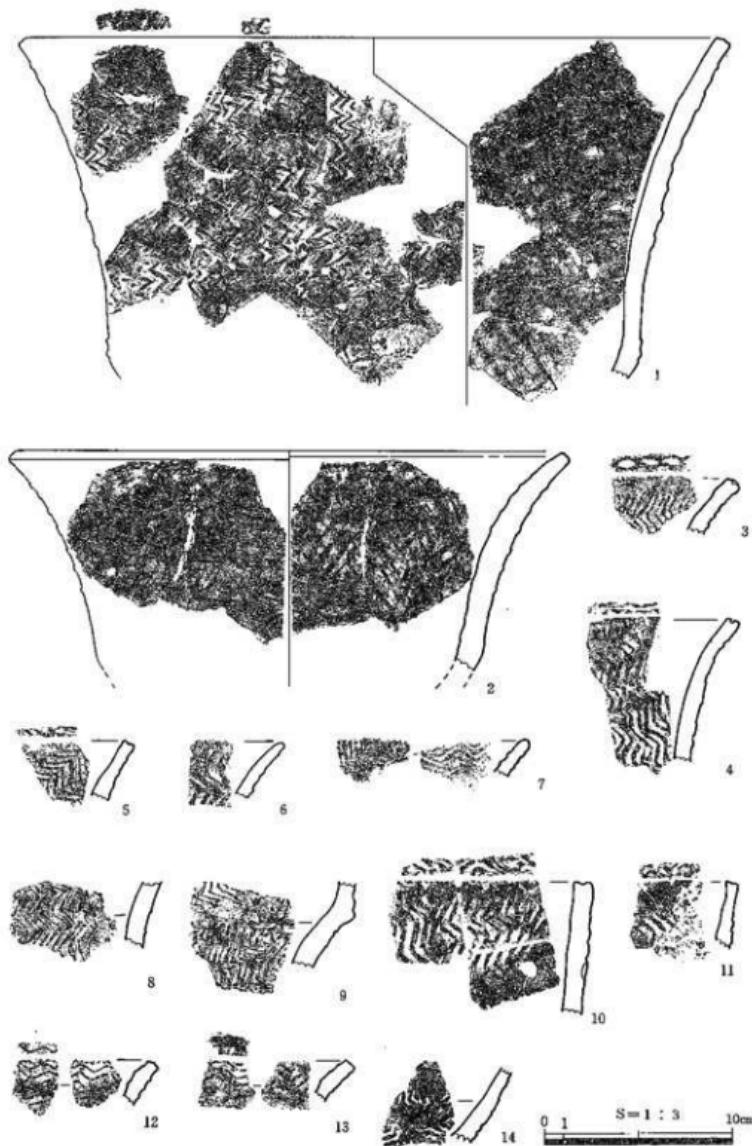


图117 I類A種遺物実測図

B種 楕円文土器（撲妻7）

楕円文土器については、まず楕円文の大きさによって、①小楕円・②中楕円（仮称）の区分を行ない、更に中楕円をその形状により、a 長楕円とb 正円（正円に近いもの）に分けてみた。具体的な法量等は挿表7を参照していただきたい。

① 小楕円（楕円文が比較的小型のもの）

i 口縁が大きく外反するもの（挿図118—1、図版37）

1は大きく外反する口縁部内面に深く幅広い斜行沈線を施し、その為に口縁端部にゆがみが生じる。また、口縁端部には外面をめぐる沈線がみられ、胴上半部にも不規則な沈線が認められる。

ii 口縁が外反するもの（挿図118—2～6、挿図119—1～3、図版37・38）

2（挿図118）の口縁内面には、比較的浅く幅広の斜行沈線を施す。3（挿図118）は、口縁部内面に外面と同一原体による横位の施文を行なう。4は、若干外反度が強く、その口縁端部は平坦である。1（挿図119）は、復元状態が良好でその全容を知り得る。口径—39.5cm、器高—44cmを測る。頸部は明瞭であり、口縁部内面には、浅く幅広の斜行沈線が施される。2（挿図119）の内面斜行沈線は、浅く幅広であるが、それにより口縁端部がかなりゆがめられている。5はナデ調整により口縁端部を丸く仕上げ、口縁に刺突を施す。6は口縁部内面に浅く幅広の斜行沈線を施し、口縁端部をかなりゆがめている。

iii 口縁が外反し、端部が肥厚するもの（挿図118—7～9、図版37）

7の口縁端部は、ナデ調整により丸く仕上げられる。8は、口縁部が屈曲して外に張り出し、肩曲部に深い沈線がめぐる。9の口縁内面には、外面と同一原体による横位施文がみられる。

iv 比較的小型の土器（挿図118—10、図版37）

10は比較的小型の胴部片で、その口縁部は大きく外反するものと思われる。口縁形状を確実に把握できず、あえて他の土器と区別したが、胴上半部内面の深く幅広の斜行沈線やその残存破片から推察すると、iの分類に含めてよかろう。

v 摺口縁をもつもの（挿図118—11、図版37）

11は、本来の意味の口縁ではないと考えられる。端部から、それ以下のカーブや、端部の調整から、肩部途中の破片と考える。

② 中楕円

a 長楕円

i 口縁が大きく外反するもの（挿図120—1・2、図版38）

1・2とも小破片で、その特徴を十分には把握できないが、1の口縁端部外面には2条の沈線がめぐり、1・2とも内面には横位の楕円文が施される。

ii 口縁が大きく外反し、端部が肥厚するもの（挿図120—3～7、図版34・38）

3～7は内面に深い幅広の斜行沈線が施され、それによって口縁端部がかなりゆがめられている。また、口縁端部には、いずれもナデ調整が施され、3・4は比較的丸く、5

插图118 I期白垩①植物实测图

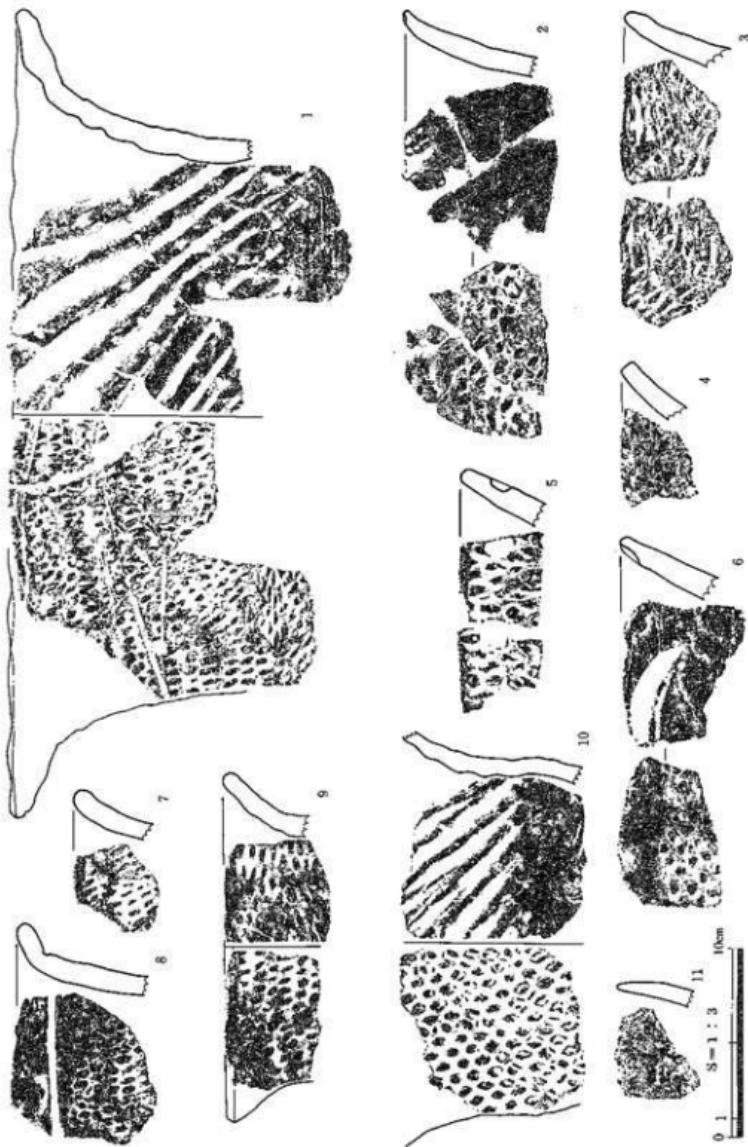
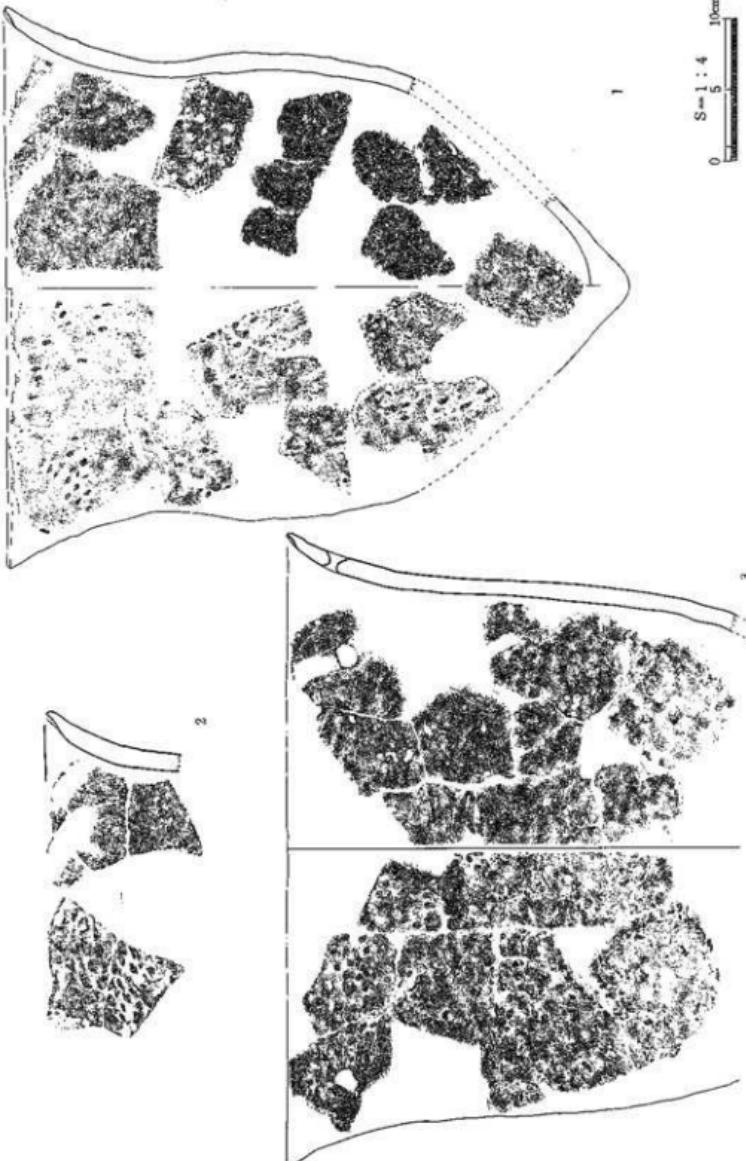


插圖119 1 黑口礁①造物美術圖



・6はやや平坦に、7は特に平坦に仕上げられている。3・5は口縁下に、4は肩部に沈線が施されている。4の口縁下には、円孔もみられる。

III 口縁が屈曲気味に外反するもの

⑦ 外面のみ梢円文を施すもの（挿図120—8、挿図121—1～4、図版39）

いずれも、口縁部内面に斜行沈線が施される。3（挿図121）以外は、浅く幅広いものであるが、その中で2（挿図121）だけは、施す範囲が広い。^(注2)3には、浅く細かい斜行沈線がみられる。

⑧ 内外面とも梢円文を施すもの（挿図121—5・6、図版39）

5・6とも口縁端部は丸く仕上げられており、外面に縦位、内面に横位の梢円文を施す。端部は若干肥厚する。

IV 口縁が外反するが口縁部の屈曲が不明瞭なもの（挿図121—7～10、挿図122—1、図版39・40）

いずれも、口縁端部はナデ調整により丸く仕上げ、8（挿図121）・1（挿図122）には口縁下に刺突がみられ、7・10（挿図121）は、口縁下に沈線をめぐらす。

V 口縁が緩やかに外反するもの（挿図122—2～4、図版40）

2・3とも端部を細かく仕上げるが、磨滅がひどく外面の梢円文の痕跡もかろうじて観察できる程度であり、その特徴の詳細は不明である。

VI 小型浅鉢（挿図122—4、図版40）

4は小型の浅鉢で、復元口径—17.5cm、復元器高—11.5cmを測る。口縁端部は、ナデ調整により丸く仕上げられ、端部には稜が認められる。

VII 口縁が直行するもの（挿図122—5、図版40）

5はかなり大型の土器で、復元口径—54cmを測る。口縁端部に粗いナデ調整を施し平坦に仕上げている。土器外面にはほぼ等間隔に横位の沈線がみられる。

b 正円

I 口縁が外反し、端部が肥厚するもの（挿図123—1～3、図版40）

いずれも外面に横方向の梢円文を施す。1は口縁内面に深く幅広い斜行沈線。2には浅く幅広い斜行沈線を施す。2・3の口縁端部外面には沈線がめぐる。

II 口縁が外反するもの（挿図123—4・5、図版40）

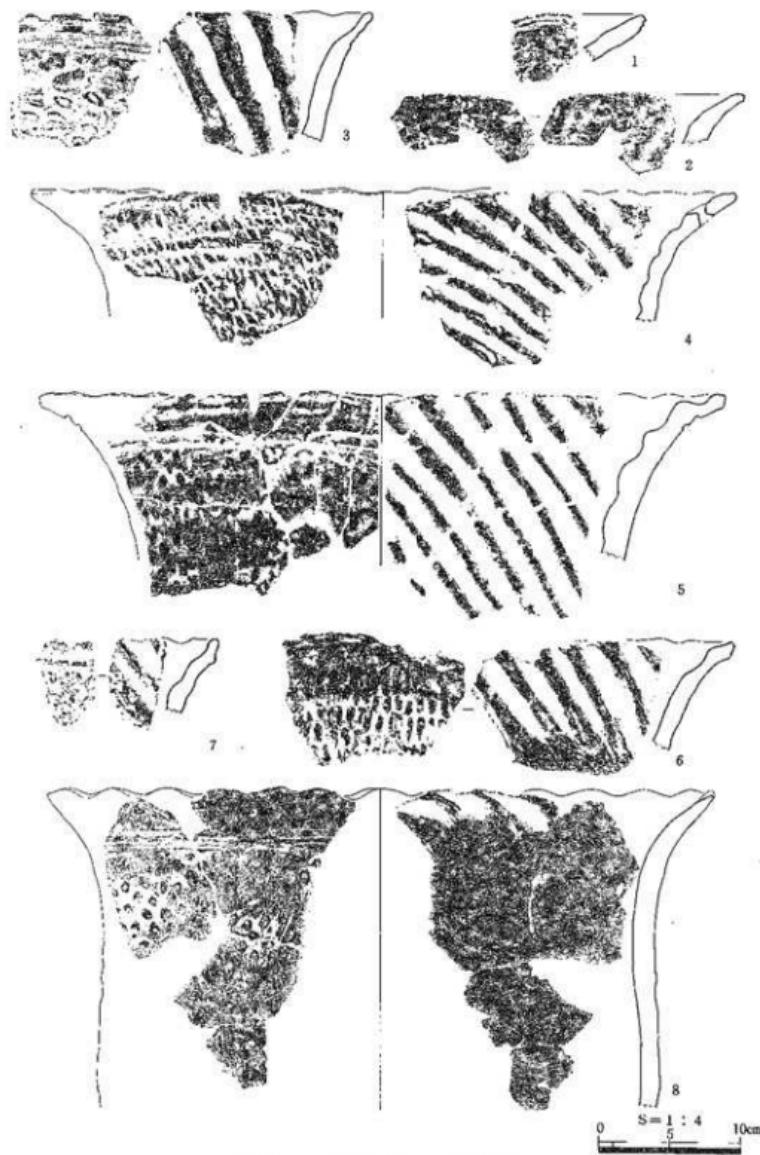
4の内面には浅く幅広い斜行沈線が施され、それによって口縁端部がかなりゆがめられている。5の内面には結条体压痕が認められる。この結条体压痕は、II類A種（縦位撚糸文土器）のものに多くみられる。また、5の外面には刺突が施される。

III 口縁の外反度のやや弱いもの（挿図123—6・7、図版40）

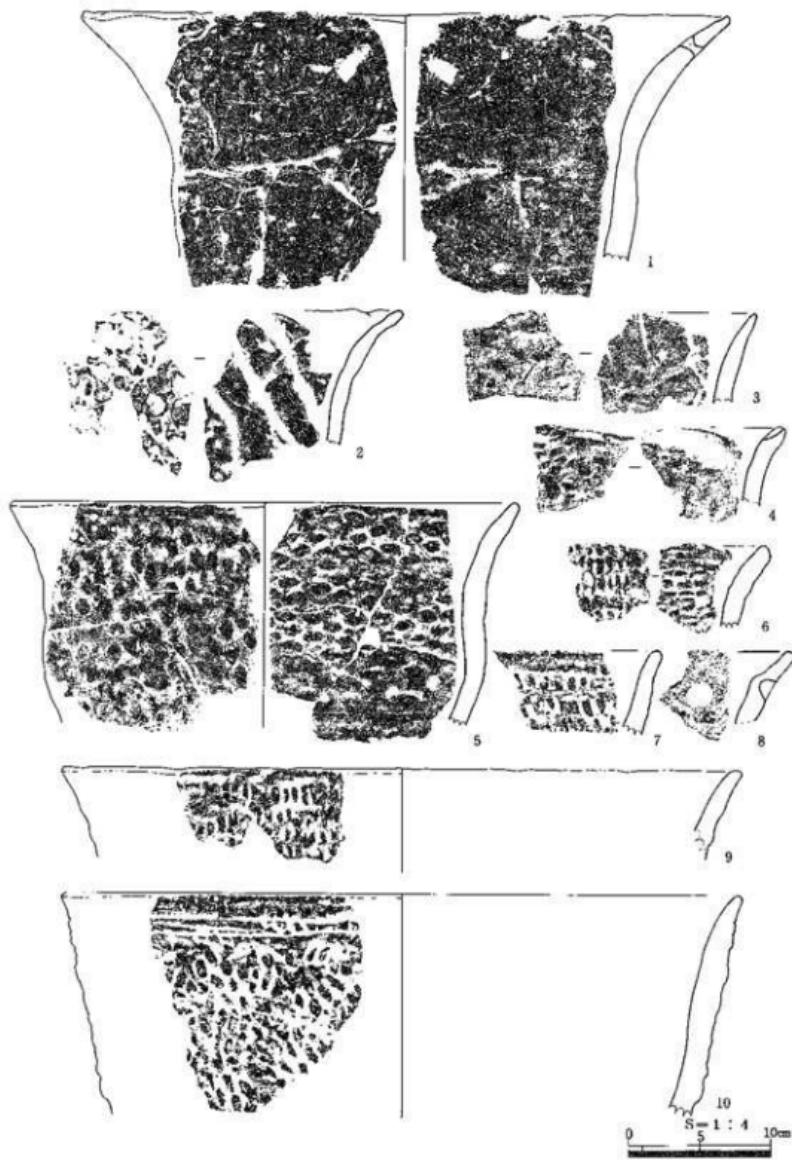
6・7とも口縁端部を粗く仕上げ、内面には浅く幅広い斜行沈線を施す。また、外面は横方向に梢円文を施す。

IV 口縁部がやや屈曲し外反するもの（挿図123—8・9、図版41）

8・9とも口縁部に至り、若干屈曲しながら外反する。また、内面には浅い幅広の斜行沈線を施す。端部は粗く仕上げる。



擇図120 I 県 B 種(2)-a 遺物実測図



博図121 I類B種(2)-a 遺物実測図



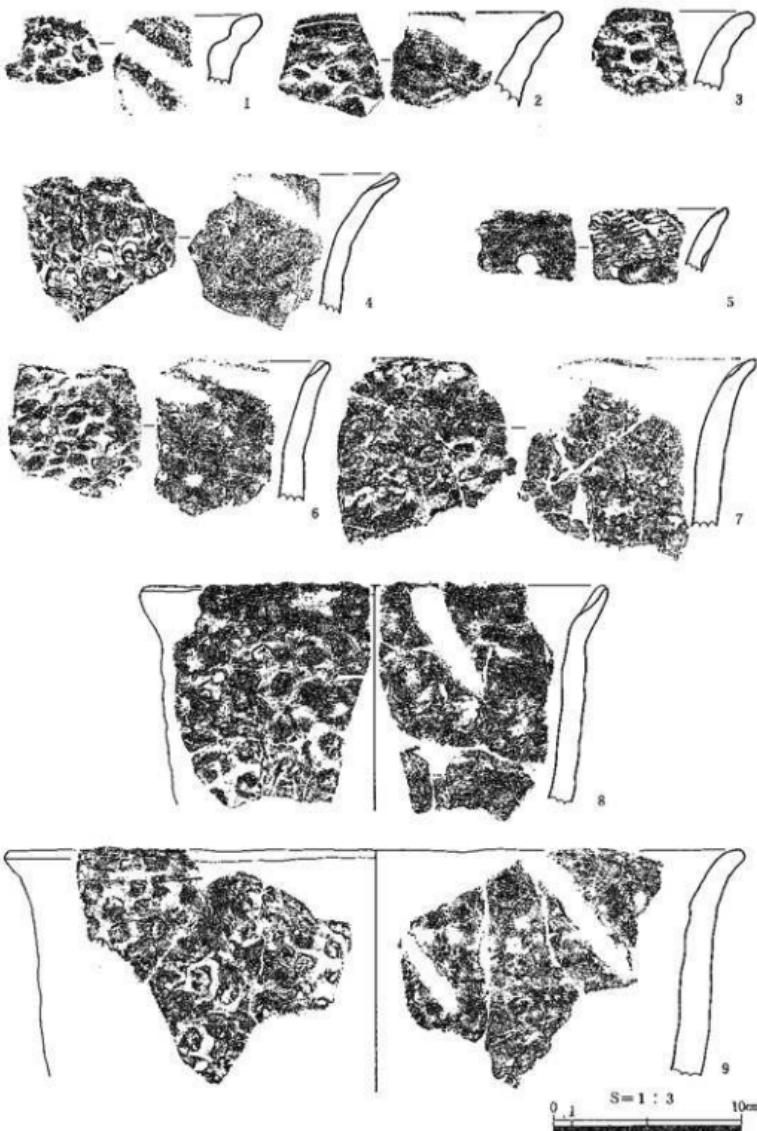
挿図122 I類B種②—a 遺物実測図

V 口縁部の屈曲が明瞭であるもの（挿図124—1・2、図版41）

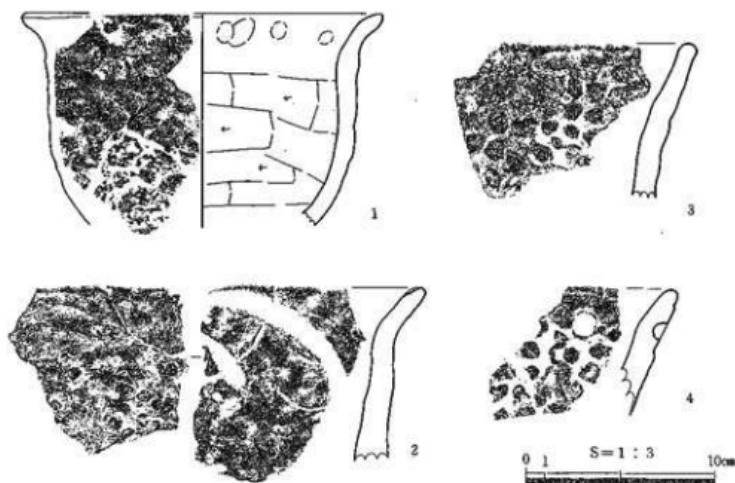
1は比較的小型で、復元口径—19.2cm、復元器高—13.6cmを測る。口縁部内面には指圧痕が明瞭で、胴部内面は箝削りが施される。2の口縁部内面には、浅く幅広い斜行沈線がみられる。

VI 口縁が緩やかに外反するもの（挿図124—3・4、図版41）

3・4とも口縁端部はナデ調整により丸く仕上げられ、4の口縁下には刺突を施す。



插図123 I類B種(2)-b 遺物実測図



挿図124 I類B種②-b遺物実測図

以上、楕円文土器について解説を加えたが、これらの土器の中には、口縁部内面に斜行沈線・格条体压痕を施すものがいくつかみられた。これらの特徴についてのまとめは、後述する(P145-P147)。また、本種の最初にも記述した通り、本種を細分するにあたって、まず、楕円文の大きさ・形状で大別した。小型の楕円文を施すものと、比較的大型の楕円文を施すものとは、その違いがはっきり指摘でき、また、大型の楕円文の中で、その形状が長細いものと正円に近いものとが存在することも確実である。しかしながら、それらの土器を厳密にどこで区切るかという大きな問題を残してしまったが、その意味においてある程度妥当性をもたせる為挿表7を提示した。

C種 菱形文土器 (挿表8)

菱形文土器については、まず菱形文の大きさに着目し、①中菱形・②大菱形に区分した。具体的な法量等は挿表8の通りである。

① 中菱形

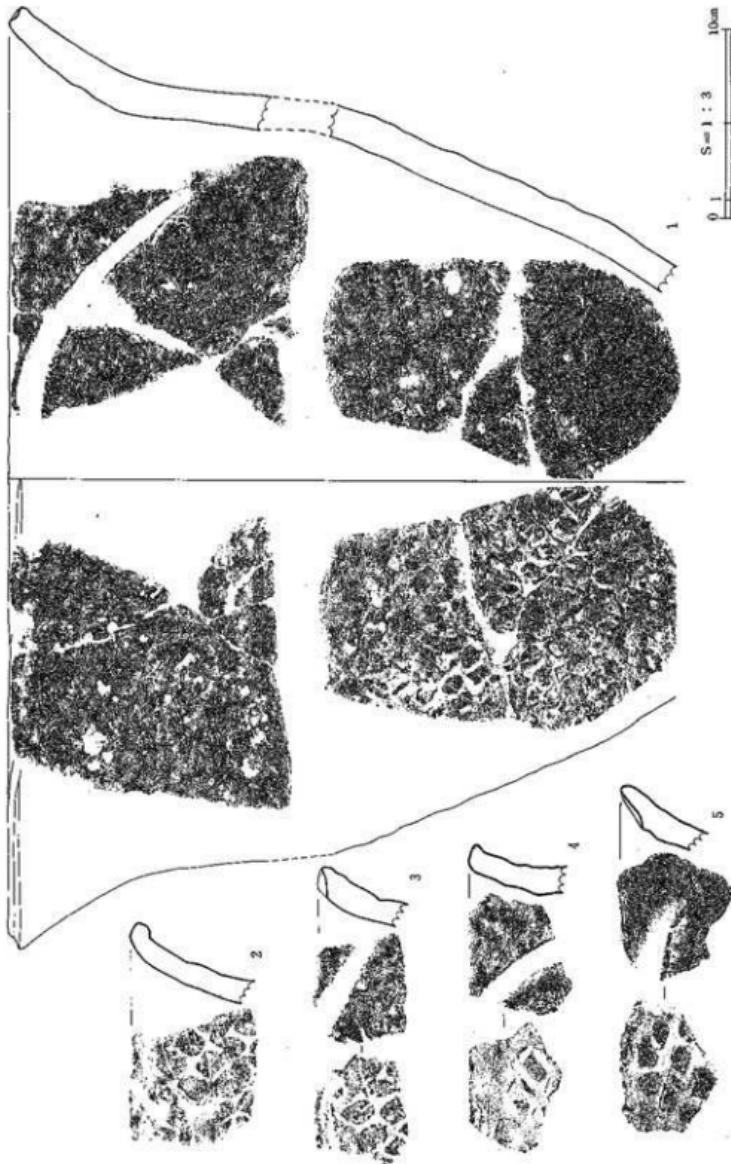
1 口縁が外反するもの

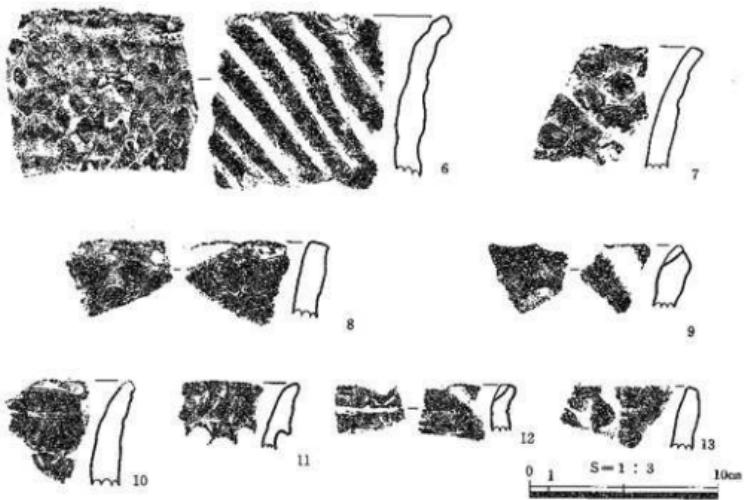
⑦ 口縁端部が肥厚するもの (挿図125-1~5、図版41-4・42-1)

1・4の口縁内面には、浅く幅広い斜行沈線を施す。1では、その斜行沈線が口縁端部に至っても途切れず続けて施されている。口縁端部にみえる凹みは、それにより生じるものである。3・5の内面には浅く幅広い斜行沈線がみられ、口縁端部をゆがめている。

插圖125 I類C種①遺物測量圖

S = 1 : 3
0.1 10mm





挿図126 I類C種①遺物実測図

① ⑦に比べ若干薄手のもの（挿図126—6・7、図版42）

6は口縁部内面に深く幅広の斜行沈線を施す。7の口縁端部は、ナデ調整により平坦面を持つ。6・7はⅠ—Ⅶタイプの土器と類似するが、器厚の違いで別に扱った。

Ⅱ 口縁が緩やかに外反するもの

⑦ 「口縁端部が肥厚するもの（挿図126—8・9、図版42）

8は口縁端部に平坦面を持ち、内面に斜行沈線を施す。9は内面に浅く幅広い斜行沈線がみられ、口縁端部に平坦面を持つ。

⑧ 口縁端部を比較的薄く仕上げるもの（挿図126—10~12、図版42）

9は口縁下に沈線を施し、11は刺突を施す。12は口縁内面に浅く幅広の斜行沈線がみられ、それにより口縁端部がかなりゆがめられている。また、口縁下に沈線をめぐらす。

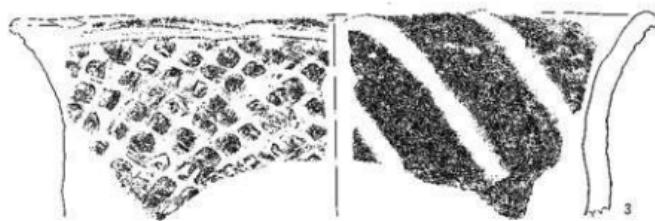
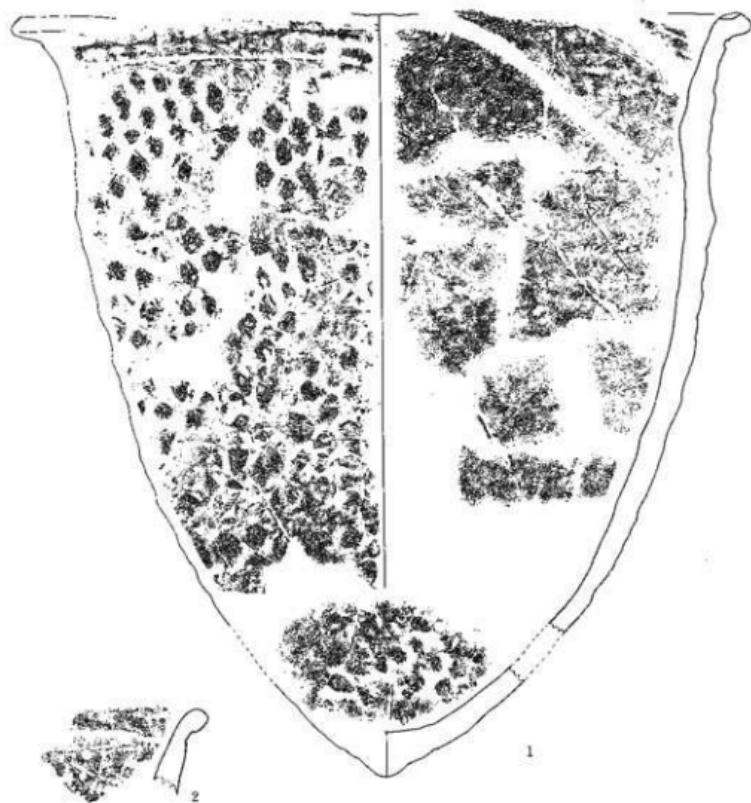
Ⅲ 口縁が直行するもの（挿図126—13、図版42）

13は口縁が直行気味に立ちあがる。このタイプに含まれるものとして確認されたのは、これ1片のみであった。

② 大菱形

Ⅰ 口縁が外反し端部が肥厚するもの（挿図127—1～3、挿図128—1、図版42—3・4、43、34—2）

1は本遺跡出土土器の中で最も復元状態が良好であった。口径53cm・器高54cmを測り、かなり大型である。口縁端部は肥厚し屈曲して外へ張り出し、屈曲部には沈線をめぐらす。



8-1 : 4
0 5 10cm

插圖127 I類C種②遺物實測圖

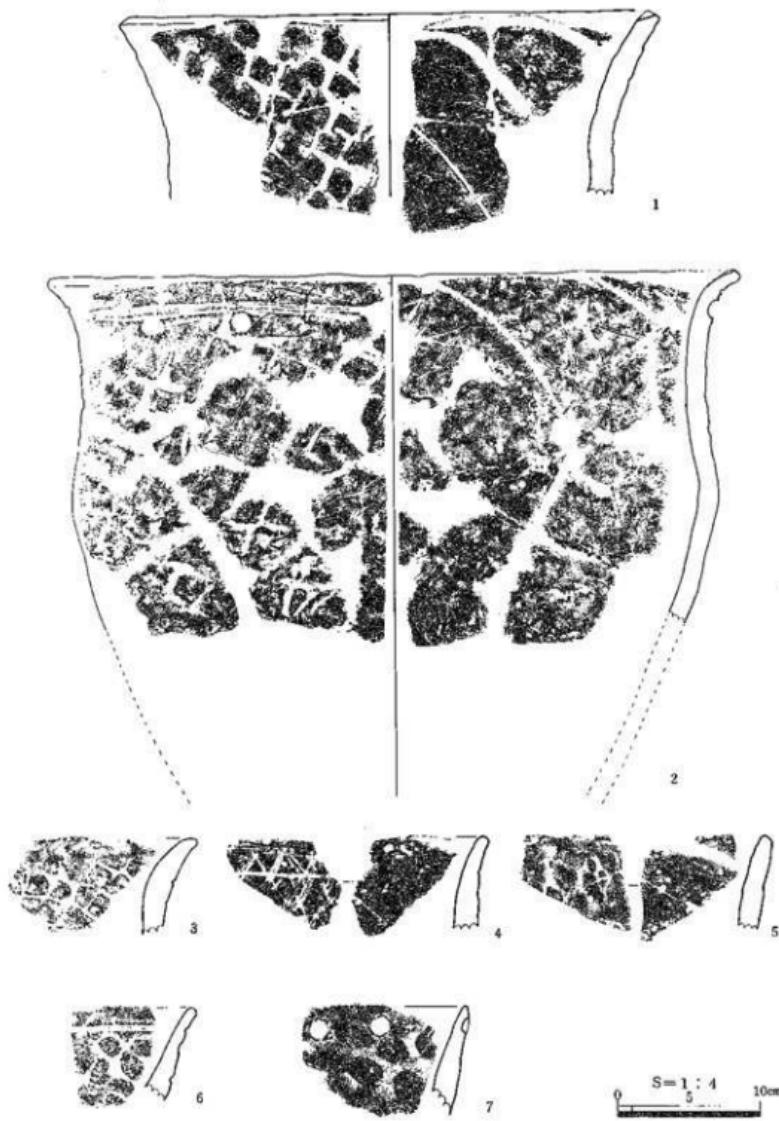


插图128 I 帧 C 框②遗物实测图

口縁部内面には浅く幅広の斜行沈線がみられ、それにより口縁端部にゆがみが生じている。また、この土器について注目すべき点は、口縁部から胴部へかけて屈曲が認められることである。2はナデ調整により丸く仕上げ、口縁下に沈線を施す。3は復元口径48.5cmを測り、1と同様かなり大型のものと考えられる。口縁部内面には浅く幅広の斜行沈線がみられ、口縁下には2条の沈線を施す。1(挿図128)は口縁端部に平坦面をもち、口縁部内面には浅く幅広の斜行沈線がみられる。

II 口縁が外反し端部を比較的薄く仕上げるもの。

⑦ 口縁の外反度の強いもの(挿図128-2・3、図版34-2、43-2・3)

2は口縁部内面に浅く幅の狭い斜行沈線を施し、口縁下に沈線及び刺突を有する。器形的には挿図127-1と同様に、口縁部～胴部にかけての屈曲が認められる。3の口縁端部はナデ調整により丸く仕上げられる。

⑧ 口縁の外反度の弱いもの(挿図128-4～7、図版43)

4・5の内面には浅く幅広の斜行沈線が施され、端部はナデ調整により丸く仕上げられる。4・6の口縁下には沈線が、7には刺突がそれぞれ施されている。

D種 特殊菱形文土器(挿図129、図版43)

1・2は、棒状の施文原体に二重の矩形を刻んで回転施文したものと考えられる。1は口縁部近くの破片であり、大きく外反していく様子が窺える。2は胴部片で屈曲が明瞭である。内面はナデ調整で胎土中に繊維は含まない。

[器形的にはI類A種(山形文土器)
の中に類似するものが認められる。]



挿図129 I類D種遺物実測図

以上、I類の土器について簡単に記述してきた。I類の土器の代表的特徴としては、施される押型文の粗大化・器壁の厚手化・器形の大型化・口縁部内面の斜行沈線等があげられる。これらの特徴から、I類の土器は大きく高山寺式(和歌山県高山寺貝塚)併行のものとして捉えられる。

II類 櫻糸文土器

A種 縞位に施文するもの

① 0段r 櫻糸文様が粗なもの(挿図130-1・2・4、図版44)

1の口縁内面には幅の狭い斜行沈線が施される。2は、1より若干厚手で、端部をナデ調整により丸く仕上げる。

② 0段r 櫻糸文様が密なもの(挿図130-3、図版44)

3は胴部片であり、その特徴をほとんど知り得ないが、文様は密に施される。

- ③ 0段ミ捺りで文様が粗なもの
- I 口縁が大きく外反するもの（挿図130—5・6、図版44）
5の口縁内面には幅の狭い斜行沈線が、6には幅の広い斜行沈線が施される。
 - II 口縁が外反するもの（挿図130—7～11、図版44）
7～10は、内面に斜行沈線がみられる。7は、それによって端部をかなりゆがめられる。
11の口縁端部は、ナデ調整により丸く仕上げられている。
 - III 口縁が緩やかに外反するもの（挿図131—1～7、図版44）
1・5～8は、内面に斜行沈線を施し、2には、絡条体压痕がみられる。2・6の外面には刺突が施され、7には、内面の刺突及び円孔が認められる。5は、内面にも撫糸文が施される。
- IV 口縁が直行するもの（挿図131—8、図版44）
8は内面に斜行沈線を施し、口縁端部に平坦な面をもつ。
- ④ 0段ミ捺り・文様が密なもの
- I 口縁が外反し端部が肥厚するもの（挿図131—9、図版44）
9の内面には幅の広い斜行沈線を施す。
 - II 口縁が外反するもの（挿図131—10～12、挿図132—1～4、図版44—4・45）
挿図131—11・12、挿図132—1・3は、内面に斜行沈線を施し、挿図131—10、挿図132—2・4には絡条体压痕がみられる。また、挿図132—1の口縁下には2条の沈線がめぐる。
 - III 口縁がほぼ直行するもの（挿図132—5、図版45）
- ⑤ 1段R捺り・文様が粗なもの（挿図132—6～8、図版34—3・45）
7の内面には斜行沈線が施される。8は脛部片であり、その特徴を十分に把握できないが、内面に横方向の沈線が認められる。
- ⑥ 1段R捺り・文様が密なもの（挿図133—1～3、図版45）
1の口縁部内面には、斜行沈線が施される。1・2の内面には条痕が認められる。
- ⑦ 1段L捺り・文様が粗なもの（挿図133—4、図版45）
4は脛部片であり、その全容は不明である。
- ⑧ 1段L捺り・文様が密なもの（挿図133—5～7、図版45）
5の口縁内面には絡条体压痕が、7には斜行沈線がみられる。いずれも外反する口縁を有する。

C種 異方向に施文するもの

- ① 0段r捺り・文様が粗なもの（挿図133—8、図版45）
8は口縁が外反し、端部を粗く仕上げる。口縁内面には絡条体压痕が認められる。
- ② 0段r捺り・文様が密なもの（挿図133—9、図版45）
9の内面には条痕が認められる。
- ③ 0段ミ捺り・文様が粗なもの（挿図133—10～18、図版45）

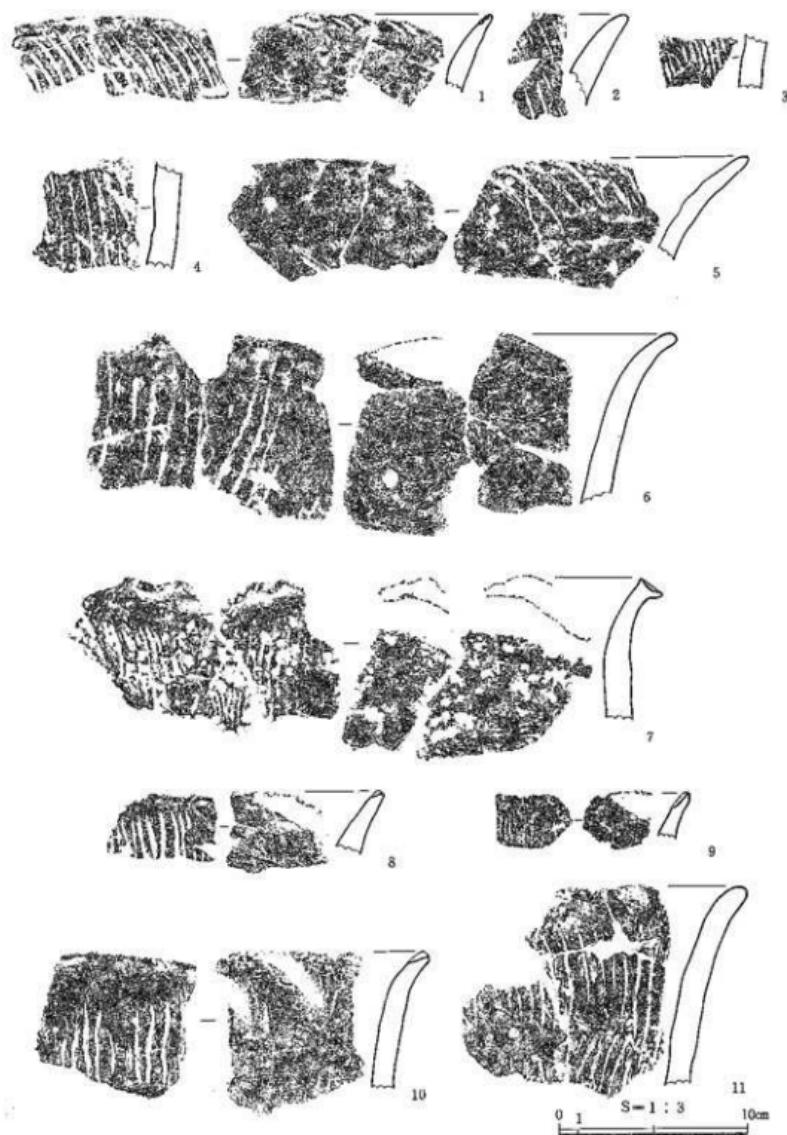
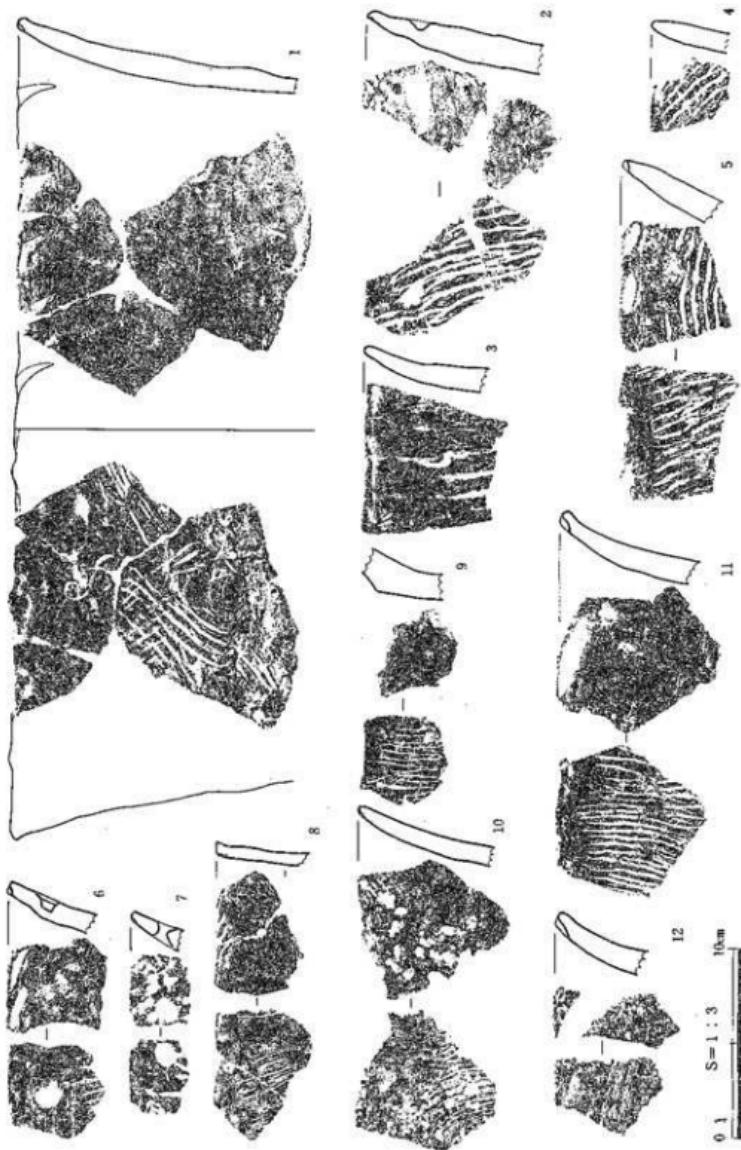


图130 II 紧 A 种遗物实测图

插图131 I带A组遗物实测图



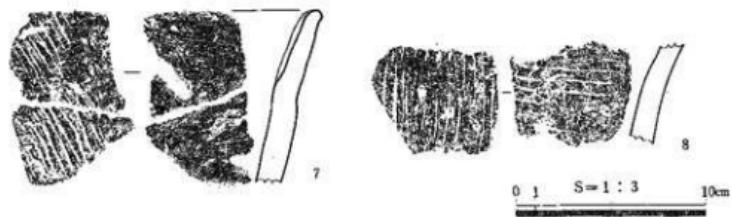
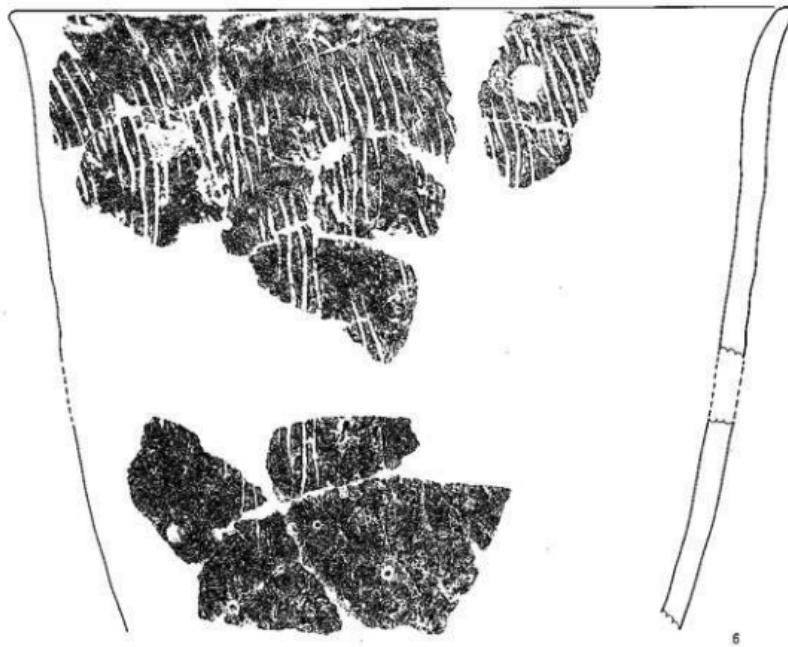


插圖132 II類A種遺物測量圖

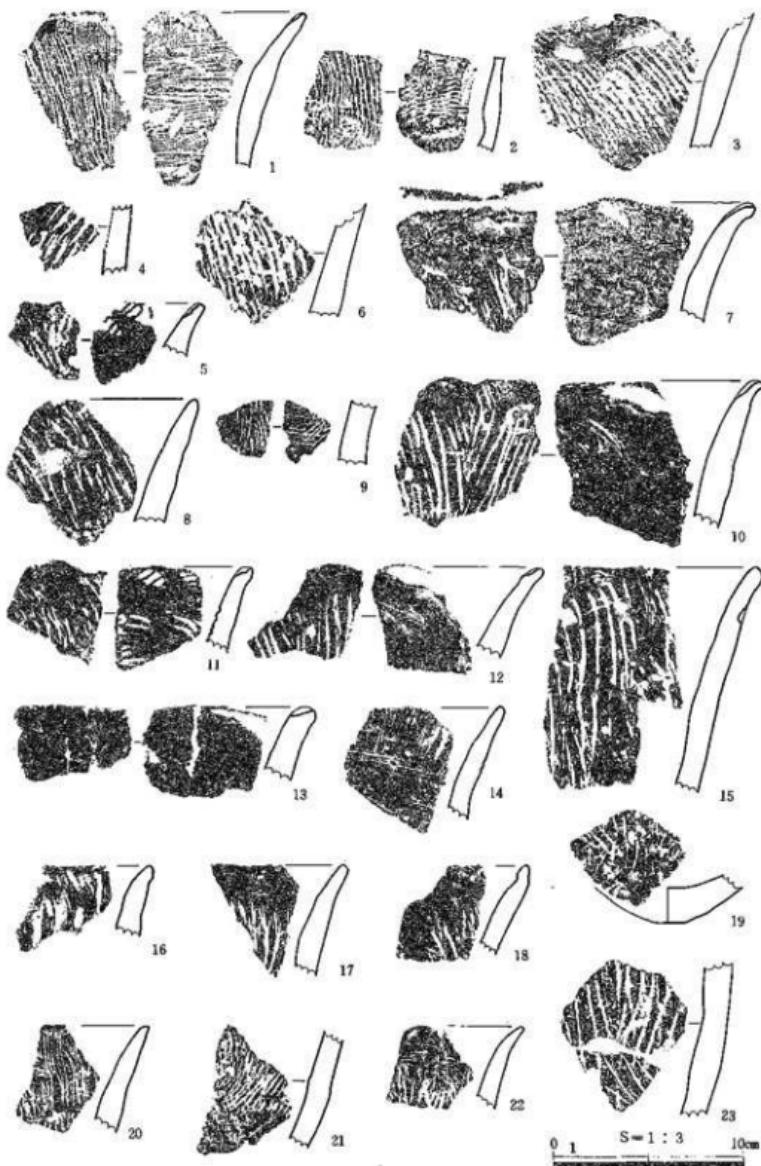


插圖133 II類A種・C種遺物実測図

10・12・13は口縁内面に斜行沈線を施す。11には結条体压痕が認められ、その下位に条線が施される。15は尖底部破片である。やや鈍い尖底である。

- ④ 0段L撚り・文様が密なもの（挿図133—20～22、図版45）

20・22は外反する口縁を有する。21は胴部片である。

- ⑤ 1段R撚り・文様が粗なもの（挿図133—23、図版45）

23は胴部片であり、その全容は不明である。

B種 網目状に施文するもの

撚紐の撚りに加えて、網目の大きさ（棒状原体に撚紐を密に巻くか、粗く巻くかなどの巻きつけ方の違いによって生じる現象）を4段階に区分した。

- ① 網目が小型のもの

- I 口縁が外反するもの（挿図134—1・2、図版46）

1の口縁内面には斜行沈線が施され、それにより口縁端部はかなりゆがめられる。

- II 口縁が緩やかに外反するもの（挿図134—3～5、図版46）

- ② 網目が若干小型のもの（挿図134—6～11、図版46）

6に施される撚糸文の条の切り合いを観察すると、一方の条が他方の条を切るという関係が連続せず、相互に切ったり切られたりという関係が認められる。7は、左傾する条の間隔に比べ、他方の条の間隔が極めて密である。これは、棒状原体に撚紐を巻きつける際最初は密に巻き、その後を粗に巻いたものである。9・10は内外面に施文がみられ、9の口縁下には沈線をめぐらす。

- ③ 網目が若干大型のもの（挿図134—12・13、挿図135—1～5、図版46—2・3）

挿図134—13は外反しその内面に斜行沈線を施す。挿図135—1～3も外反し、1の内面には斜行沈線が認められる。挿図135—4には刺突がみられ、5は尖底部片である。

- ④ 網目が大型のもの（挿図135—6・7、図版46）

6・7は外反し、その内面に斜行沈線を施す。7の口縁下には沈線をめぐらす。

- ⑤ 網目が小型で網目の形状が方形を呈するもの（挿図135—9、図版46）

9の網目の大きさは極めて小さく、その形状も他とは異なり方形を呈する。胴部の小破片である為土器の特徴を捉えるには至らない。

- ⑥ 0段r撚りのもの（挿図135—8、図版46）

胴部片でありその詳細は不明である。また、この類に含まれる破片はごく少數である。

- ⑦ 1段R撚りのもの（挿図135—11～17、図版46）

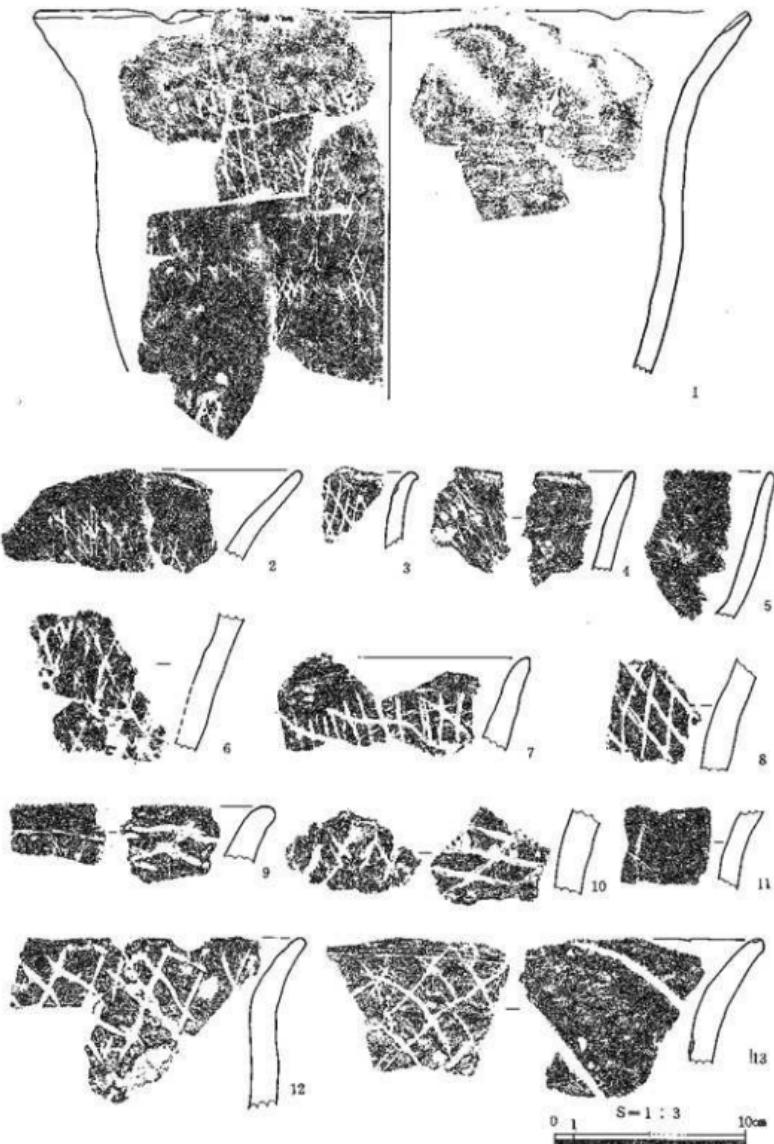
11は口縁片で外反し、端部には刻みが施される。

- ⑧ 1段R撚り・網目が方形を呈するもの（挿図135、図版46）

18は胴部片であるが、11～17に比べ、その網目が方形に近い。

- ⑨ 1段L撚りのもの（挿図135—18、図版46）

10は口縁片である。外反し、その内面に斜行沈線が施される。



插図134 I類B種遺物実測図



插图135 II类石器实物图

以上Ⅱ類（撚糸文土器）について記述したが、その特徴として言えることは、まず、0段の撚りのものが圧倒的多数を占めることである。斜行沈線については後述するが、Ⅰ類（押型文土器）B種（楕円文）C種（菱形文）の中にも本類と類似するものが認められる。本遺跡では、その出土状況からⅡ類の土器と他類の土器を層位的に区分できなかったが、現在のところ、Ⅱ類の土器はⅠ類の土器に若干先行するものとして捉えられる。

III類 繩文土器（挿図136—1～10、図版47）

- ① 内外面L—Rの繩文を施すもの
1・2とも横方向に原体を回転して施文する。胎土中に纖維を含む。
- ② 内外面Rの繩文を施すもの
3は横方向に施文するもので、胎土中に纖維を少量含む。
- ③ 沈線と繩文が施されるもの
4は内外面L—Rの繩文が施され、外面については沈線により繩文の施文範囲が画されている。口縁端部にも繩文施文がみられる。胎土中に纖維は含まない。
- ④ 外面L—Rの繩文を施すもの
5は緩やかに外反する口縁部の破片であるが、小片であり、その特徴を充分に知り得ないが、横方向に施文したものであることは確認できる。6は胴部片で斜方向の施文が行なわれている。5・6とも胎土中に纖維を含む。
- ⑤ 外面繩文・内面条痕が施されるもの
7・8とも胴部の小破片であり、その特徴の詳細は不明であるが、ともにL—Rの繩文施文である。7は纖維を含まず、8は少量纖維を含む。
- ⑥ 口縁端部に綫衫状の刻みを施すもの
9はL—Rの繩文を斜め方向に回転施文するものである。胎土中に纖維を含まない。
- ⑦ 半楕円式土器に類似するもの
鹿児島県平野貝塚出土の土器を標準として名付けられたものに類似する。口縁部は肥厚し端部には刻みを施し、波状口縁となっている。胴部にはL—Rの結節繩文を縱に施す。内面はナデ調整である。

IV類 沈線文土器

- ① 斜行する沈線が交差して格子状を呈するもの（挿図137—1、図版47）
1は、口縁が比較的大きく外反し厚手である。口縁内面には幅広の斜行沈線が施される。その斜行沈線が口縁端部にまで及びその為、口縁端部に若干のゆがみが生じている。口径は50cmで器形はかなり大型のものと推察でき、厚手である。この土器の特徴は、Ⅰ類（押型文土器）B種（楕円文）②—a—Ⅲ（挿図120・121）と類似する。
- ② 沈線が垂下するもの（挿図137—2～4、図版47）
いずれも小片であり、その特徴を十分に把握できないが、その文様構成は1本引きの沈線

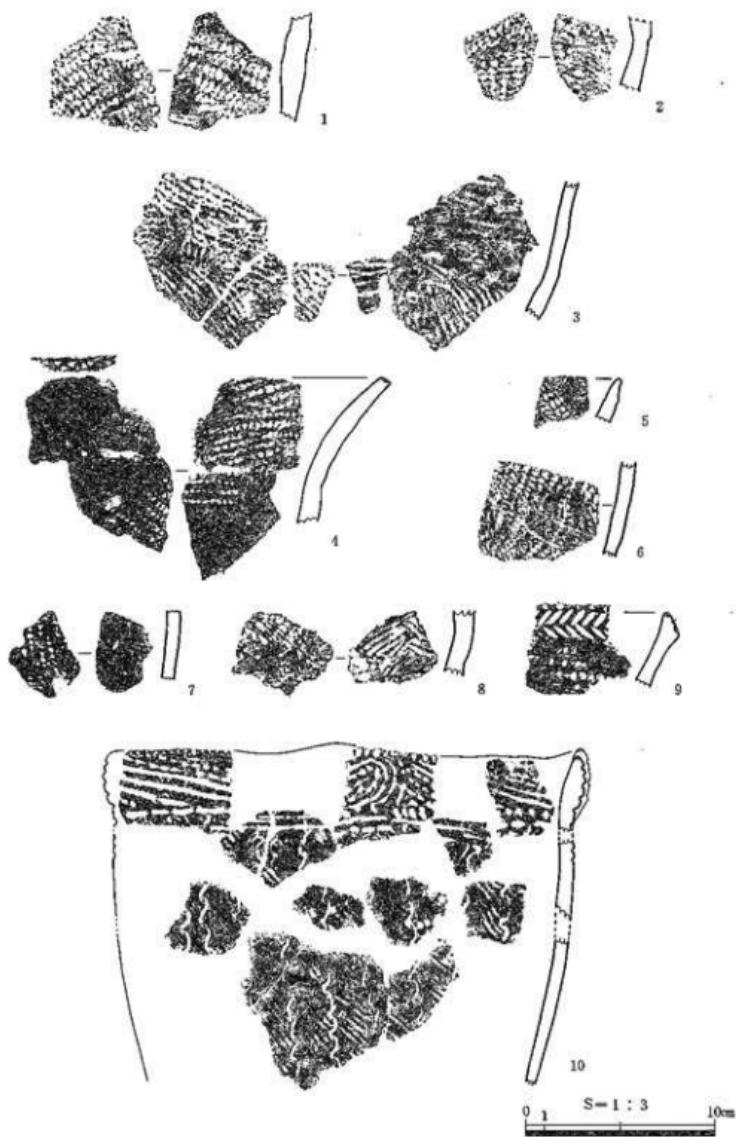


插圖136 Ⅲ類遺物實測圖

が垂下するものと考えられる。2・3とも口縁は外反し、2は端部に刻みを施し、3はやや厚手である。4は胴部片で、その左下隅に横方向の沈線が認められる。

③ 条線を施すもの（櫛状工具による施文）（挿図137—5～7、図版48）

5・6は胴部片であり、内外面に条線を施す。5には円孔がみられる。7は外面に条線を施し、口縁部内面には斜行沈線が認められる。

④ 竹管工具により施文するもの

a 不規則に施文するもの（挿図137—8～15、図版48）

8・9は内外面に沈線が施され、口縁端部に平坦面をもつ。8の端部には貝殻による施文、9の端部には刻みを施す。10は、内面に斜行沈線がみられる。12の内面には貝殻の背面押圧施文が行なわれる。

b 曲線的に文様を施すもの

⑦ 2条が明瞭なもの（挿図138—1～8、図版48—3・4）

7は内面のみ、8は外面のみに施文され、他は内外面に施文がみられる。いずれも口縁は外反する。

① 多くの条が認められるもの（挿図138—9～12、挿図139—1～5、図版49—1・2）

挿図138—9・挿図139—1の口縁端部には刻みを施す。挿図139—1・2は内面と外面の施文に、施文原体の使い分けが行なわれ、外面の施文は直線的なものである。

⑤ 隆帯と押し引き沈線を有し斜位に沈線を施すもの（挿図139—6～10・15、図版49—3・4）

6～8は同一個体の破片と考えられ、文様は左から右方向への押し引き沈線、隆帯、斜位の沈線で構成される。隆帯は縦に施されている。9・10・15は小片であるが、押し引き沈線と斜位に施す沈線、あるいは縦位の隆帯などから同一グループとして捉える。

⑥ 隆帯と細い押し引き沈線を施すもの（挿図139—11～13、図版49）

11～13は同一個体とおもわれる。11は口縁片であり、端部に刻みが施され、口縁下に2条の隆帯をもつ。隆帯の下位には細い押し引き沈線がみられる。12・13の胴部片によって、その押し引き沈線が数条のまとまりをもちながら重なり合うことを知ることができる。

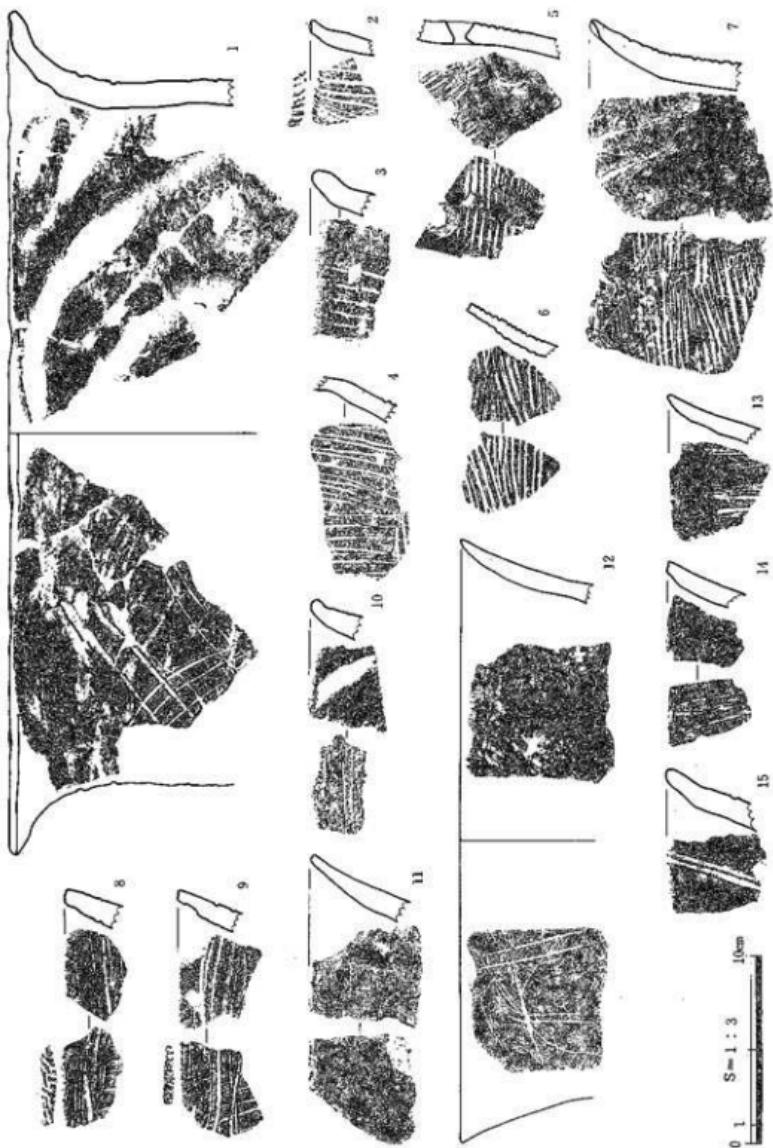
⑦ 隆帯と幅広の押し引き沈線を施すもの（挿図139—14・16、図版49）

⑧ 押し引き沈線と繩文を施すもの（挿図139—17、図版49）

⑨ 隆帯と幅広の沈線を施すもの（挿図139—18、図版49）

以上が沈線文土器についての分類であるが、各分類の中でも記述した通り、上福万遺跡A区出土の他類の土器との類似もみられ、その相関関係を推測することができる。また、分類①～④と⑤～⑨は、その型式的特徴によって一線で画されるものである。⑤～⑨については、前期（曾畠式平行）として捉える方が良いかとも考えられるが、早期（田戸上層式）として捉えられる可能性も残しており、ここでは早期として分類しておく。

插图137 *M*型遗物实测图



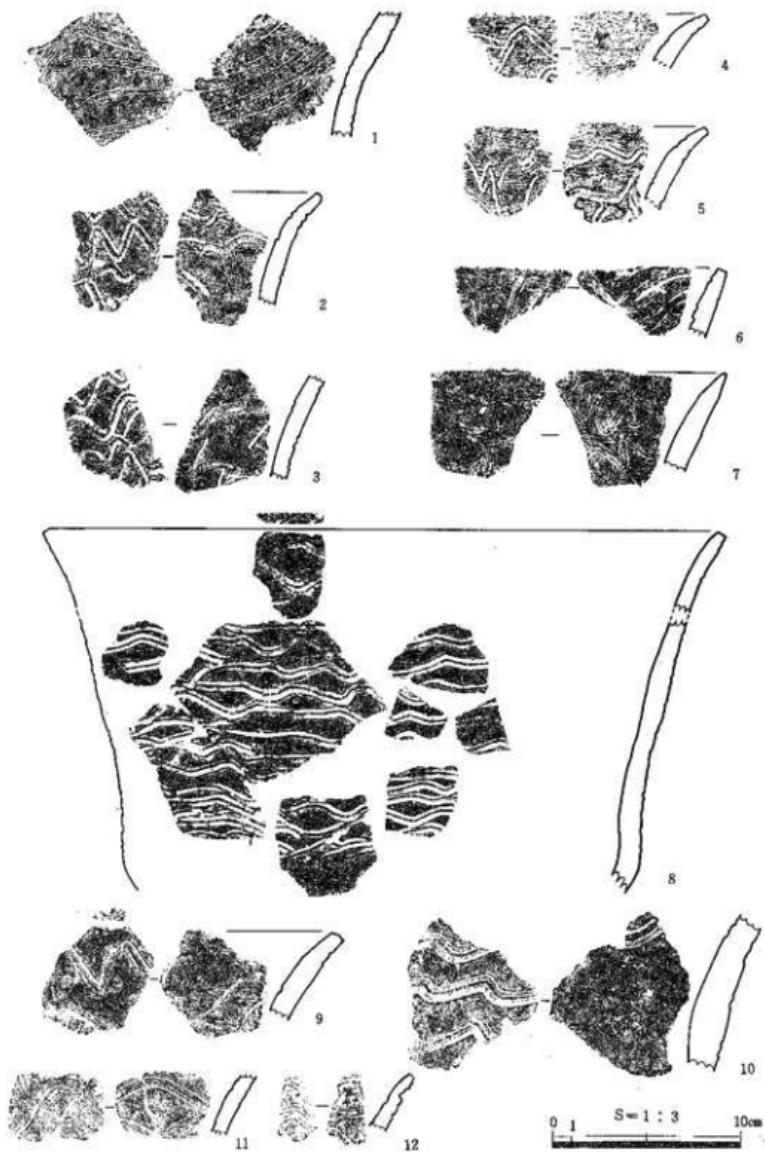


插图138 IV系遗物实测图

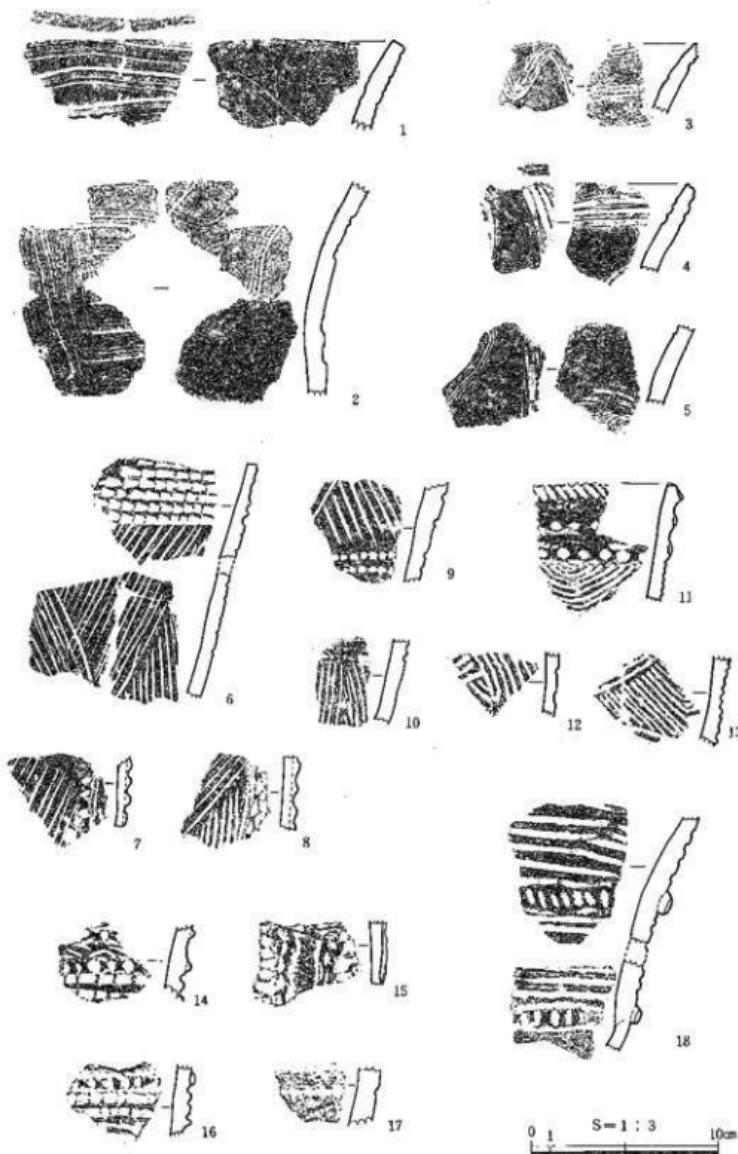


插图139 N.颈造物实测图

V類 貝殻文土器

- ① 背面押圧（ハイ貝によるものと考えられる）
a 腹縁付近の押圧（挿図140—1～4・9、図版50）
1～3は、口縁端部にもおそらく同一原体による施文を行ない、4の端部には線刻状の刻みが施される。1の内面にはナデ調整が施され、2～4は内面にも、同一原体により施文する。9は外面に円孔がみられ、内面はナデ調整である。
b 簪頂付近の押圧（挿図140—5・6、図版50）
5の端部には貝殻圧痕がみられる。6は内外面とも、同一原体による施文が行なわれる。
- ② 背面条痕施文（ハイ貝によるものと考えられる）（挿図140—7、図版50）
ハイ貝の背面を器面に押圧し、筋と直交する方向に押し引いたものである。ところどころに①aと同様な圧痕も認められることから、ハイ貝によるものと確認した。また、内面にも同様の施文がみられる。
- ③ 腹縁条痕施文（サルボウ貝によるものと考えられる）（挿図140—8・9、図版50）
8の外面は、サルボウ貝による施文と考えられる。残存する破片の上位には文様が粗く、下位には密に施文される。内面もそれに対応し、上位にはナデ調整、下位にはおそらく竹管工具によると思われる削痕が認められる。
- ④ 腹縁連続圧痕文（サルボウ貝とヤマトシジミ？によるもの）（挿図140—10・11、図版50）
10はサルボウ貝の背面を器面に向け、腹縁を少しずつずらしながら押圧してハの字状の施文を行なったものと考える。11の上位の施文は10と同様であるが、下位の施文はヤマトシジミのように腹縁に刻みを有しない貝によるものである。

(註6)
貝殻文土器については、実験の結果、施文原体として最も妥当と思われるものの名称をあげた。また、先述したとおり、IV類（沈線文）土器の中に貝殻施文が認められることから、IV類とV類の関連性が窺われる。

VI類 刺突文土器

- 刺突文土器については、施文原体・施文方法及び文様構成に着目し、①～⑦に分類した。
- ① 丸い棒状原体による刺突（挿図141—1・2、図版50—4）
1・2は、刺突された凹部がU字状に近く、その施文具として先端の丸い棒状原体が考えられる。刺突の深さは3.5mm程度であり、1は胎土中に纖維を微量、2は少量含む。
- ② 竹管による刺突（挿図141—3・4、図版50—4）
3・4の刺突箇所はドーナツ状を呈し、粘土の移動等もみられず、竹管で横位に刺突を施したものと思われる。いずれも小片であり全容を知るまでは至らないが、3は、2列以上の刺突で文様が構成されている。刺突の深さは比較的浅く、1.5mm程度で、3・4とも胎土中に纖維を微量含む。
- ③ 半截竹管による刺突（挿図141—5・6、図版50—4）

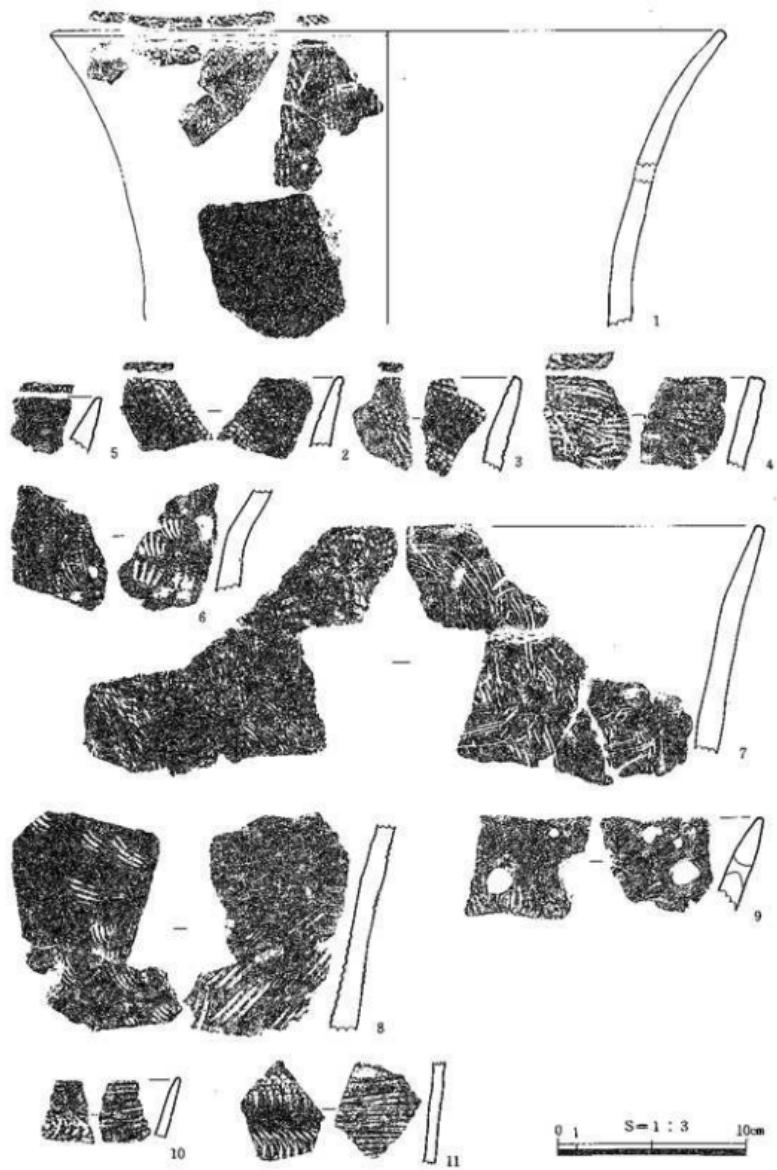
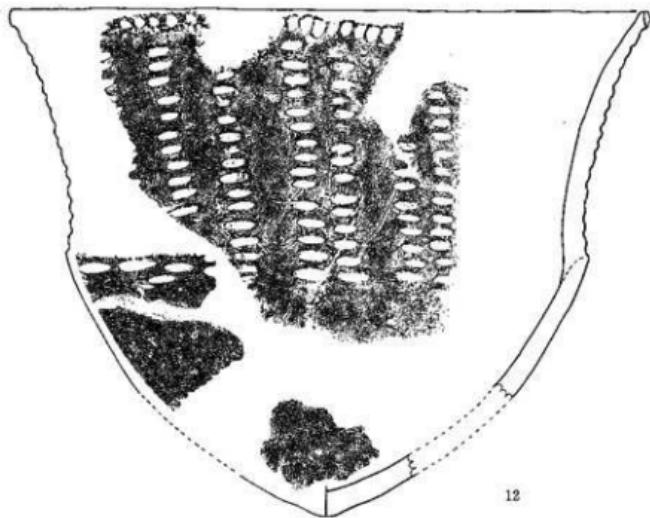


图140 V型墓葬物实测图



0 1 S = 1 : 3 10cm

插図141 VI類遺物実測図

5・6は、刺突部の粘土の移動が顕著であり、且つ、三日月形を呈する箇所がみられることから、半截竹管を用い刺突時に回転を加えたものと考えられる。刺突の深さは、浅いもので2.5mm程度で、ほとんど5~7mm程度である。

5・6とも胎土中に纖維を少量含む。

④ 細い棒状原体による斜め方向の刺突（挿図141-7・8、図版51-1）

7・8の刺突部は、比較的深く、断面形状はV字状を呈する。それらのことから施文具として先端の尖った細い棒状原体を考える。また、右から左へ（口縁部を上としてみる）斜め方向に刺突を施す。刺突の深さは3~5mm程度である。

7・8とも胎土中に纖維を微量含む。

⑤ 角を有する棒状原体による刺突（挿図141-9、図版51-1）

9の刺突部は平面矩形で、断面形状はやや鈍いV字状を呈する。刺突部での粘土の移動は認められず、原体の形を容易に推測できる。刺突の深さは3~4mmで、胎土中に纖維を少量含む。

⑥ 棒状原体による刺突と沈線を施すもの（挿図141-10・11、図版51-1）

10・11は刺突と沈線とで文様を構成し、口縁端部に刻みを施す。刺突の深さは3~4mmで、胎土中に纖維を微量含む。

⑦ 縦位に列をなす刺突を施すもの（挿図141-12、図版51）

施文原体は不明であるが、刺突部は平面橢円形で凹部は舟底状である。刺突部の左側に粘土のしづ寄せが認められることから、刺突時に右から左へ力が加えられたことがわかる。

刺突部の深さは3~4mm程度である。

これらの刺突文土器のうち、1~11はいずれも小片でその全容を知り得ないが、口縁は緩やかに外反し、胎土は比較的緻密でその中に纖維はあまり混在しない。12は復元が良好で十分その特徴を見ることが可能である。器形的には、口縁は外反し胴部に屈曲をもつ。屈曲を境として下部には文様が施されない。これはI類（押型文土器）A種（山形文土器）①の土器（挿図117-1・2）の特徴と類似する。

VII類 無文土器

I 口縁が屈曲気味に外反するもの（挿図142-1~3、図版51）

2・3の口縁端部には刻みが施される。1の端部はナデ調整で仕上げられる。

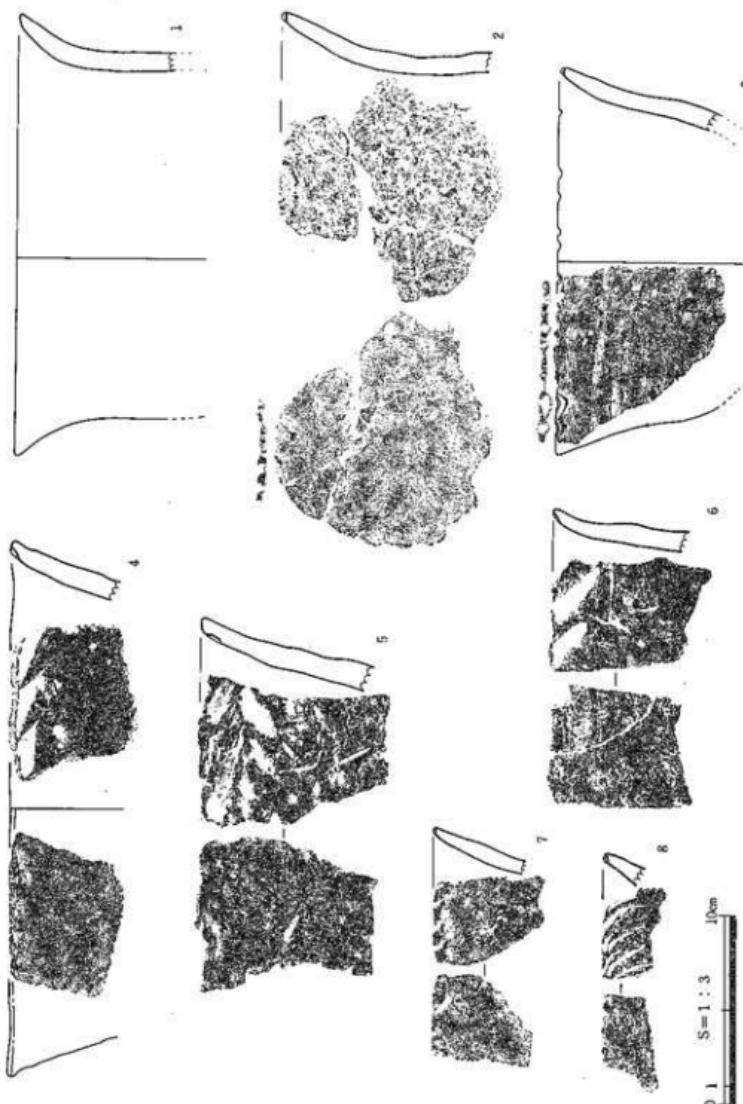
II 口縁が外反するもの（挿図142-4~8・挿図143-1~6、図版51-4・52-1）

挿図142-4~8・挿図143-2は、いずれも内面に斜行沈線を施す。挿図143-5は口縁端部に、6は端部外面に刻みを施す。

III 口縁が緩やかに外反するもの（挿図143-7~10、図版52）

7の口縁端部には刻みが、8の外面には刺突が施される。

插图142 VI野生物类测图



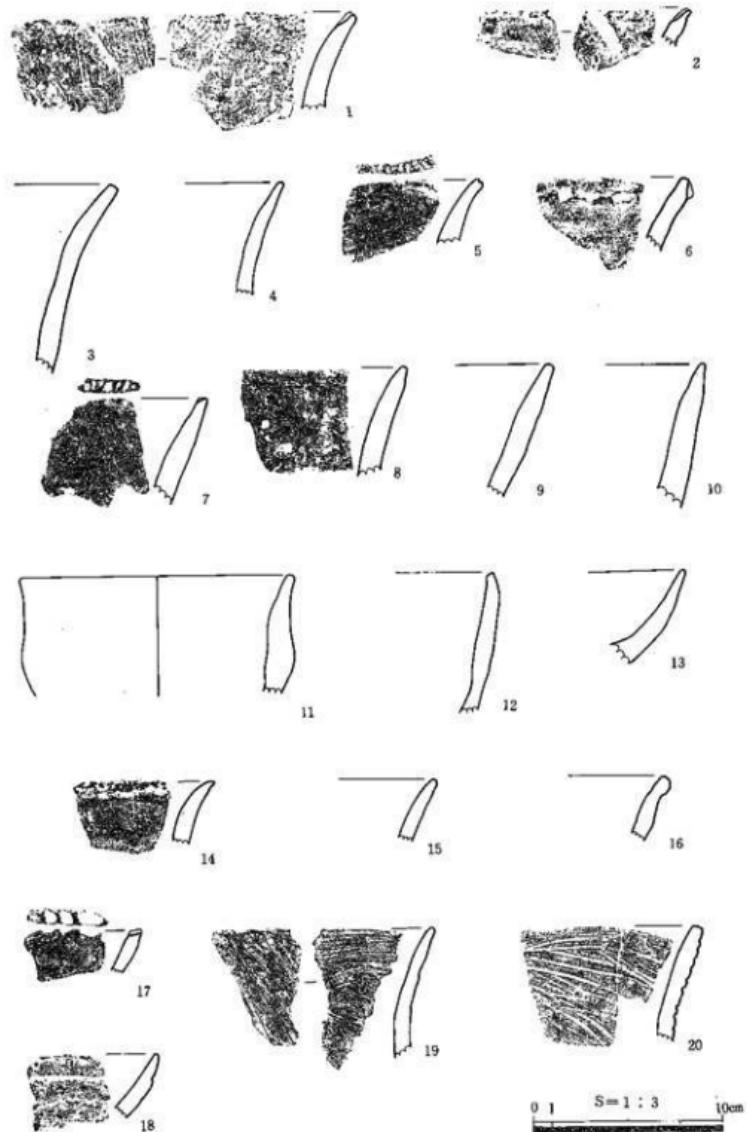


插图143 VI颈造物实测图

- IV 口縁が小型のもの（挿図143—11～13、図版52）
 11は復元口径15cm程度の浅鉢であり、端部はナデ調整により丸く仕上げられる。
 12・13は内向きに立ちあがる口縁を有する。
- V 薄手で口縁が外反するもの（挿図143—14～16、図版52）
 14・15は口縁端部を比較的薄く仕上げるが、16は肥厚している。
- VI 薄手で口縁端部に刻みを施すもの（挿図143—17、図版52）
 17の端部は平坦に仕上げられ、そこに比較的深い刻みが施される。
- VII 口縁は内向きに立ちあがり、外面に押し引き沈線を施す（挿図143—18、図版52）
- VIII 条痕系土器（挿図143—19・20、図版52）
 19は内外面に条痕がみられ、20は外面に条痕、内面にはナデ調整が認められる。

V類 尖底

- I 立ちあがりの傾斜が急で、底部最下部に至る箇所の屈曲が明瞭なもの（挿図144—1・2、図版52）
- II 立ちあがりの傾斜が急なもの（挿図144—3・4、図版52）
- III 立ちあがりの傾斜が比較的緩やかなもの（挿図144—5～7、図版52）
- IV 立ちあがりの傾斜が比較的緩やかで底部最下部に至る箇所の屈曲が明瞭なもの（挿図144—8～10）図版53）
- V 立ちあがりの傾斜が緩やかで底部最下部に至る箇所の屈曲が明瞭なもの（挿図144—11～13、図版53）

尖底部の破片に関しては、どの底部片がどの土器に対応するものなのか確証を得られなかった。今後更に検討を加えてゆきたい。

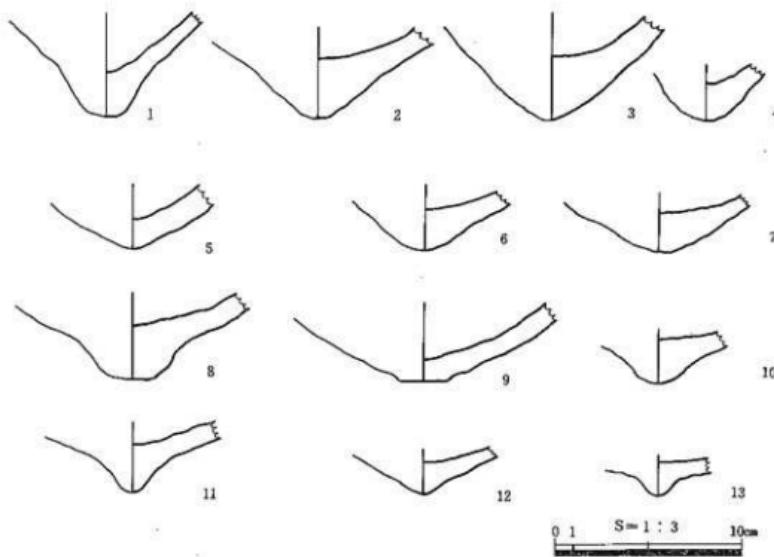
小 結

内面斜行沈線について（挿表5・6、図版54～57）

前述した通り、本遺跡出土の土器の中には、内面に斜行沈線を施すものが多くみられた。施文の目的は外面の文様と同様に装飾的效果をねらったものと考えられるが、外面の文様に對応してそれぞれの土器に施される斜行沈線の特徴を確認してみたい。^(註7)

まず、上福万遺跡出土の縄文時代早期の土器に施される斜行沈線をその形状により7つに分類した。

- ① 断面U字状を呈し沈線間に平坦面を有しない（波トタン板状）
- ② 断面～状を呈しほぼ口縁部に沿って施す
- ③ 断面L状を呈し沈線幅（沈線自体の幅）が狭い
- ④ 断面U字状を呈し沈線間に平凹面を有する
- ⑤ 断面V状を呈し沈線幅が広い
- ⑥ 断面U字状を呈し沈線幅・間隔が狭い



挿図144 頭類遺物実測図

以上の分類の上にたって各種の土器と斜行沈線の相関を示したのが挿表9である。(但し小破片のものが多く、斜行沈線を施す範囲・間隔の不明なものについては省いた)。それをもとに各類の土器について記述していく。

I類（押型文土器）

斜行沈線タイプ①（以下①と略す）が認められるのはI類のみであり、また、斜行沈線の間隔・施す範囲において、その数値が他類を大きく上回る土器（I類C種②）が存在するのも本類の大きな特徴である。I類は、本遺跡出土の土器の斜行沈線のバラエティなるものをその内に全て包含している。

II類（燃糸文土器）

斜行沈線タイプ②（以下②と略す）はII類のみに認められるが、これはタイプ④と同様な手法で施されるものである。II類については、斜行沈線の間隔・施す範囲の不明なもの^(注8)がいくつかあるが、大体において、I類に比べその数値が下回るのが特徴である。

IV類（沈線文土器）

IV類の土器で斜行沈線が施されるのは3片のみであるが、うち1片は間隔・施す範囲ともその数値が大きく、土器のプロポーションから考えて、I類の土器と強い関連性をもつと言えよう。

V類（無文土器）

V類の土器は、全般に内面斜行沈線の間隔・施す範囲を示す数値が小さく、その多様さはII類の土器に類似する。

以上のように、各類の土器には内面斜行沈線の多様さが見受けられる。これを整理すると、従来、粗大化する押型文土器に先行すると考えられているII類（撚糸文土器）については、内面斜行沈線の間隔・施す範囲を示す数値が比較的小さい、I類（押型文土器）については、II類には見られなかったタイプの内面斜行沈線が加わり、特にI類C種②（大菱形文土器）に至っては、間隔・施す範囲を示す数値が他を大きく上回るもののが出現する。IV類（沈線文土器）には、I類に類似する内面斜行沈線がみられ、V類（無文土器）には、II類に類似するものが認められる。これらの内面斜行沈線の相違は時間的変化によるものと考えるが、本書作成における諸々の制約により残された問題も多く決断はさておく。

破入遺跡（福井県）・先荊貝塚（愛知県）の報告では、内面斜行沈線について「楕円文より菱形文を施す土器の方が比較的巾（間隔）が広く深いものが多い傾向がある」との記述がみられる。上福万遺跡では、巾（間隔）についてはそれと同様なことが言えながらも、深さについては、むしろ楕円文を施す土器の方により深い内面斜行沈線を認めることができた。

縦年の位置づけ

上福万遺跡A区出土の縄文式土器は、その文様・形態が多種にわたり、出土量も莫大であった。これらの土器を既知の型式に対応させたのが挿表6である。

本遺跡の主体をなす土器群は、大きさは高山寺式に併行するものとし、それを古段階（押型文と粗い撚糸文）と新段階（粗大化する押型文）に区分して捉えることができよう。（層位的には未確認である。）また、より古い型式的特徴をもつ押型文土器も出土しており、黄島式・細久保式併行のものとして捉えられよう。沈線文・貝殻文・刺突文土器については、器厚・胎土・器形等を見ても高山寺式併行の土器群とは一線を画して捉えられる。また、沈線文土器の中に數例認められた内面斜行沈線を手がかりに押型文土器との関連が推測でき、沈線文土器と貝殻文土器との観察により、同一個体に双方の施文具を用いる例が見られることからその相關関係を知ることができる。縄文土器については、2例ほど胎土中にビスケット状に繊維を含むものがあり、それは菱根遺跡出土のものに併行すると考えられるが、それ以外のものは時期的に古いためと考えたい。しかしながら、これらの土器群については、あくまでも可能性を提示するだけで、今後、他遺跡でその層位が確認されるのを待たねばならない。

上福万遺跡A区の調査において出土遺物のDOT-MAPを作成したが、なんらかの規則性を見出すことはできなかった。また、早期～前期の土器が層位的に区分できない状態で出土しており、土器の新旧関係・共伴関係を言及する際、既知の型式に頼らざるを得なかった。今後更に検討を加えたい。



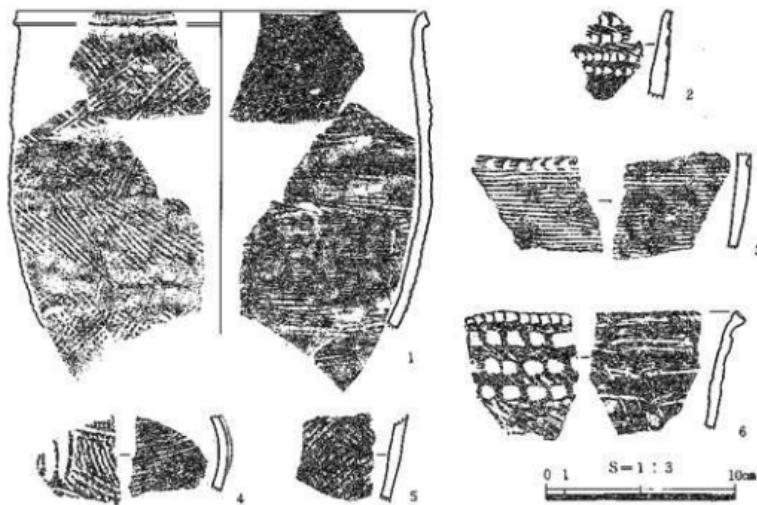
挿表5 内面斜行沈線観察詳細

中部	近畿	山陽	山陰	上福万遺跡	九州
細久保	大川	黄島	井後草里遺跡	押型文土器 (先行する土器群) 撚糸文土器	田村
	葛籠尾崎Ⅱ				
	高山寺(古)				
	高山寺(新)		塚田遺跡	押型文土器 沈線文土器 貝殻文土器 刺突文土器	手向山 平 椿
	破入				
	穂谷				
			菱根遺跡	繩文土器	
			日久美遺跡		

挿表6 上福万遺跡出土縄文式土器編年的位置づけ

(3) 前期の土器 (挿図145、図版53)

1は、内外面に条痕が認められる。口縁は、内向きに立ちあがり、端部は厚く仕上げる。2は、半截竹管の外側を器面に向かって、3は、内側を器面に向けて、それぞれ刺突を施したものである。また、3の内外面には、条痕が認められる。4は、貼り付け突帯をもち、それによって、細い竹管工具による刺突の施文範囲を区画していることが窺える。内面には、条痕がみられる。5は、異方向の縄文の重なり合いがみられ、内面は、ナデ調整である。6は、口縁下に押し引き沈線を施し、端部には、竹管工具の外側を器面に向けた刺突を連続的に施す。内面には、条痕が認められる。



挿図145 前期遺物実測図

(4) 後期の土器 (挿図146、図版53)

4は、口縁下の貼り付け突帯に刻みを施し、1は、口縁部外面に縄文を施す。2・3は、沈線と縄文を施しているが、いずれも小片である。



挿図146 後期遺物実測図

- 註1 「縄文文化の研究3 縄文土器I」 雄山閣 1982
片岡翠氏は、その論の中で勝沢式土器と高山寺土器の中間に位置づけられる内容のものを便宜上細久保式土器とし、他遺跡出土の土器との比較検討によってその型式の細分を試みておられる。
- 本書もその見解に立ち、細久保式土器の名称を用いた。
- 註2 斜行沈縫が施される最下端から、口縁端部に直交するようにその長さを測った。その長さをもって、斜行沈縫の施される範囲とした。
- 註3 「田辺市 高山寺貝塚発掘調査概要」 1983年 帝塚山考古学研究所
- 註4 棒状原体に撓紐を巻きつける際、2本の撓紐を用い、一方の紐を上にして巻きつけ、次に他方の紐を上にして交差させた結果、生じるものである。
- 註5 IV類⑤の土器は、九州との関わりで考えると曾畠式平行のものとして捉えられそうである。しかし、関東の山戸上磨式との対応も考えられる。
- 註6 鳥取大学教育学部地学研究室 赤木三郎教授の協力を得て実験を行なった。実験に用いた貝は全て鳥取県東伯郡羽合町長瀬高浜遺跡下層における採取物である。
- 註7 「勝山市文化財調査報告Ⅱ」 破入遺跡 福井県勝山市淹波 破入遺跡発掘調査報告 1977 勝山市教育委員会
破入遺跡の報告の中でもふれられているように「沈縫の形状によってはさして胎土の強化にもならないものがあり……外縁の文様と同時に効果をねらって各種の沈縫を出現せしめたものと推測される…」という傾向が上福万遺跡出土の土器についても言える。
- 註8 本報告においては言及できなかったが、口縁部内面に施す結果条件Ⅱ類の土器の中に最も多く認められた。これも大きな特徴として加えることができる。
- 註9 推図137-1、II縁部が強く屈曲しながら外反する形態はI類の土器の代表的特徴の一つである。
- 註10 本遺跡において各類の上縁の新旧関係は層位的に確認できなかったこと・これまでの型式編年の中に確実に収められない土器（遺物類）が存在すること・報告書作成における時間的制約により出土遺物全破片について斜行沈縫その他の検討が行なえなかったこと等々の大きな問題を残す。
- 註11 推図136-1～3に含まれる繊維は、土器片断面にビスケット状に認められるものである。本報告書の中で言う繊維は、植物繊維全てのことを表現するが、これらの土器に含まれるものとは若干ニュアンスが異なる。

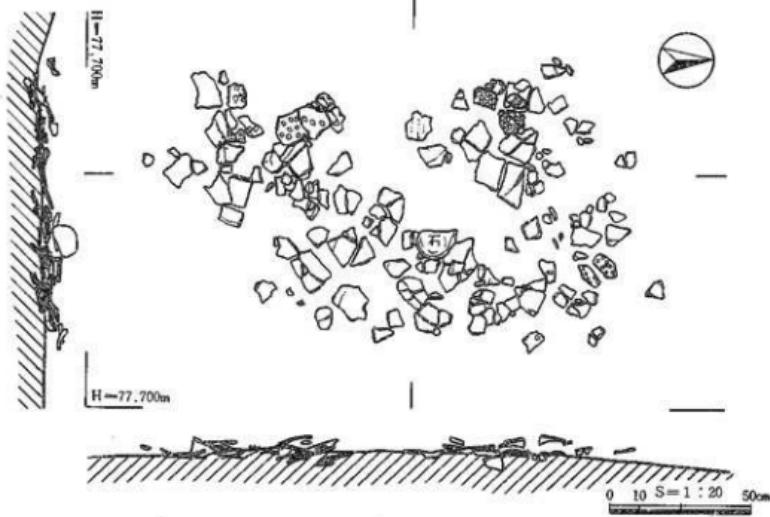


图147-11 Jiaozhou style pottery fragments found (Figure 127-1)

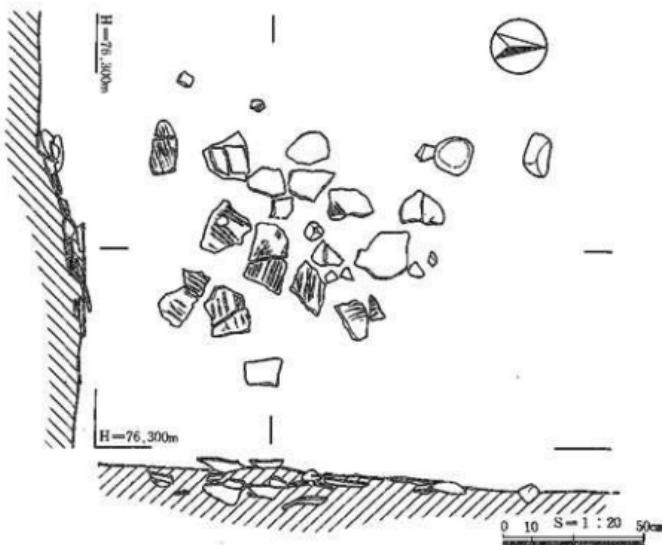
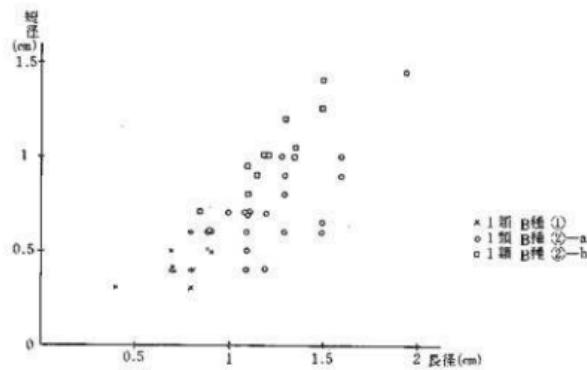
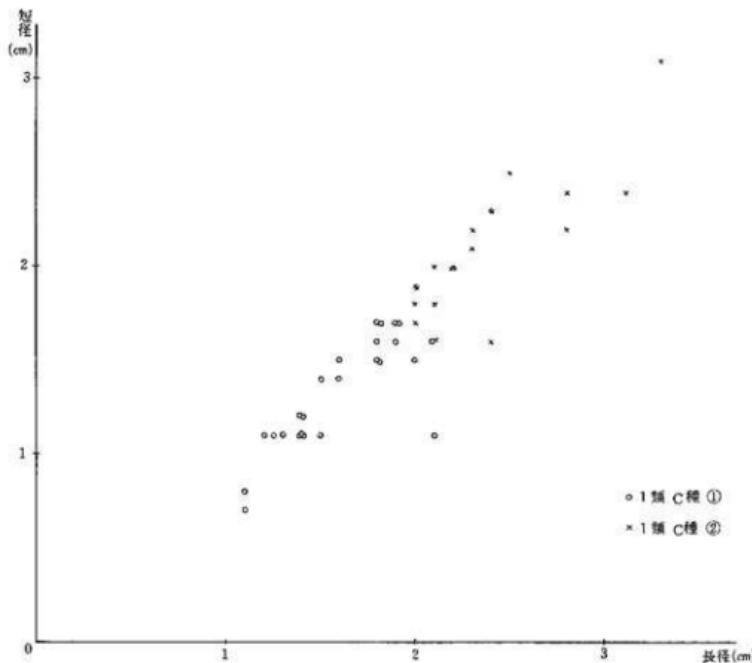


图148-10 Jiaozhou style pottery fragments found (Figure 132-6)



圖表 7 I類 B種押型文相間表



圖表 8 I類 C種押型文相間表

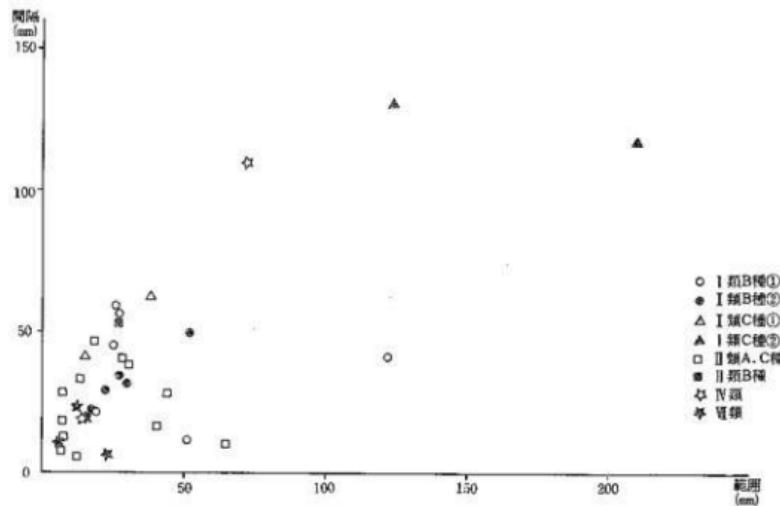


表9 内面斜行沈縁・調文式土器相関表

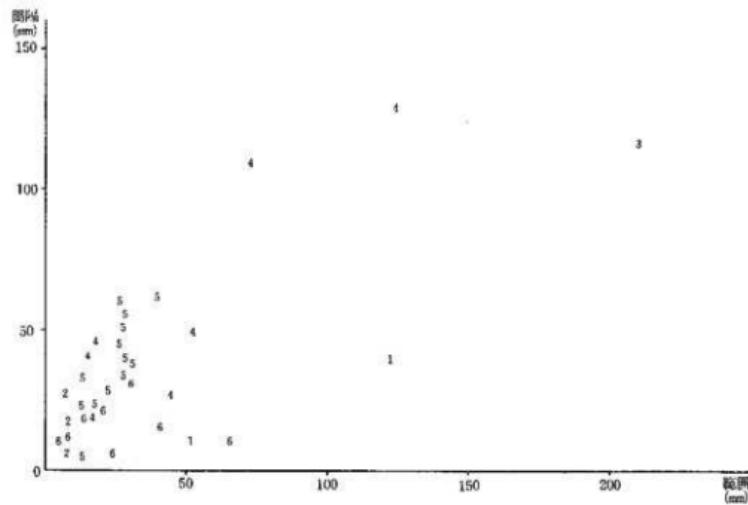


表10 内面斜行沈縁タイプ相関表

擇定!! 上福万造跡 A 区縦文式土器調査
先行する土器群

種別	土器番号	割目	基底方向	施文方向	厚さ	内面状態	内面文様	内面浮き層	内面浮き層の厚さ	縫隙	縫隙の厚さ	縫隙の深さ	取上げ No.
①	1	116	横	横	6mm	—	—	—	—	なし	—	—	315
②	2	6	横	横	5mm	—	—	—	—	なし	—	—	23
③	3	6	横	横	6mm	—	—	—	—	微量	—	—	170
④	4	6	横	横	6mm	—	—	—	—	微量	—	—	4327
⑤	5	6	横	横	8mm	—	—	—	—	微量	—	—	39
⑥	6	6	横	横	6mm	—	—	—	—	微量	—	—	20
⑦	7	6	横	横	7mm	—	—	—	—	微量	—	—	4327
⑧	8	6	横	横	9mm	—	—	—	—	微量	—	—	4323
⑨	9	6	横	横	6mm	—	—	—	—	内面擦り傷有り	—	—	189・226・233
⑩	10	6	横	横	7mm	—	—	—	—	内面擦り傷有り	—	—	239・382・473
⑪	11	6	横	横	5mm	—	—	—	—	内面擦り傷、円孔あり	—	—	99
⑫	12	6	横	横	10mm	—	—	—	—	内面擦り傷、円孔あり	—	—	109
⑬	13	6	横	横	7mm	—	—	—	—	内面擦り傷、円孔あり	—	—	115
⑭	14	6	横	横	9mm	—	—	—	—	内面擦り傷、円孔あり	—	—	2480
⑮	15	6	横	横	8mm	—	—	—	—	微量	—	—	196
⑯	16	6	横	横	7mm	—	—	—	—	微量	—	—	199
⑰	17	6	横	横	6mm	—	—	—	—	微量	—	—	3180
⑱	18	6	横	横	7mm	—	—	—	—	微量	—	—	44
⑲	19	6	横	横	6mm	—	—	—	—	少量	内面擦り傷有り	—	43
									—	微量	—	—	223

I類A種

①	1	117	縫	縫	10mm	—	—	—	—	少量	「輪型」に押型	—	73・108・112
②	2	4	縫	縫	13mm	—	—	—	—	含む	口沿部に凹窓	—	163・170・186
③—1	3	6	縫	縫	9mm	—	—	—	—	含む	口沿部に凹窓	—	2228・2390
④	4	6	縫	縫	9mm	—	—	—	—	含む	口沿部に凹窓	—	2336・3902
⑤	5	6	縫	縫	8mm	—	—	—	—	含む	—	—	3895
⑥	6	6	縫	縫	8mm	—	—	—	—	微量	内面擦り傷	—	4773
⑦	7	6	縫	縫	8mm	—	—	—	—	微量	内面擦り傷	—	562
⑧	8	6	縫	縫	10mm	—	—	—	—	少量	内面擦り傷	—	3161
⑨	9	6	縫	縫	11mm	—	—	—	—	含む	外面に段有り	—	3161
⑩—1	10	6	縫	縫	11mm	—	—	—	—	含む	外面に段有り	—	3306
⑪	11	6	縫	縫	10mm	—	—	—	—	少量	縫部に押型	—	2626・2775
⑫	12	6	縫	縫	8mm	—	—	—	—	微量	内面擦り傷有り、口沿部押型	—	3678

種別	土耕番号	開面	長程方向	耕文方向	耕深	内面状況	内面状況	網状	縫隙	縫隙	内面状況	内面状況	取上if No
(3)	13	117	+	縱	9mm	-	-	-	-	-	縱	縫	3671
(4)	14	+	縱	8mm	-	-	-	-	-	-	縫	縫	208

I類B種-(1)

①-I	1	118	縱	縱	1.5mm	○	4mm	①	左傾	含む	12mm	3152 + 3239
①-II	2	+	縱	縱	2mm	○	2mm	③	左傾	微量	1mm	88
①-	3	+	縱	縱	1.2mm	-	-	-	-	含む	2mm	2882
①-	4	+	縱	縱	1mm	-	-	-	-	少	2mm	281
①-	5	+	縱	縱	1.2mm	-	-	-	-	含む	2mm	4466 + 4501
①-	6	+	縱	縱	1.2mm	○	5mm	⑤	左傾	なし	2mm	107
①-Ⅱ	7	+	縱	縱	1.2mm	○	-	-	-	なし	2mm	1571
①-	8	+	縱	縱	1mm	-	-	-	-	少	2mm	3046
①-	9	+	縱	縱	1mm	-	-	-	-	微量	2mm	662
①-IV	10	+	縱	縱	1.2mm	○	1mm	①	左傾	含む	5mm	161
①-V	11	+	縱	縱	1mm	-	-	-	-	少	2mm	287
①-II	1	119	縱	縱	1.4mm	○	45mm	⑤	左傾	少	2mm	3 + 346
①-	2	+	縱	縱	1.2mm	○	56mm	③	左傾	微量	27mm	4999
①-	3	+	縱	縱	1mm	○	40mm	①	左傾	含む	28mm	51

I類B種-(2)-a

②-a-I	1	120	縱	縱	1.3mm	-	-	-	-	含む	繩狀: 滑縮	3962
②-a-II	2	+	縫	縫	1.3mm	-	-	-	-	含む	1.1mm: 下沈縮	410
②-a-	3	+	縫	縫	1.2mm	○	27mm	④	左傾	含む	97mm以上	13
②-a-	4	+	縫	縫	1.3mm	○	34mm	①	左傾	含む	107mm以上	1654 + 949
②-a-	5	+	縫	縫	2mm	○	1.8mm	①	左傾	少	1.8mm以上	182
②-a-	6	+	縫	縫	1.1mm	-	1.9mm	①	左傾	少	1.9mm以上	52
②-a-	7	+	縫	縫	1.4mm	○	1.5mm	①	左傾	少	60mm以上	2
②-a-	8	+	縫	縫	1.3mm	○	34mm	⑤	左傾	少	27mm	2002
②-a-	9	+	縫	縫	1.7mm	○	79mm以上	⑥	右傾	少	21mm	4082
②-a-	10	+	縫	縫	1.0mm	○	60mm	④	左傾	少	10mm以上	185 + 186
②-a-	11	+	縫	縫	1.3mm	○	31mm	③	左傾	含む	30mm	167
②-a-	12	+	縫	縫	1.4mm	○	37mm以上	⑤	左傾	微量	口縫: 網目	17
②-a-	13	+	縫	縫	1.2mm	-	-	-	-	少	内面状況の解説	4 + 14 + 29 + 30
②-a-	14	+	縫	縫	1.6mm	-	-	-	-	少	内面状況の解説・綫長	11
②-a-	15	+	縫	縫	1.6mm	-	-	-	-	含む	1.6mm: 下沈縮・細長	31B
②-a-	16	+	縫	縫	1.5mm	-	-	-	-	少	口縫下に紗突:	12
②-a-	17	+	縫	縫	1.4mm	-	-	-	-	なし	綫長	36

種別	土器番号	断面	長径方向	横方向	標記	内面状況	内面状況								
②-a-IV	10	121	縦	横	縦	18mm	-	-	-	-	-	含C	215		
+	1	122	縦	横	縦	16mm	-	-	-	-	-	含Tr	192	157	762
②-a-V	2	*	不明	横	縦	14mm	-	-	-	-	-	含Tr	1		
+	3	*	不明	横	縦	10mm	-	-	-	-	-	少量	3265		
②-a-VI	4	*	縦	横	縦	15mm	-	-	-	-	-	少量	15B		
+	5	*	縦	横	縦	11mm	-	-	-	-	-	含C	115	118	119
													150	26973	3647

I類B器—②—b

②-b-1	1	123	横	横	横	14mm	○	20mm	①	左傾	含C	4717			
+	2	*	横	横	横	14mm	○	28mm	④	-	少量	49mm以上			203
+	3	*	横	横	横	14mm	○	-	-	-	-	口部外部外側			4035
②-b-1	4	*	縦	縦	縦	11mm	○	23mm	⑤	左傾	少量	23mm			87
+	5	*	不明	不明	不明	9mm	-	-	-	-	-	微傾	F12型空	内面形状(小孔) (深さ1.5mm)	119
②-b-II	6	*	横	横	横	12mm	○	18mm(1.1上)	③	左傾	少量	3mm以下			3633
+	7	*	横	横	横	14mm	○	22mm	③	左傾	少量	17mm			66
②-b-IV	8	*	縦	縦	縦	12mm	○	55mm(1.1上)	④	左傾	含C	50mm			248
+	9	*	縦	縦	縦	16mm	○	88mm	③	左傾	含C	72mm以上			241
②-b-V	1	124	横	横	横	10mm	-	-	-	-	-	208			3227
+	2	*	横	横	横	16mm	○	49mm	④	左傾	含C	55mm			4679
②-b-VI	3	*	横	横	横	13mm	-	-	-	-	-	少量	119mm(1.1上)		21
+	4	*	横	横	横	13mm	-	-	-	-	-	含Tr			

I類C器—①

①-1	1	125	縦	縦	縦	14mm	○	210mm(1.1上)	①	左傾	含Tr	85mm			
+	2	*	縦	縦	縦	13mm	-	-	-	-	-	28mm以上			3448
+	3	*	横	横	横	12mm	○	13mm	④	左傾	含Tr	44mm以上			3981
+	4	*	横	横	横	12mm	○	48mm	④	左傾	含Tr	38mm			3327
+	5	*	横	横	横	14mm	○	63mm	⑤	左傾	含Tr	79mm以上			3910
+	6	126	横	横	横	16mm	○	21mm	①	左傾	含Tr	36			
+	7	*	横	横	横	11mm	-	-	-	-	-	16mm			169
①-1	8	*	横	横	横	12mm	○	41mm	④	右傾	少量	15mm			3222
+	9	*	縦	縦	縦	12mm	○	23mm	④	左傾	少量	25mm以上			3148
+	10	*	縦	縦	縦	14mm	-	-	-	-	-	含C	口部下1.1次		4766

種別	土鱗番号	種図	基盤方向	輪文方向	輪厚	内面状態	内面状態の有無	縫合	縫合	縫合	備考	内面状態	取上tf No
①-1	11	125	横	横	1mm	—	—	—	—	—	良好	口端下に次端	75
+	12	+	横	横	3mm	○	1mm	—	—	—	少量	24mm以上	3154
①-2	13	+	横	横	1mm	—	—	—	—	—	微量	—	97

I 煙C種-2

種別	土鱗番号	種図	基盤方向	輪文方向	輪厚	内面状態	内面状態の有無	縫合	縫合	縫合	備考	内面状態	取上tf No
②-1	1	127	横	横	17mm	○	14.5mm	④	左傾	含む	—	13.1mm以上	3265・3596
+	2	+	横	横	15mm	○	6.0mm以上	④	左傾	少量	—	6.0mm以上	3402
+	3	+	横	横	17mm	○	13.0mm	④	左傾	少量	—	12.6mm	3207
+	128	横	横	横	18mm	○	9.8mm	③④	左傾	少量	—	9.6mm以上	27・29・4055
②-1-2	2	+	横	横	13mm	○	11.7mm	③	左傾	含む	—	21.0mm	3596・3625・4203
+	3	+	横	横	15mm	—	—	—	—	—	—	—	130
②-1-3	4	+	横	横	17mm	○	6.0mm以上	④	左傾	微量	—	6.0mm以上	9
+	5	+	横	横	14mm	○	6.2mm以上	④	左傾	微量	—	24mm以上	57
+	6	+	横	横	14mm	○	1.4mm	—	—	—	—	—	46
+	7	+	横	横	15mm	—	—	—	—	—	—	—	126

I 煙D種

種別	土鱗番号	種図	糸の綫糸	糸の綫糸	輪厚	内面状態	内面状態の有無	縫合	縫合	縫合	備考	内面状態	取上tf No
①	1	130	左傾	左傾	10mm	○	12mm	⑥	左傾	含む	—	7mm	140・1509・4510
+	2	+	左傾	左傾	13mm	—	—	—	—	—	—	—	2490・2491
②	3	+	左傾	左傾	13mm	—	—	—	—	—	—	—	3
①	4	+	左傾	左傾	13mm	—	—	—	—	—	—	—	545
③-1	5	+	左傾	左傾	10mm	○	16mm	⑥	左傾	少量	—	4.0mm以上	187
+	6	+	右傾	右傾	13mm	○	8.0mm	⑤	左傾	含む	—	25mm以上	3976・3981
②-1	7	+	左傾	左傾	15mm	○	6.0mm	⑤	左傾	含む	—	25mm以上	114・1594
+	8	+	左傾	左傾	12mm	○	3.5mm以上	⑤	左傾	少量	—	16mm	4327
+	9	+	左傾	左傾	10mm	○	2.0mm以上	⑤	左傾	少量	—	1.5mm以上	4494
+	10	+	左傾	左傾	13mm	○	4.0mm	⑤	左傾	微量	—	28mm	1546
+	11	+	左傾	左傾	12mm	—	—	—	—	—	—	—	4684
③-2	1	131	右傾	右傾	9mm	○	4.0mm	④	左傾	含む	—	1.8mm	1・556・564・4196
+	2	+	右傾	右傾	15mm	—	—	—	—	—	—	—	102

種別	土器番号	陶器	糞の傾斜	施文方向	器厚	内面吹き	内面吹き	内面吹き	縁	縁	内面吹き	内面吹き	取上
③-II	3	131	左傾	1.3mm	—	—	—	—	少頃	—	—	—	106・124
+	4	+	左傾	1.1mm	—	—	—	—	含む	—	—	—	3364
+	5	+	左傾	1.4mm	○	28mm	②	左傾	少頃	少頃	—	—	293
+	6	+	左傾	1.0mm	○	1.8mm	②	左傾	含む	少頃	—	—	4284
+	7	+	縦	1.0mm	○	1.0mm	⑥	左傾	少量	内面吹き	内面吹き	内面吹き	1
③-IV	8	+	左傾	7mm	○	7mm	②	左傾	少量	内面吹き	内面吹き	内面吹き	33・71
④-I	9	+	縦	1.4mm	—	—	—	—	含む	—	—	—	106
④-II	10	+	左傾	1.0mm	—	—	—	—	少量	内面吹き	内面吹き	内面吹き	4293
+	11	+	縦	1.3mm	○	3.3mm	⑥	左傾	少量	内面吹き	内面吹き	内面吹き	5
+	12	+	左傾	1.3mm	○	20mm以上	⑥	左傾	少量	内面吹き	内面吹き	内面吹き	3668
+	1	132	左傾	1.2mm	—	—	—	—	含む	—	—	—	104
+	2	+	左傾	8mm	—	—	—	—	微量	内面吹き	内面吹き	内面吹き	191
+	3	+	縦	9mm	—	—	—	—	微量	内面吹き	内面吹き	内面吹き	167
+	4	+	左傾	1.0mm	—	—	—	—	少量	内面吹き	内面吹き	内面吹き	101
⑤-I	5	+	右傾	1.6mm	—	—	—	—	少量	内面吹き	内面吹き	内面吹き	105
⑤	6	+	左傾	1.3mm	—	—	—	—	含む	—	—	—	2・1・2・2・3
+	7	+	左傾	1.6mm	○	12mm以上	④	左傾	微量	内面吹き	内面吹き	内面吹き	36・98
+	8	+	左傾	1.3mm	—	—	—	—	含む	内面吹き	内面吹き	内面吹き	567
⑥	1	133	縦	1.0mm	○	5mm	⑤	縦	少量	内面吹き	内面吹き	内面吹き	3169
+	2	+	左傾	8mm	—	—	—	—	微量	内面吹き	内面吹き	内面吹き	137
+	3	+	左傾	1.2mm	—	—	—	—	微量	内面吹き	内面吹き	内面吹き	12841
⑦	4	+	不明	—	—	—	—	—	—	少量	内面吹き	内面吹き	108
⑧	5	+	不明	1.3mm	—	—	—	—	—	少量	内面吹き	内面吹き	3557
+	6	+	左傾	1.0mm	—	—	—	—	含む	—	—	—	558
+	7	+	左傾	1.0mm	○	42mm以上	⑤	左傾	少量	内面吹き	内面吹き	内面吹き	8

Ⅱ類C種

種別	土器番号	陶器	長径方向	施文方向	器厚	内面吹き	内面吹き	内面吹き	縁	縁	内面吹き	内面吹き	取上
①	8	133	—	—	1.0mm	—	—	—	—	—	微量	内面吹き	4
②	9	+	—	—	1.5mm	—	—	—	—	—	含む	内面吹き	1
③	10	+	—	—	1.5mm	○	38mm	⑤	左傾	—	—	—	417
+	11	+	—	—	1.1mm	○	—	—	—	—	少量	内面吹き	107
+	12	+	—	—	1.3mm	○	29mm以上	⑤	左傾	—	—	—	10
+	13	+	—	—	1.5mm	—	—	—	—	—	少量	内面吹き	3627
+	14	+	—	—	1.1mm	—	—	—	—	—	少量	内面吹き	27
+	15	+	—	—	1.3mm	○	28mm	④	左傾	少量	—	—	136・354

種別	土器番号	牌面	最高方向	施文方向	絶厚	内面充満 有無	内面充満 箇所	内面充満箇所形状	内面充満 の傾き	縦縫	側 壁	内面充満箇所を 横幅で表す	取上 No
③	16	133			1.2mm	—	—	—	—	少量	なし		3304
+	17	*			1.2mm	—	—	—	—	微量	なし		16
+	18	*			1.1mm	—	—	—	—	微量	なし		4192
+	19	*			1.1mm	—	—	—	—	微量	なし		1703
④	20	*			1.2mm	—	—	—	—	微量	なし		4258
+	21	*			1.2mm	—	—	—	—	微量	なし		2296
+	22	*			0.9mm	—	—	—	—	微量	なし		4134
⑤	23	*			1.5mm	—	—	—	—	微量	なし		1440

II類B型

①-1	1	134			1.2mm	○	5.2mm	⑤	左傾	少量	含む	27mm	178
+	2	*			1.1mm	—	—	—	—	微量	含む	35mm以上	3595・4578
①-1	3	*			0.9mm	○	3mm	③	左傾	微量	含む	35mm以上	227
+	4	*			1.0mm	—	—	—	—	微量	含む	35mm以上	262
+	5	*			0.9mm	—	—	—	—	微量	含む	35mm以上	47
②	6	*			1.3mm	—	—	—	—	微量	含む	35mm以上	2-29
+	7	*			1.3mm	—	—	—	—	微量	含む	35mm以上	107・3406
+	8	*			1.3mm	—	—	—	—	微量	含む	35mm以上	3995
+	9	*			1.6mm	—	—	—	—	微量	口沿下に次縫 内面斜削凹状部	35mm以上	3593
+	10	*			1.6mm	—	—	—	—	微量	口沿下に次縫 内面斜削凹状部	35mm以上	3137
+	11	*			1.1mm	—	—	—	—	微量	口沿下に次縫 内面斜削凹状部	35mm以上	3270
③	12	*			1.2mm	—	—	—	—	微量	含む	35mm以上	18・25・4663
+	13	*			1.5mm	○	4.5mm以上	③	左傾	含む	含む	72mm以上	2565
+	1	135			1.3mm	○	4.3mm以上	④	左傾	含む	含む	35mm以上	37
+	2	*			1.2mm	—	—	—	—	微量	含む	35mm以上	3255・4622
+	3	*			1.4mm	—	—	—	—	微量	含む	35mm以上	5625
+	4	*			1.4mm	—	—	—	—	微量	含む	35mm以上	14
+	5	*			1.1mm	—	—	—	—	微量	含む	35mm以上	917
④	6	*			1.6mm	○	6.8mm以上	①	左傾	含む	含む	838	
+	7	*			1.1mm	○	4.6mm以上	④	左傾	含む	含む	35mm以上	170
⑤	8	*			1.6mm	—	—	—	—	微量	含む	35mm以上	32
+	9	*			1.2mm	—	—	—	—	微量	含む	35mm以上	3188
⑥	10	*			1.1mm	○	4.1mm	⑤	左傾	含む	含む	23mm以上	182
⑦	11	*			0.8mm	—	—	—	—	微量	含む	23mm以上	2336
+	12	*			1.3mm	—	—	—	—	微量	含む	23mm以上	879・2436・3414

種別	土器番号	陶器	長径方向	短径方向	輪文方向	輪厚	内面状況	内面状況	内面状況	内面状況	縫隙	縫隙	縫隙	縫隙	取上り	No
(7)	13	135				1.0mm	—	—	—	—	少量	—	—	—	—	904
+	14	+				9mm	—	—	—	—	深井	—	—	—	—	34
+	15	+				8mm	—	—	—	—	少量	—	—	—	—	6・587
+	16	+				9mm	—	—	—	—	少量	—	—	—	—	194
+	17	+				9mm	—	—	—	—	少量	—	—	—	—	2438
(8)	18	+				9mm	—	—	—	—	少量	—	—	—	—	75・4083

III類

(1)	1	136	横	横	1.0mm	—	—	—	—	—	合む	内面形方角圓文・L-R	—	—	—	3172
(2)	2	+	横	横	9mm	—	—	—	—	—	合む	内面圓方角圓文・L-R	—	—	—	3156
(3)	3	+	横	横	1.0mm	—	—	—	—	—	少量	内面圓方角圓文・R	—	—	—	2886・2913・3180
(4)	4	+	横	横	8mm	—	—	—	—	—	少量	内面圓方角圓文・L-R	—	—	—	11・312
(5)	5	+	横	斜	8mm	—	—	—	—	—	合む	L-R	—	—	—	4191
+	6	+	斜	斜	8mm	—	—	—	—	—	合む	L-R	—	—	—	128・137
(6)	7	+	斜	斜	8mm	—	—	—	—	—	合む	L-R	—	—	—	72
+	8	+	横	横	11mm	—	—	—	—	—	少量	L-R	—	—	—	986
(6)	9	+	斜	斜	8mm	—	—	—	—	—	少量	L-R	—	—	—	1016
(7)	10	+	横	横	6mm	—	—	—	—	—	少量	L-R	—	—	—	2・7・2912

IV類

(1)	1	137			1.0mm	○	1.0mm	○	1.0mm	○	合む	内面圓方角圓文・L-R	—	—	—	3586・4082
(2)	2	+			9mm	—	—	—	—	—	少量	口輪圓形斜文	—	—	—	3675
+	3	+			13mm	—	—	—	—	—	少量	—	—	—	4327	
+	4	+			1.0mm	—	—	—	—	—	少量	—	—	—	121	
(3)	5	+			1.0mm	—	—	—	—	—	少量	内面圓形斜文・L-R	—	—	—	126
+	6	+			11mm	—	—	—	—	—	少量	内面圓形斜文・R	—	—	—	3393
+	7	+			6mm	—	—	—	—	—	少量	内面圓形斜文・L-R	—	—	—	355
(4)-2	8	+			15mm	○	10mm	○	1.0mm	○	合む	内面圓形斜文・R	—	—	—	886
+	9	+			1.0mm	—	—	—	—	—	少量	内面圓形斜文・L-R	—	—	—	4307
+	10	+			1.0mm	○	2.0mm	○	1.0mm	○	合む	内面圓形斜文・R	—	—	—	3179
+	11	+			9mm	—	—	—	—	—	少量	内面圓形斜文・L-R	—	—	—	2417
+	12	+			8mm	—	—	—	—	—	少量	—	—	—	4352	
+	13	+			1.0mm	—	—	—	—	—	少量	—	—	—	4254	
+	14	+			1.0mm	—	—	—	—	—	少量	—	—	—	74	
+	15	+			1.0mm	—	—	—	—	—	少量	—	—	—	613	

種別	土堆番号	押出	長径方向	施文方向	内面形状	内面寸法	内面形状	内面寸法	横	縦	内面寸法	内面寸法	取上	ef	No	
(4)-b-(7)	1	133	-	-	9mm	10mm	-	-	-	-	内面横方向	内面横方向	3408			
+	2	*	*	*	9mm	10mm	-	-	-	-	微量	内面横方向	内面横方向	2722		
+	3	*	*	*	10mm	10mm	-	-	-	-	微量	内面同一直体	内面同一直体	27		
+	4	*	*	*	10mm	10mm	-	-	-	-	微量	内面同一直体	内面同一直体	2952		
+	5	*	*	*	9mm	9mm	-	-	-	-	微量	内面同一直体	内面同一直体	2988		
+	6	*	*	*	9mm	9mm	-	-	-	-	微量	内面同一直体	内面同一直体	393		
+	7	*	*	*	13mm	13mm	-	-	-	-	微量	内面同一直体	内面同一直体	170		
+	8	*	*	*	9mm	9mm	-	-	-	-	少量	内面横方向	内面横方向	60-67-99		
+	9	*	*	*	12mm	12mm	-	-	-	-	少量	内面横方向	内面横方向	140-175-4022		
⑤-b-(7)	10	*	*	*	11mm	11mm	-	-	-	-	微量	内面同一直体	内面同一直体	3035		
+	11	*	*	*	9mm	9mm	-	-	-	-	微量	内面同一直体	内面同一直体	4028		
+	12	*	*	*	8mm	8mm	-	-	-	-	微量	内面横方向	内面横方向	31		
+	1	139	-	-	5.5mm	5.5mm	-	-	-	-	微量	内面横方向	内面横方向	27		
+	2	*	*	*	10mm	10mm	-	-	-	-	少量	端部(三)大きい部分(十)	端部(三)大きい部分(十)	4399		
+	3	*	*	*	9mm	9mm	-	-	-	-	少量	内面横方向	内面横方向	33-416-2395		
+	4	*	*	*	9mm	9mm	-	-	-	-	微量	内面横方向	内面横方向	124		
+	5	*	*	*	9mm	9mm	-	-	-	-	微量	内面同一直体(上)と直線	内面同一直体(上)と直線	112		
⑤	6	*	*	*	8mm	8mm	-	-	-	-	微量	内面横方向	内面横方向	361		
④	6	*	*	*	7mm	7mm	-	-	-	-	微量	内面横方向	内面横方向	3000		
+	7	*	*	*	7mm	7mm	-	-	-	-	微量	内面横方向	内面横方向	3063		
+	8	*	*	*	6mm	6mm	-	-	-	-	微量	内面横方向	内面横方向	3865		
+	9	*	*	*	11mm	11mm	-	-	-	-	微量	内面横方向	内面横方向	3977		
+	10	*	*	*	8mm	8mm	-	-	-	-	微量	内面横方向	内面横方向	3055		
⑥	11	*	*	*	7mm	7mm	-	-	-	-	微量	端部(三)大きい部分(十)	端部(三)大きい部分(十)	28		
+	12	*	*	*	6mm	6mm	-	-	-	-	微量	内面横方向	内面横方向	152-154		
+	13	*	*	*	6mm	6mm	-	-	-	-	微量	内面横方向	内面横方向	3160		
+	14	*	*	*	9mm	9mm	-	-	-	-	微量	内面横方向	内面横方向	155		
+	15	*	*	*	6mm	6mm	-	-	-	-	微量	内面横方向	内面横方向	1		
⑦	16	*	*	*	8mm	8mm	-	-	-	-	微量	内面横方向	内面横方向	882		
⑧	17	*	*	*	11mm	11mm	-	-	-	-	微量	内面横方向	内面横方向	1		
⑨	18	*	*	*	11mm	11mm	-	-	-	-	微量	内面横方向	内面横方向	39		
+	19	*	*	*	11mm	11mm	-	-	-	-	微量	内面横方向	内面横方向	4068		
														234		

①-a	1	140	-	-	10mm	-	-	-	-	-	少量	内面横方向	内面横方向	541-2245-3431		
+	2	*	*	*	10mm	-	-	-	-	-	少量	内面横方向	内面横方向	3441	49	

標 別	土號	標 圖	真 北 方 向	指 北 方 向	新 標 ○ 舊 標 △	海 底 高 度 m	水 深 度 m	水 底 形 狀	Q 性 質	測 量	備 考	附 圖 說 明	取 上 (f no)
①-a	3	+	140	+	—	9m	—	—	—	—	—	—	472
+	4	+	—	—	—	10m	—	—	—	少量	少量	少量	23
①-b	5	+	—	—	—	—	—	—	—	少量	少量	少量	156
+	6	+	—	—	—	12m	—	—	—	少量	少量	少量	3148
②	7	+	—	—	—	11m	—	—	—	—	—	—	2943 : 2947
③	8	+	—	—	—	10m	—	—	—	—	—	—	2953 : 2959
①-a	9	+	—	—	—	12m	—	—	—	含沙	含沙	含沙	118 : 2409
③	10	+	—	—	—	5m	—	—	—	少量	少量	少量	1987
+	11	+	—	—	—	6m	—	—	—	少量	少量	少量	75
										—	—	—	3697

VII類

①	1	141	—	—	9m	—	—	—	—	—	少量	—	3400
+	2	+	—	—	10m	—	—	—	—	—	—	—	94
②	3	+	—	—	9m	—	—	—	—	—	—	—	766
+	4	+	—	—	9m	—	—	—	—	—	—	—	584
②	5	+	—	—	11m	—	—	—	—	—	—	—	2960
+	6	+	—	—	9m	—	—	—	—	—	—	—	2621
①	7	+	—	—	11m	—	—	—	—	—	—	—	4575
+	8	+	—	—	7m	—	—	—	—	—	—	—	4265
③	9	+	—	—	9m	—	—	—	—	—	少量	—	737
⑥	10	+	—	—	9m	—	—	—	—	—	—	—	9
+	11	+	—	—	7m	—	—	—	—	—	—	—	1668
⑦	12	+	—	—	11m	—	—	—	—	—	—	—	157 : 1283 : 2807
													2810 : 2811 : 2847

VIII類

1	1	142	—	—	10m	—	—	—	—	—	少量	含沙	70 : 200 : 201
+	2	+	—	—	10m	—	—	—	—	—	—	—	2974
+	3	+	—	—	11m	—	—	—	—	—	—	—	2876
3	4	+	—	—	10m	○	2.3m	⑤	左傾	少量	—	—	1.174 : 47.66
+	5	+	—	—	14m	○	40m	④	左傾	含沙	1.3m	1.6m以上	4231
+	6	+	—	—	11m	○	20m	④	左傾	含沙	1.6m	1.6m	70 : 135 : 136
+	7	+	—	—	7m	○	10m	③	左傾	少量	6mm	6mm	76
+	8	+	—	—	11m	○	8m	⑥	左傾	含沙	2.3m	2.3m	3422
+	9	+	—	—	14m	—	—	—	—	—	—	含沙	3558

種別	土種番号	種別	東北方向	鉛直方向	鉛直方向 ○)有効 31mm以上	内面沈降 層		内面沈降 層の構成 ○)有効 31mm以上		縫隙 含水率	縫隙 含水率 23mm	取上げ No
						9mm	10mm	9mm	10mm			
I	2	143	△	△	—	—	—	—	—	微量	—	2911
△	3	—	△	—	—	—	—	—	—	微量	—	2817
△	4	—	△	—	—	—	—	—	—	微量	—	39
△	5	△	—	—	—	—	—	—	—	微量	—	3849
△	6	—	△	—	—	—	—	—	—	微量	—	112
II	7	—	△	—	—	—	—	—	—	微量	—	4246
△	8	—	△	—	—	—	—	—	—	微量	—	141
△	9	—	—	—	—	—	—	—	—	微量	—	129
△	10	—	△	—	—	—	—	—	—	微量	—	3451
IV	11	—	△	—	—	—	—	—	—	微量	—	3558
△	12	—	—	—	—	—	—	—	—	微量	—	4298
△	13	—	—	—	—	—	—	—	—	微量	—	33
V	14	—	△	—	—	—	—	—	—	微量	—	4718
△	15	—	△	—	—	—	—	—	—	微量	—	4806
△	16	—	—	—	—	—	—	—	—	微量	—	218
VI	17	—	△	—	—	—	—	—	—	微量	—	3220
VII	18	—	△	—	—	—	—	—	—	微量	—	421
VIII	19	—	—	—	—	—	—	—	—	微量	—	4248
△	20	—	△	—	—	—	—	—	—	微量	—	3325・3327

結語

種別	土種番号	種別	東北方向	鉛直方向	鉛直方向 ○)有効 31mm以上	内面沈降 層		内面沈降 層の構成 ○)有効 31mm以上		縫隙 含水率	縫隙 含水率 23mm	取上げ No
						8mm	24mm	1mm	36mm			
I	1	1461	—	—	—	—	—	—	—	微量	—	294
△	2	—	—	—	—	—	—	—	—	微量	—	4618
II	3	—	—	—	—	—	—	—	—	微量	—	162
△	4	—	—	—	—	—	—	—	—	微量	—	225
III	5	—	—	—	—	—	—	—	—	微量	—	2
△	6	—	—	—	—	—	—	—	—	微量	—	13
△	7	—	—	—	—	—	—	—	—	微量	—	40
IV	8	—	—	—	—	—	—	—	—	微量	—	2298
△	9	—	—	—	—	—	—	—	—	微量	—	208
△	10	—	—	—	—	—	—	—	—	微量	—	551
V	11	—	—	—	—	—	—	—	—	微量	—	84
△	12	—	—	—	—	—	—	—	—	微量	—	211
△	13	—	—	—	—	—	—	—	—	微量	—	3395

補表2 上涌万遍跡A区鴨文式土器組成表(遺物外還物)

分類 出土地 区	先行する土器			I 類(押型文)				II 類(捺糸文)				III 類(捺糸文)				IV 類(捺糸文)				V 類(捺糸文)				VI 類(捺糸文)				VII 類(捺糸文)				VIII 類(捺糸文)				
	A (押型文)	B (捺糸文)	C (捺糸文)	A (押型文)	B (捺糸文)	C (捺糸文)	D (捺糸文)	A (捺糸文)	B (捺糸文)	C (捺糸文)	D (捺糸文)																									
4 A	1			3	1			2													3														9	
5 A				1				2													3														4	
6 A					5	1			1												15														23	
7 A						1																														1
4 B				4	1																1														8	
5B(9T合)				4																	2														12	
6B(8T合)				45	4			7	2	4	1	5									2	76	4	1									148			
7 B				125	9			49	21	4		17	2								1	12	320	1										571		
8 B	1			248	5			43	16	5	1	31	1								13	412	13	2										791		
9 B	1			72	1	1		17	9	2	8	1									10	102	1											225		
10B(11T合)				14	1			4	1	1	1	1									1	43	2										68			
2 C				7	5				1												8	1												22		
3C(12T合)				65	11			1	1	8	5		3	7							34	2	23										160			
4 C				19	9	1	3													1	42												75			
5 C	1			25	6		4	1			7									3	38												85			
6 C				62	4		14	3	5	1	4									9	164	1											267			
7 C				14	8		12	2	2	1	3									4	188	6											240			
8 C				116	9		24	4	3	3	10									11	237	1												418		
9 C	3			227	33		49	15	3	7	15									22	401	5												780		
10 C				42	1		9	4		1	2								4	47												110				
1D(10T合)				1																														4		
2 D	2			185	30		19	5	8	5	6		2		4	114				1	16	1	2									389				
3 D	9			221	41		5	5	26	7	6		2		4	288	7	17	1												589					
4 D	4			133	14		27	2	10	1	6						16	79	2												291					
5D(3T合)				11	13		1	1												2	29	1										38				
6 D				26			7	3	1											6	84	4	1									132				
7 D				2	162	5		27	15	3	5	11	3	1	21	561	7	2												825						
8 D				2	70	4		7	2	1	2						6	167	4	1											266					

分類 出土地区	先行する土器		I 類(神社)		II 類(祭祀文)		III 類		IV 類		V 類		VI 類		VII 類		VIII 類		IX 類		X 類		前輪 附の土器		後輪 附の土器		合計	
	A (原型文)	B (模写文)	A	B	C	D	A	C	B	潮	湖	沈	縫	刺	突	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文	文
9 D	山形文	山形文	290	15	54	17	6	5	17	1	2	6	1	27	533	14											979	
10 D	内文	内文	142	9	77	1	10	2	18			1	16	267	6												519	
11D (7T合)			22	7	2		2						3	8	1	1											46	
12 D			5				1								1	1											8	
13 D															1	3											1	
1 E																												1
2 E	4		99	13	8	1	5	2	6	1	23	154														7		
3 E	10	1	304	41	18	9	7	1	6	1	22	308	9	2	1											323		
4 E	2	1	562	52	63	17	37	1	25	5	42	418	12	17												742		
5 E	1	1	182	7	41	5	5	28		13	259	13														1,254		
6 E	1	150	11	33	10	5	1	12	1	1	6	199	7													554		
7 E	1	104	7	9	5	1	2	5	1		9	110	7													438		
8 E		82	3	5	7	2	1	4		5	144	6													261			
9E (2T合)		172	7	3	32	10	4	1	10	2	1	18	464	2												259		
10 E		283	9	55	9	7	7				22	443	12													726		
11 E		10	1		1	1																				847		
12 E			11		2		1																			43		
13 E																											51	
3 F			46	8	8	4	1		1	1															2			
4 F	1	9	156	102	38	22	12	5	12	5	1	21	840	16	3	2									1,02			
5F (6T合)	2	2	433	34	3	71	28	4	2	20	2	39	706	15	4	1	1,245								1,382			
6 F		1	338	4	63	16	6	1	19	3	6	32	768	17											1,274			
7 F		1	144	6		11	2		5	1	10	214	6	1											403			
8 F		13	151	8	17	8	4	1	4	2	2	14	230	11	2										467			
9 F	1	1	264	10	32	8	7	10	2	1	32	464	9												843			
10 F		26	181	20	34	9	12	10	2	1	31	499	11												836			
11 F			30	3	1	2	1	1		2	6	6	1												53			
12F (1T合)			25	3		1	1	1			2	37													70			
13 F			6					1																		33		
14 F								1																		1		

分類 出土地 区	先行する土器		I 様(押型)		II 様(捺余文)			III 様(捺余文)			IV 様		V 様		VI 様		VII 様(捺文)		VIII 様		IX 様(捺文)		X 様		前湖様の土器		後湖様の土器		合計	
	A(押型文)	B(捺子面文)	A(山形文)	B(内文)	山形文	内文	彫刻文	彫刻文	絞り文	絞り文	横溝	横溝	斜溝	斜溝	刺突溝	刺突溝	口縁	口縁	尖底	尖底	底	底	前湖様	後湖様	前湖様の土器	後湖様の土器	合計	合計		
4 G	2				225	39	28	5	9	3	13	2	1	17	316	7	1	1	669											
5 G			2	175	7	59	18	4	28	10	4	3	20	505	8															843
6 G(T合)		1		283	6	59	15	4	27	1	27	38	732	22															1,215	
7 G				69	3	6	3	3	4	4	4	12	111	2															217	
8 G			2	78	2	5	1	4	4	8	113	4	3																221	
9 G			6	249	14	46	16	39	2	21	1	3	50	646	11	4													1,108	
10 G(T合)		1	19	176	46	58	19	22	2	30	5	12	58	1,892	23	3	3											2,318		
II G			1	58	15	13	6	8	5		7	185	9															307		
12 G				10	1	2		3			1	33																50		
6 H				7	2	1	1					1	1																13	
8 H			5	1	4			2			1	2	30	1														46		
9 H			26	10	20	6	11	1	8		2	19	385	5	5													498		
10 H			9	50	12	15	11	11	8	1	2	6	359	10														494		
11 H	1		13	181	88	76	24	35	13	18	5	33	725	15														1,227		
12 H			1	65	13	16	3	6	16	5	1	10	376	6	1													519		
14 H				2	8	2		2		1	1		1	105		1												1		
10 I			3	51	236	10	3	6	1	13	2	1	10	72	6												122			
11 I	1			9	38	36	16	4	6	22	3	2	10	678	6	7											415			
12 I	1				2	2			1	2																		838		
13 I				1	97	2	6	1	4	2		3	113	4	1												77			
14 I						1																						6		
表 指																													266	
+ の他	21	3	48	1	127	7,952	1,133	8	1,452	442	394	111	557	104	87	828	18,013	401	128	12	31,857									